

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年07月01日

ユアサ健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	60548
組合名称	ユアサ健康保険組合
形態	単一
業種	卸売業

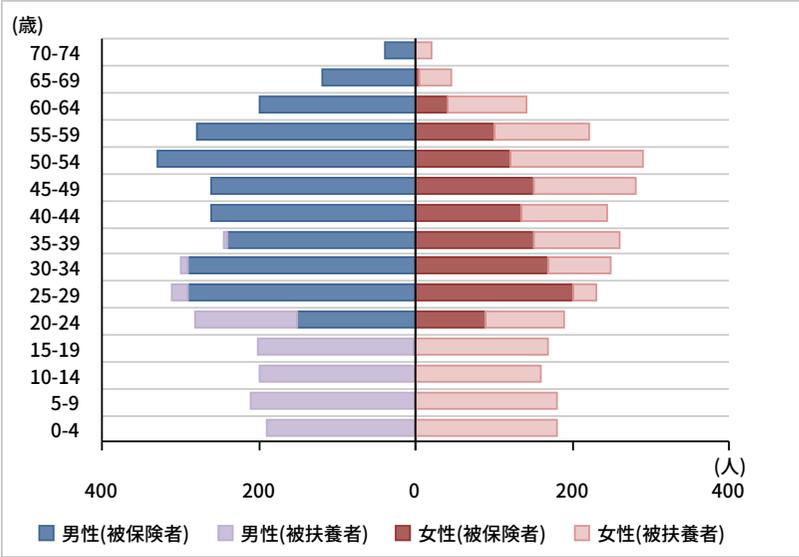
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	3,630名 男性69% (平均年齢43.8歳) * 女性31% (平均年齢39.2歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	6,230名	-名	-名
適用事業所数	22カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	30カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	87.33‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	1	-	-	-	-
事業主	産業医	0	10	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	2,127 / 2,435 = 87.4 %	
	被保険者	1,717 / 2,025 = 84.8 %	
	被扶養者	410 / 658 = 62.3 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	116 / 409 = 28.4 %	
	被保険者	115 / 386 = 29.8 %	
	被扶養者	1 / 23 = 4.3 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	14,760	4,066	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	6,071	1,672	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	15,090	4,157	-	-	-	-
	疾病予防費	76,368	21,038	-	-	-	-
	体育奨励費	3,900	1,074	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	116,189	32,008	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	2,136,829	588,658	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	5.44		-	-	-	-

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	3人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	150人	25～29	290人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	290人	35～39	240人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	260人	45～49	260人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	330人	55～59	280人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	200人	65～69	120人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	40人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	90人	25～29	200人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	170人	35～39	150人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	135人	45～49	150人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	120人	55～59	100人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	40人	65～69	5人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	190人	5～9	210人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	200人	15～19	200人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	130人	25～29	20人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	10人	35～39	5人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	0人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	0人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	180人	5～9	180人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	160人	15～19	170人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	100人	25～29	30人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	80人	35～39	110人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	110人	45～49	130人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	170人	55～59	120人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	100人	65～69	40人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	20人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

被保険者人数、予算規模の割には事業所数が22と多い。
 被保険者男性は40歳以上が全体の約6割を占めており、生活習慣病発症リスクを伴う年齢層が多い。
 また、平均年齢も男性は43.8歳と高くなっている。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

1. インセンティブポイント付与事業を職場環境の整備の項目と位置づけ、各事業主とのコラボヘルスに活用しているが、事業主の拠点数が多く、全事業主をあげてのコラボヘルスができていない。
2. 実施している各種保健事業（特定保健指導・禁煙プログラム・重症化予防プログラムなど）への参加率が低く、また、途中脱落者も多い。特に男性喫煙率が全国平均よりかなり高い（1.6倍）が、禁煙プログラムを提供しても参加者が少ないなど。
3. 健保組合としては様々な事業を展開・提供しているが全般的に参加率・利用率が低く、事業の周知の必要がある。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

体育奨励	インセンティブポイント付与事業
------	-----------------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者被扶養者）
保健指導宣伝	事業所別スコアリングレポート・課題事業所レポートの配布
保健指導宣伝	後発医薬品の使用促進
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	機関紙コアサ「けんぼだより」の発行
保健指導宣伝	ホームページの活用
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
疾病予防	婦人科検診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	喫煙対策事業
疾病予防	歯科健診補助
疾病予防	健康相談（電話・WEB）
疾病予防	家庭用常備薬の斡旋
疾病予防	重症化予防事業
予算措置なし	スポーツクラブの斡旋

事業主の取組

1	ストレスチェック
---	----------

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
体育奨励	1,5	インセンティブポイント付与事業	生活習慣病の発症の未然防止、健康リテラシーの醸成、運動習慣の取得のため、「健康ポイントプログラムを提供し、年3回のチーム別別ウォーキングイベント等を実施している。	全て	男女	18～74	被保険者	5,124	「健康ポイント」プログラムの活用により運動習慣を身につかせ、生活習慣改善、食知識等の習得によるヘルスリテラシーの向上を目標として周知し、登録と活用を図っている	経営層・事業所担当者に毎月実績（登録率）を報告し、更なる登録者・活用者を増やしてもらうよう依頼している。	令和4年4月に健康ポイントシステムのバージョンアップがあり、初期の登録率は21.6%と低調であったが、年間通し登録促進を行ない令和6年3月は72.8%と大幅に増加した。また、母体のユアサ商事も相乗りキャンペーンを行い活用率も34.9%と実質的な活用者が増えてきている。	4
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診（被保険者）	健診は事業主が主体となり実施し、健診結果は請求と同時に健保へ提供するが、契約健診機関から直接健保に提供してもらう仕組みにしている。	全て	男女	40～74	被保険者		『高齢者の医療の確保に関する法律』に基づき労働安全衛生法上の定期健康診断との共同実施を恒常化させた。0要精密検査の受診勧奨や特定保健指導実施を考慮し、健診は上期までに完了するよう計画書を提出させ実施を促した。	各事業所に協力を仰ぎ、健診受診は社員の義務であること意識づけを行った。12月末時点の未受診者を抽出し、事業所経由で3月末までの受診を促し、結果96.2%の受診率となった。	実質的な受診率はほぼ100%であるが、事業所により健保への補助請求漏れなどにより100%に至っていない。	4
	3	特定健診（被扶養者）	被扶養者を対象とした巡回・契約医療機関での家族健診に特定健診項目を網羅して実施している。令和5年度までは健診会場も少なく、契約医療機関も少ない中での実施で受診率が低迷していたが、令和6年度から約3,000か所の実施会場を展開する全国健診協議会（全健協）と契約して実施予定。	全て	男女	40～74	被扶養者	14,038	4月に被扶養者1,002名（内特定健診対象者784名）に「家族健診」案内を送付。申込の無かった対象者へは8月に二次募集の案内を送付した。また、一次募集締切前に、母体イントラや各事業所担当者を通じ、被保険者宛に被扶養者への受診促進を依頼した。	家族健診（被扶養者巡回健診）は長年実施している保健事業のため、被扶養者に認知されており受診者は増加傾向にある。	巡回健診会場は宮城～広島までで全国83ヶ所、施設健診（契約機関）も全国で100ヶ所しかなく健診機会が非常に少ないことが課題である。受診機会を増やすため、令和6年度は全国展開の全国健康増進協議会を新規に採用する。	4
特定保健指導事業	4	特定保健指導（被保険者被扶養者）	外部委託は事業所別に、SOMPOヘルスサポート社とRIZAP社を新規に採用し実施中。被扶養者については健診当日の初回面談を予定している。	全て	男女	40～60	基準該当者	8,992	健診結果による対象者430人をRIZAP、SOMPOヘルスサポート社に割り振り実施中。ICT面談、モデル実施も取り入れて実施している。RIZAP社ではcocozAP使い放題等のインセンティブを掲げて募集している。	母体の健康経営の行動目標に入れてもらい、対象者への参加勧奨を会社の人事部からも実施してもらった。	リピーターが多く、マンネリ化してきており、初回面談を辞退する者が多くなってきている。特定保健指導の評価を行い、効果的な保健指導を実施できるよう、新たな業者選定も含め検討したい。	2
保健指導宣伝	1	事業所別スコアリングレポート・課題事業所レポートの配布	健康管理事業推進委員会において、厚労省事業所別スコアリングレポート及び日本生命保険の事業所別レポート、課題事業所抽出レポートを配布し、健康課題を共有、論議し、健保組合事業への協力を働き掛ける。	全て	男女	18～74	被保険者		毎年12月の健康管理事業推進委員会において目標に掲げた3つのレポートを提示・確認させて、議論している。	いずれも無償で入手でき、各事業所担当者・組合会議委員に提示し、健保組合事業へ関心を持ってもらっている。	配布はしているが各事業所ごとの詳細説明、課題についての議論ができていない。	3
	7	後発医薬品の使用促進	後発医薬品へ切り替えを促進することにより、個人の薬剤費の軽減と健保医療費の費適正化を図る。	全て	男女	0～74	基準該当者		年間薬剤費の節約額が5,000円以上の者へ差額通知を送付を予定した。0また、従来より後発医薬品希望シールは保険証発行時に全員に配布している。	諸般の事情によりレ話6年度は差額通知を送送できなかった。	令和6年2月の後発医薬品使用率は85.59%と健保平均を0.14%上回っている。	4
	8	医療費通知	加入者全員に医療費の使用状況を知らせることにより、「医療費についての関心」と「家族全体で健康管理に対する意識」を高める。	全て	男女	18～74	加入者全員	764	1月～11月診療分の医療費通知を2月上旬に被保険者の自宅に送付した。被扶養者分も含めている。	発送することをホームページや各事業所担当者並びに母体のイントラに掲載し、周知した。	引き続き周知を図り、意識づけを行い、医療費適正化に努める。	4
	5	機関紙コアサ「けんばだより」の発行	健保組合の予算、決算、保健事業内容、健康情報等について加入者に周知し、健康保険組合の事業に関する加入者の理解を深める。	全て	男女	0～74	加入者全員	1,215	年2回発行。予算・決算の状況、健保事業、運営状況等の公開・周知のため、コアサ「けんばだより」として令和5年度より発行開始。ホームページにバックナンバーも掲載し、被保険者への周知を図っている。	予算・決算記事をはじめ、被保険者の興味を引くような適時題材を選択して発行。社会保険研究所に委託することにより業務の効率化、紙面の充実が図られている。	より多くの被保険者が興味をもって閲覧してくれているか読者アンケートを実施する。	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	5	ホームページの活用	ホームページに定期的に健診案内や健康情報を掲載することにより、加入者にヘルスケアリテラシーを高めてもらう。	全て	男女	0～74	加入者全員	600	ホームページを通じて、健保組合の概要、諸手続きの仕方、保健事業案内等を周知し、被保険者への浸透を図っている。令和5年度は全面リニューアルした。	加入者からの問い合わせに対しては、ホームページがあることを周知し、見てもらうように職員全員が徹底して行った。結果、年間アクセス件数は令和4年度5,279件と安定した利用者数となっている。	当面の課題はないが、利用者をもっと増やしたい。	4
	1	健康管理事業推進委員会	実施計画に同じ。議題はスコアリングレポート、健保全体の医療費分析結果、保健事業の効果分析等を共有する。	全て	男女	0～74	被保険者,その他	100	毎年12月初旬に各事業担当者、組合会議員、保健師をメンバーとして、スコアリングレポート、日本生命事業所別課題レポート、コアサ健保の医療費・疾病傾向保健事業、健康課題の共有化を図っている。	委員会メンバーを各事業所担当者、責任者、組合会議員に変更したことにより、各事業所の健保事業への理解が深まった。議題としてスコアリングレポートと各事業所別健康状態分析を公表でき事業所は身近なものとして受け止めたとされる。	今後も同様にコアサ健保の状況、各事業所の課題等を主に報告、共有化し討議して健保事業を活性化させていきたい。	4
疾病予防	3	婦人科検診	婦人科系がん(乳がん、子宮がん)の早期発見・予防のため、婦人科検診受診を推奨し、費用を補助する。上限8,000円。	全て	女性	20～74	加入者全員	10,360	健保推奨の健診項目に、婦人科(乳がん・子宮頸がん)を加え、被保険者・被扶養者ともに健診とセットでの受診を促している。	推奨項目として入れたことにより、婦人科検診に関心を持ってもらい受診率が向上した。	受診率は被保険者の乳がん検査70.8%、子宮頸がん検査65.7%と上がってきたが、被扶養者の乳がん検査47.0%、子宮頸がん検査30.5%と低いのが課題。	4
	3	インフルエンザ予防接種補助	インフルエンザの発症予防と重症化予防のため、予防接種の費用を補助。母体事業所(東京、埼玉、名古屋、大阪、仙台、九州)で集団予防接種も実施し、予防接種実施率を向上させる。	全て	男女	0～74	加入者全員	3,540	10月1日～翌年1月末日までに接種したものにに対し補助を実施している。全国6ヶ所では集団接種を実施した。	新型コロナウイルス禍の影響が残っているのか、接種者は前々年1,913人、令和4年度は1,672人、令和5年度1,670人と前年度並みではあるが接種率は27.0と非常に低い。継続事業として毎年案内しているため補助事業は認知されており、接種者は全加入者の27.4%になる。	全体的に実施率が低く、特に被扶養者の接種率が低いので、機関誌等で周知を行うとともに令和6年度は補助額を3,000円に引き上げる。	3
	5	喫煙対策事業	喫煙者約800人に対し、当初2%を目標として参加募集をしたい。	全て	男女	20～74	被保険者	1,235	当健保の男性の喫煙率は全国平均の約1.6倍となっており課題の一つとなっている。従来禁煙外来補助に加えて、ICTによる禁煙サポートプログラムを開始した。	世界禁煙デーに合わせ、機関誌、HP、母体イントラなどで、受動喫煙の害、禁煙の啓蒙活動を行っている。さらに従来のcure appに加えみんチャレ禁煙プログラムを採用し参加活動を行った。	禁煙率、特に男性の喫煙率が43.6%と非常に高いが、実績のある効果的なプログラムを案内しても参加者が非常に少ない。また、申し込んでも途中脱落者が多いのが課題。	4
	3,8	歯科健診補助	将来的な医療費抑制のため、及び歯科疾患(歯周病他)の早期発見、早期治療につなげる。	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	4,623	歯科健診の重要性を鑑み、従来3年に1回事業所別を実施することになっていた当事業の効果を鑑み、令和4年度より毎年度実施に変更し、補助している。	毎年度実施への変更についての事業所からの評価は良好。事業所の集団健診と同時開催により受診者が安定していると思われる。	令和5年度は+53人の1,000人が受診した。まだ、一部コロナ禍の影響が残っているか。	4
	6	健康相談(電話・WEB)	加入者の電話による電話・WEB相談先を確保することによる疾病相談、夜間の受診控え、真に無用な受診の抑制等の為設置している。加えてメンタル面談も年5回まで無料で提供している。	全て	男女	0～74	加入者全員	550	保健同人フロンティア社に委託して運営している。	機関誌記事として案内し利用促進をしている。	令和5年度電話健康相談17件、心の電話相談2件、面接相談0件と昨年を下回った。利用者をさらに増やすことが今後の課題。周知方法の検討が必要か。	4
	8	家庭用常備薬の斡旋	家庭用常備薬の申込書を年2回配布し斡旋することにより、不要不急の医療機関診療を抑制する。	全て	男女	0～74	加入者全員	0	機関誌に白石薬品提供のチラシを折り込み案内している。Webでも受け付け可能としている。	被保険者の自宅に直接申し込み案内を送ることによって、活字で手に取って見られている。同時にWEBでも掲載したため、WEB世代には身近に見てもらえている。	ドラッグストアのほうが安価な商品もあり利用者、金額が少ない。周知方法を検討する必要あり。	4
	2,4	重症化予防事業	生活習慣病リスク者に対して、糖尿病重症化、高血圧重症化予防他の対象者に種々のプログラムを提供する。。	全て	男女	18～74	被保険者	1,750	糖尿病重症化予防事業としてHbA1cが6.0以上の者に血糖値スパイク測定による気づきを与えるための事業を企画中。	比較的興味を持てる事業になるのではと思われる。	参加者を増やすことが課題。	4
	予算措置なし	5	スポーツクラブの斡旋	加入者の運動習慣定着、生活習慣改善を促進する。	全て	男女	16～74	加入者全員	0	スポーツクラブルネサンスは従来より、メガロスは令和3年度途中からの法人契約し、いずれも健保の負担金はなく、加入者は法人契約価格で利用できる。また、新たにRIZAP社と法人契約しcocoZAPの利用紹介している。	新しくcocoZAPを追加したことにより、加入者の利用機会が拡大した。	令和4年度はコロナ禍の中、大々的な斡旋はできなかったが、ルネサンス20名登録、常時利用者は2～3人、メガロス登録者0と利用者が少ない。

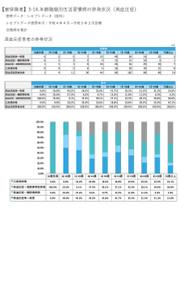
予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価				
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因					
注1)	1.	職場環境の整備	2.	加入者への意識づけ	3.	健康診査	4.	保健指導・受診勧奨	5.	健康教育	6.	健康相談	7.	後発医薬品の使用促進	8.	その他の事業
注2)	1.	39%以下	2.	40%以上	3.	60%以上	4.	80%以上	5.	100%						

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
ストレスチェック	社員のストレス耐性向上が目的で、個々人の現在の心の健康状態をグラフと文章で確認。またカウンセリングサービスを用意しており、仕事上の問題からプライベートまでプロのコウンセラーが無料で相談に応じている	被保険者	男女	20～65	毎年7月中旬～下旬2週間にわたり実施。社員宛へ委託先よりメールが送付され、URLにアクセスしてWEB上にてメンタル診断を実施。	母体は経営トップの強い意思により、受診を徹底指導したことで受診率が大幅にアップしている。また、令和5年度より常勤の保健師を採用し、メンタル、フィジカルの対応を行っている。	高ストレス者も多く、保健師に荷重が多くなって来ており今後の対応が課題。	無

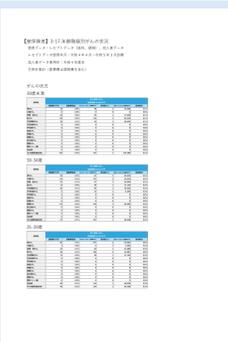
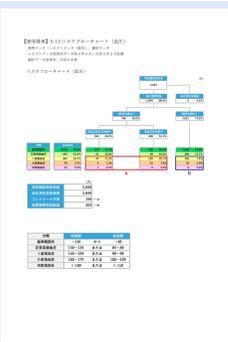
STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		医療費の増加	加入者構成の分析	加入者数は年々増加しており、全ての年齢階級で増加している。生産年齢（40-64歳）と前期高齢者が増加している。被保険者に占める前期高齢者の割合が全体と比べて高く、年々増加している。
イ		医療費の増加	加入者構成の分析	男性が女性の約1.2倍で、40歳以上は全体の約4割、被保険者では約5割を占める。被保険者は男性が女性の約2倍、被扶養者は女性が多く、男性の約1.8倍である。被保険者は、男性では25-59歳が多く、女性では25-54歳が多い。被扶養者は0-24歳までで約6割を占める。
ウ		がん、生活習慣病、呼吸器系、消化器系への取り組み推進	医療費・患者数分析	入院では消化器系、新生物、循環器系が多く、入院外では呼吸器系、内分泌・代謝、皮膚が多い。被保険者では生活習慣病、新生物、消化器系の占める割合が高く、被扶養者では呼吸器系、皮膚、その他の外因に占める割合が高い。

工		がん、生活習慣病、呼吸器系、消化器系への取り組み推進	医療費・患者数分析	<p>被保険者では、内分泌・代謝、消化器系が増加、特に消化器系の伸びが大きく、循環器系は令和2年度以降減少傾向である。新生物は年度により増減を繰り返すが、令和4年度は減少している。</p> <p>被扶養者では、令和3年度以降の呼吸器系の増加幅が大きく、皮膚は横ばい、筋骨格系は令和3年度まで増加していたが令和4年度は減少している。</p>
オ		生活習慣病の取り組み推進	特定健診分析	<p>高血圧症と脂質異常症では単一疾患割合がともに30%を超えるが、糖尿病では20.3%と低く、三疾患併発が38.0%と高い。</p>
カ		生活習慣病の取り組み推進	特定健診分析	<p>高血圧症と脂質異常症では単一疾患割合がともに30%を超えるが、糖尿病では20.3%と低く、三疾患併発が38.0%と高い。</p>
キ		生活習慣病の取り組み推進	特定健診分析	<p>高血圧症と脂質異常症では単一疾患が40代前半から、糖尿病は40代後半から増加し、三疾患とも40代後半から三疾患併発が増える。糖尿病では三疾患併発の割合が高く、年齢とともに増加傾向である。脂質異常症は、40歳未満でも単一疾患患者が高血圧症や糖尿病に比べて多い。</p>

ク		生活習慣病の取り組み推進	特定健診分析	<p>高血圧症と脂質異常症では単一疾患が40代前半から、糖尿病は40代後半から増加し、三疾患とも40代後半から三疾患併発が増える。糖尿病では三疾患併発の割合が高く、年齢とともに増加傾向である。脂質異常症は、40歳未満でも単一疾患患者が高血圧症や糖尿病に比べて多い。</p>
ケ		生活習慣病の取り組み推進	特定健診分析	<p>高血圧症と脂質異常症では単一疾患が40代前半から、糖尿病は40代後半から増加し、三疾患とも40代後半から三疾患併発が増える。糖尿病では三疾患併発の割合が高く、年齢とともに増加傾向である。脂質異常症は、40歳未満でも単一疾患患者が高血圧症や糖尿病に比べて多い。</p>
コ		がんへの取り組み推進	健康リスク分析	<p>被保険者では大腸がん、胃がん、乳がん、気管・肺がんが多く、被扶養者では乳がん、大腸がんが多い。加入者1人当たりの医療費では乳がんが高く、患者1人当たり医療費では乳がん、食道がんが上位3位に入ることが多い。年度により増減があるが、大腸がん、気管・肺がん、乳がん、前立腺がんの患者割合が増加傾向で、大腸がん、乳がん、前立腺がんは加入者・患者1人当たりの医療費も増加傾向である。</p>
サ		がんへの取り組み推進	健康リスク分析	<p>令和4年度のがんの医療費は全体の5.9%で、女性(6.6%)は男性(5.4%)よりがんの占める割合が高い。医療費割合及び患者割合とも男性では大腸がんが、女性は乳がんが高く、特に乳がんは女性のがんの医療費割合の75.4%を占めている。加入者・患者1人当たり医療費とも男性は大腸がんが、女性は乳がんが最も高い。</p>

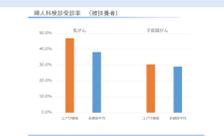
シ		がんへの取り組み推進	健康リスク分析	大腸がん、乳がんは30代後半から60代まで、子宮頸がんは30代前半、気管・肺がんは60代以降、胃がんは50代から60代前半、前立腺がんは60代以降の患者割合が高い。
ス		メンタルヘルスに対する取り組み推進	健康リスク分析	20代前半が最も高く、総医療費の9.2%を占める。20代後半から30代後半まで減少し、40代前半に5.4%に増加。40代後半から60代前半まで減少している。精神疾患の医療費割合はうつ病は20代後半と40代前半、50代前半から60代前半で、神経症性障害は30代が5割を占めている。患者割合はうつ病は50代が、神経症性障害は30代前半が最も多い。
セ		重症化予防の推進	特定健診分析	令和3年度の医療機関への受診勧奨基準において速やかに受診を要する者は406名であり、医療機関受診率は72.9%であった。経年では受診率が増加している。
ソ		高血圧症重症化予防の推進	健康リスク分析	血圧のリスク保有者のうち、医療機関受診中のコントロール不良者が222人、医療機関受診勧奨者が238人になり、そのうちⅢ度高血圧の該当者15名は全て被保険者である。

<p>タ</p>		<p>脂質異常症重症化予防の推進</p>	<p>健康リスク分析</p>	<p>脂質異常症のリスク保有者のうち、医療機関受診中のコントロール不良者が303人、医療機関受診勧奨者が595人になる。</p>
<p>チ</p>		<p>糖尿病重症化予防の推進</p>	<p>健康リスク分析</p>	<p>糖尿病のリスク保有者のうち、医療機関受診中のコントロール不良者が152人、医療機関受診勧奨者が39人になり、そのうち高血糖Ⅳの該当者48人中45人は被保険者である。</p>
<p>ツ</p>		<p>糖尿病性腎症も含めたCKD重症化予防の推進</p>	<p>健康リスク分析</p>	<p>何らかの治療が必要なCKDステージ3から5の人が263人で全体の約12.8%である。</p>
<p>テ</p>		<p>特定保健指導の実施率の向上</p>	<p>特定保健指導分析</p>	<p>令和4年度の特定保健指導終了率は29.5%であり、女性は41.9%と高い。新型コロナウイルスの影響で令和3年度に減少したが、令和4年度は増加に転じた。令和3年度のみ男性が女性を上回ったが、令和3年度以外の終了率は女性の方が高い。 被保険者は、50代後半以外は男性より女性の終了率が高い。男女とも40代前半の終了率が最も高く、男性は50代後半、女性は50代前半で増加するものの、年齢とともに減少傾向である。特に50代前半の男性が37.0%と低く、60代においては、60代前半（31人中2名）、60代後半（18人中1名）と著しく低下している。 被扶養者の令和4年度の終了率は40.0%で平成30年度以降の対象者は全員女性であった。令和3年度に14.3%に低下し、令和4年度は増加に転じたが、新型コロナウイルス以前の終了率には戻っていない。</p>

ト	<p>【図表1】大分県医師会による特定保健指導対象者の減少率 <small>単位：人、割合：%</small> <small>※1：令和2年度は、令和3年度と同一</small> <small>※2：令和3年度は、令和2年度と同一</small></p> <p>特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>減少率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1,017</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>717</td> <td>70.6%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>646</td> <td>63.6%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	対象者数	減少率	令和2年度	1,017	100%	令和3年度	717	70.6%	令和4年度	646	63.6%	特定保健指導該当率の減少、特定保健指導の充実	特定保健指導分析	令和4年度の特定保健指導対象者の減少率は31.8%で、約1/3の人が次年度に対象から外れた。						
年度	対象者数	減少率																				
令和2年度	1,017	100%																				
令和3年度	717	70.6%																				
令和4年度	646	63.6%																				
ナ	<p>【図表2】大分県医師会の処方箋枚数 <small>単位：枚、割合：%</small> <small>※1：令和2年度は、令和3年度と同一</small> <small>※2：令和3年度は、令和2年度と同一</small></p> <p>処方箋枚数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>処方箋枚数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,841</td> <td>8.2%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,327</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2,065</td> <td>6.1%</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>3,127</td> <td>9.3%</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>3,293</td> <td>9.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	処方箋枚数	割合	令和2年度	2,841	8.2%	令和3年度	2,327	6.9%	令和4年度	2,065	6.1%	令和5年度	3,127	9.3%	令和6年度	3,293	9.7%	適正服薬の推進 生活習慣病への取り組み推進	その他	令和4年度における重複投薬者数は18人（0.3%）で、割合を経年でみると、令和2年度に低下し、令和3年度に増加している。
年度	処方箋枚数	割合																				
令和2年度	2,841	8.2%																				
令和3年度	2,327	6.9%																				
令和4年度	2,065	6.1%																				
令和5年度	3,127	9.3%																				
令和6年度	3,293	9.7%																				
ニ	<p>【図表3】大分県医師会処方箋枚数 <small>単位：枚、割合：%</small> <small>※1：令和2年度は、令和3年度と同一</small> <small>※2：令和3年度は、令和2年度と同一</small></p> <p>処方箋枚数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>処方箋枚数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,841</td> <td>8.2%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,327</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2,065</td> <td>6.1%</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>3,127</td> <td>9.3%</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>3,293</td> <td>9.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	処方箋枚数	割合	令和2年度	2,841	8.2%	令和3年度	2,327	6.9%	令和4年度	2,065	6.1%	令和5年度	3,127	9.3%	令和6年度	3,293	9.7%	適正服薬の推進 生活習慣病への取り組み推進	その他	去痰剤、解熱鎮痛消炎剤、鎮咳去痰剤が多くを占めている。
年度	処方箋枚数	割合																				
令和2年度	2,841	8.2%																				
令和3年度	2,327	6.9%																				
令和4年度	2,065	6.1%																				
令和5年度	3,127	9.3%																				
令和6年度	3,293	9.7%																				
ヌ	<p>【図表4】大分県医師会処方箋枚数 <small>単位：枚、割合：%</small> <small>※1：令和2年度は、令和3年度と同一</small> <small>※2：令和3年度は、令和2年度と同一</small></p> <p>処方箋枚数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>処方箋枚数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,841</td> <td>8.2%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,327</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2,065</td> <td>6.1%</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>3,127</td> <td>9.3%</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>3,293</td> <td>9.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	処方箋枚数	割合	令和2年度	2,841	8.2%	令和3年度	2,327	6.9%	令和4年度	2,065	6.1%	令和5年度	3,127	9.3%	令和6年度	3,293	9.7%	適正服薬の推進 生活習慣病への取り組み推進	その他	令和4年度における6種の多剤投薬患者数は965人で、経年では令和2年度に9.7%に低下したが、その後徐々に増加している。
年度	処方箋枚数	割合																				
令和2年度	2,841	8.2%																				
令和3年度	2,327	6.9%																				
令和4年度	2,065	6.1%																				
令和5年度	3,127	9.3%																				
令和6年度	3,293	9.7%																				

<p>ネ</p> 	<p>適正服薬の推進 生活習慣病への取り組み推進</p>	<p>その他</p>	<p>令和4年度における15種の多剤投薬患者数は5人で、経年では令和2年度に1人に低下したが、その後は5～6人で推移している。</p>
<p>ノ</p> 	<p>適正服薬の推進</p>	<p>その他</p>	<p>併用禁忌の薬剤の使用者が3人いる。禁忌薬剤の種類はその他の中枢神経系用薬、消化性潰瘍用剤が多い。組み合わせでは、その他の中枢神経系用薬との併用が確認でき、併用先としては消化性潰瘍用剤、主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの、主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの、その他の抗生物質製剤（複合抗生物質製剤を含む）がみられる。</p>
<p>ハ</p> 	<p>被保険者一人当たり医療費の推移</p>	<p>医療費・患者数分析</p>	<p>2016年度より6年間の被保険者一人当たり医療費はほぼ2016年度並みで大きく増えていない。しかしながら、2023年度は900,031,678/3,515人=256,054円と、2022年度228,857円/人に対し+11.88%と大きく伸びている。</p>
<p>ヒ</p> 	<p>被保険者一人当たり医療費医療給付費別の推移</p>	<p>医療費・患者数分析</p>	<p>被保険者、被扶養者ともに大きな変化はないが、2020年度のみコロナ禍の受診控えで大きく減少したがその後戻っている。とくに子供の受診控えがあったものである。</p>
<p>フ</p> 	<p>加入者一人当たり医療費比較（健保連・業界）</p>	<p>医療費・患者数分析</p>	<p>男性は高齢になるほど健保連全体、業界平均に比べて、高くなっている。女性は20歳代、40歳代を除き健保連全体、業界平均よりも低い傾向にある。特に60歳代は差が大きい。</p>
<p>ヘ</p> 	<p>被保険者一人当たり疾病別医療費の業界比較（卸売業）</p>	<p>医療費・患者数分析</p>	<p>殆どの疾病が業界のみであるが、全体として、新生物、糖尿病・脂質異常、循環器系、消化器系、腎不全、新型コロナが多い傾向にある。当健保が突出しているのは消化器系であるがこれは2022年度のみの特異なもので、一人腸捻転患者がいたことによる。2023年度も同様の傾向にある。</p>

ホ		被保険者一人当たり疾病別医療費の業界比較	医療費・患者数分析	健保連全体比較で高い疾病は神経系疾患、消化器系疾患、先天奇形、新型コロナウイルスであり、新生物、精神・行動障害、筋骨格、損傷は低い。「リ」で述べたように消化器系は2022年度の特異現象であり、全体的には平均して業界並みか若干低めの傾向にあると言える。
マ		被保険者一人当たり新生物医療費の業界比較（健保連全体）	医療費・患者数分析	結腸、直腸、肺の新生物医療費が高く、肝、乳房、子宮頸がんの医療費は低い。特に婦人科系の新生物医療費は低い状況である。
ミ		生活習慣病医療費 男性被保険者一人当たり（健保連比較）	医療費・患者数分析	いわゆる生活習慣病、特定健診項目の代表的な糖尿病、高血圧、高脂血症いずれの医療費も健保連全体返金に比較して高い。
ム		内分泌・代謝異常 被保険者一人当たり医療費比較（健保連全体）	医療費・患者数分析	内分泌・栄養・代謝異常関係はいずれも健保連平均よりも若干低いレベルである。
メ		循環器系疾患医療費の健保連全体との比較	医療費・患者数分析	循環器系疾患、健保連全体との比較 肺性心疾患とその他の心疾患は健保連全体平均に比較して高い。喫煙率の高さに関係しているか。その他はいずれも健保連全体に比較して低い。
モ		消化器系疾患、被保険者一人当たり医療費 健保連比較	医療費・患者数分析	消化器系疾患はその他の肝疾患、胆石関係は健保連全体と比較して高いが、その他、予防可能と思われる疾患はいずれも低い。
ヤ		メンタル系疾患 被保険者一人当たり医療費（健保連全体との比較）	医療費・患者数分析	メンタル系疾患はいずれも健保連全体と比較し低い状況である。
ユ		本人医療費にしめる歯科医療費の額及び割合	医療費・患者数分析	本人歯科医療費は医療費全体5億34百万円のうち13,3%、71百万円と大きな額を占める。

ヨ		被保険者一人当たり歯科医療費の健保連全体との比較	医療費・患者数分析	本人一人当たり歯科医療費は健保連全体と比較して若干低い。
ラ		歯科系疾患被保険者一人当たり医療費の健保連全体との比較	医療費・患者数分析	各歯科疾患医療費はおおむね健保連全体と比較して若干低めである。
リ		女性新生物 被保険者一人当たり医療費	医療費・患者数分析	女性被保険者一人当たり新生物医療費は直腸がんを除き健保連全体と比較して高い、特に胃の新生物医療費は極めて高い状況となっている。
ル		婦人科系検診受診率比較	特定健診分析	婦人科検診の乳がん、子宮頸がんのいずれも健保連全体と比較して高い。特に子宮頸がんの受診率は高い。
レ		婦人科系 検診 被扶養者 受診率比較	特定健診分析	被扶養者のがん検診受診率は乳がんは健保連全体と比較しかなり高いが、子宮頸がん検診は健保連全体並みである。
ロ		スコアリング レポート 健康状態	健康リスク分析	生活習慣のうちの健康状況は運動習慣を除き健保連、業界平均よりもひくい。
ワ		スコアリング レポート 生活習慣	特定健診分析	運動習慣以外は前年と同じかあるいは悪化している。特に食事習慣は悪化の程度が大きい。
ヲ		スコアリング レポート 特定健診受診率	特定健診分析	特定健診受診率のうち、被保険者は97.4%と単一健保平均と比較してたかいが、被扶養者は62.3%となっている。
ン		スコアリング レポート 特定保健指導実施診率	特定保健指導分析	特定保健指導実施率は28.4%と健保連全体と比較しかなり低い状況である。

<p>アア</p>		<p>喫煙状況・喫煙率</p>	<p>健康リスク分析</p>	<p>被保険者本人の喫煙率は、男性43.6%と全国平均と比べ非常に高い。女性も全国平均7.6%と比較して9.0%と決して低くない状況である。</p>
<p>アイ</p>		<p>スコアリングレポート 特定健診数値</p>	<p>特定健診分析</p>	<p>特定健診の健康状況の数値は被保険者においては、血圧、肥満、血糖、脂質、肝機能のどれをとっても健保連全体、業界平均と比較して、いずれの項目も悪い。特に脂質において悪い状況である。一方、被扶養者は肝機能以外は肥満度が健保連、業界平均並みであり、それ以外はいい状況である。</p>
<p>アウ</p>		<p>喫煙の状況 事業所別 人数・喫煙率</p>	<p>健康リスク分析</p>	<p>男性全体喫煙率43.6%の中でも事業所別に見るとばらつきがあり、高いところは57.1%と2人に1人が喫煙者ということになる。</p>
<p>アエ</p>		<p>季節性疾患医療費の健保連全体と比較</p>	<p>医療費・患者数分析</p>	<p>季節性疾患医療費はいずれも健保連全体と比較して若干高くなっている。</p>

【被保険者】 1-1.年齢階級別加入数の経年推移

使用データ：加入者データ

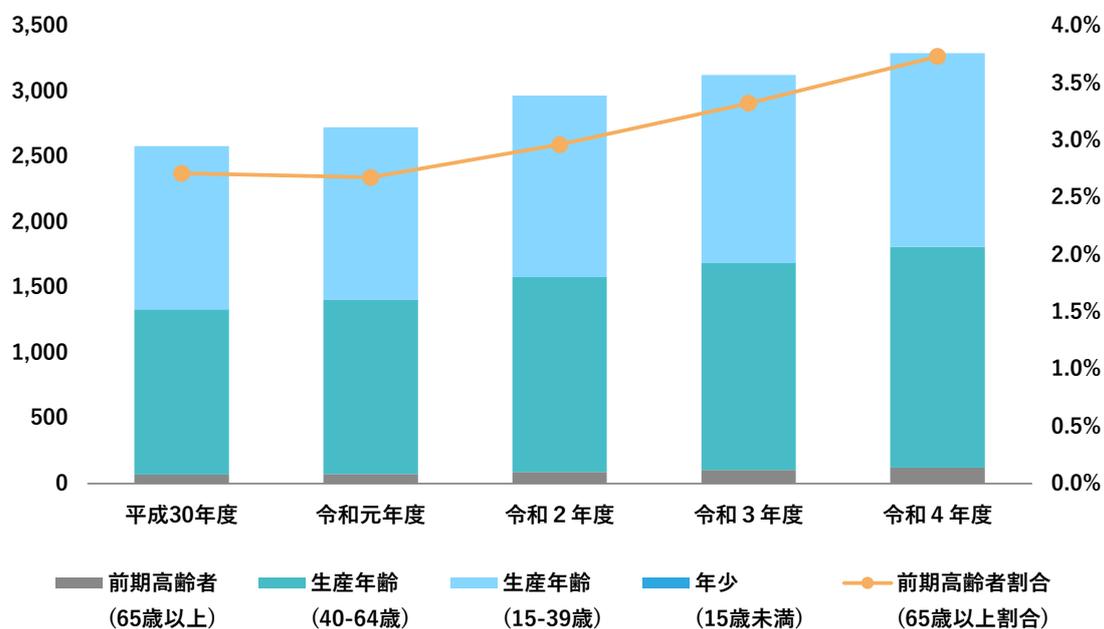
加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

年齢階級別加入者数の推移

(人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年少 (15歳未満)	0	0	0	0	0
生産年齢 (15-39歳)	1,247	1,318	1,390	1,441	1,483
生産年齢 (40-64歳)	1,264	1,336	1,491	1,582	1,687
前期高齢者 (65歳以上)	70	73	88	104	123
合計	2,581	2,727	2,969	3,127	3,293
前期高齢者割合 (65歳以上割合)	2.7%	2.7%	3.0%	3.3%	3.7%

(人)



【被保険者】1-2.性別・年齢階級別加入者数の状況

使用データ：加入者データ

加入者データ使用年：令和2年～令和4年度末

【令和2年度】

性別・年齢階級別加入者数

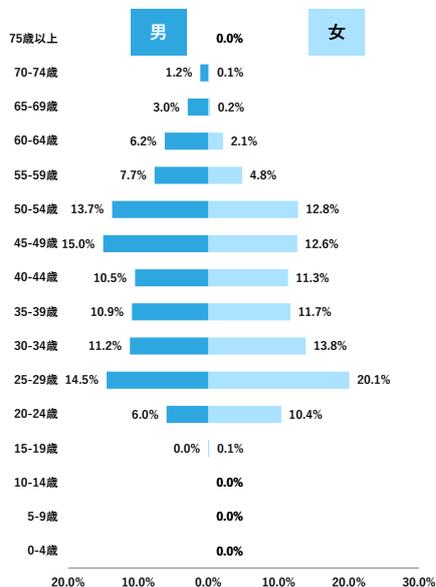
(人)

性別・年齢階級別加入者構成割合

	令和2年度		
	男	女	合計
0-4歳	0	0	0
5-9歳	0	0	0
10-14歳	0	0	0
15-19歳	1	1	2
20-24歳	123	95	218
25-29歳	298	184	482
30-34歳	230	127	357
35-39歳	224	107	331
40-44歳	215	104	319
45-49歳	308	116	424
50-54歳	282	117	399
55-59歳	158	44	202
60-64歳	128	19	147
65-69歳	61	2	63
70-74歳	24	1	25
75歳-	0	0	0
合計	2,052	917	2,969

	令和2年度		
	男	女	合計
0-4歳	0.0%	0.0%	0.0%
5-9歳	0.0%	0.0%	0.0%
10-14歳	0.0%	0.0%	0.0%
15-19歳	0.0%	0.1%	0.1%
20-24歳	6.0%	10.4%	7.3%
25-29歳	14.5%	20.1%	16.2%
30-34歳	11.2%	13.8%	12.0%
35-39歳	10.9%	11.7%	11.1%
40-44歳	10.5%	11.3%	10.7%
45-49歳	15.0%	12.6%	14.3%
50-54歳	13.7%	12.8%	13.4%
55-59歳	7.7%	4.8%	6.8%
60-64歳	6.2%	2.1%	5.0%
65-69歳	3.0%	0.2%	2.1%
70-74歳	1.2%	0.1%	0.8%
75歳-	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

性別・年齢階級別加入者数構成割合



	全体	男	女
65歳以上	3.0%	4.1%	0.3%
40-64歳	50.2%	53.2%	43.6%
15-39歳	46.8%	42.7%	56.1%
15歳未満	0.0%	0.0%	0.0%

【令和3年度】

性別・年齢階級別加入者数

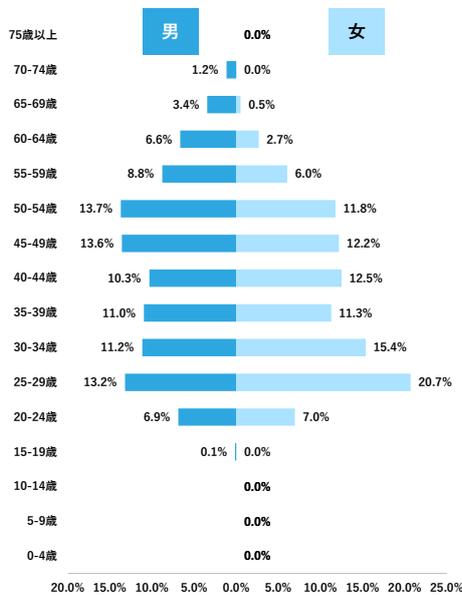
(人)

性別・年齢階級別加入者構成割合

	令和3年度		
	男	女	合計
0-4歳	0	0	0
5-9歳	0	0	0
10-14歳	0	0	0
15-19歳	3	0	3
20-24歳	148	68	216
25-29歳	284	202	486
30-34歳	240	150	390
35-39歳	236	110	346
40-44歳	222	122	344
45-49歳	292	119	411
50-54歳	295	115	410
55-59歳	189	59	248
60-64歳	143	26	169
65-69歳	74	5	79
70-74歳	25	0	25
75歳-	0	0	0
合計	2,151	976	3,127

	令和3年度		
	男	女	合計
0-4歳	0.0%	0.0%	0.0%
5-9歳	0.0%	0.0%	0.0%
10-14歳	0.0%	0.0%	0.0%
15-19歳	0.1%	0.0%	0.1%
20-24歳	6.9%	7.0%	6.9%
25-29歳	13.2%	20.7%	15.5%
30-34歳	11.2%	15.4%	12.5%
35-39歳	11.0%	11.3%	11.1%
40-44歳	10.3%	12.5%	11.0%
45-49歳	13.6%	12.2%	13.1%
50-54歳	13.7%	11.8%	13.1%
55-59歳	8.8%	6.0%	7.9%
60-64歳	6.6%	2.7%	5.4%
65-69歳	3.4%	0.5%	2.5%
70-74歳	1.2%	0.0%	0.8%
75歳-	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

性別・年齢階級別加入者数構成割合



	全体	男	女
65歳以上	3.3%	4.6%	0.5%
40-64歳	50.6%	53.0%	45.2%
15-39歳	46.1%	42.4%	54.3%
15歳未満	0.0%	0.0%	0.0%

【令和4年度】

性別・年齢階級別加入者数

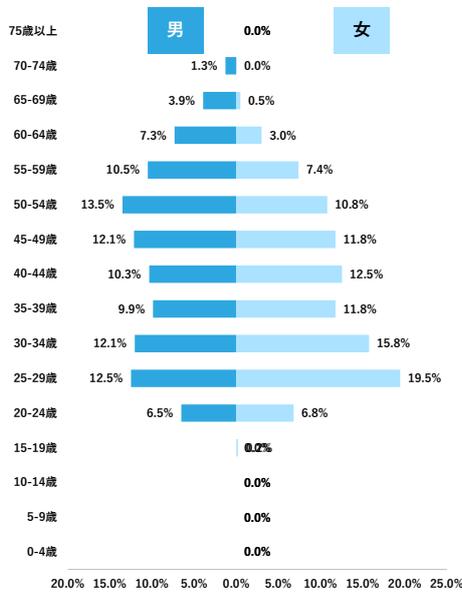
(人)

性別・年齢階級別加入者構成割合

	令和4年度		
	男	女	合計
0-4歳	0	0	0
5-9歳	0	0	0
10-14歳	0	0	0
15-19歳	0	2	2
20-24歳	148	70	218
25-29歳	283	200	483
30-34歳	273	162	435
35-39歳	224	121	345
40-44歳	234	129	363
45-49歳	275	121	396
50-54歳	306	111	417
55-59歳	238	76	314
60-64歳	166	31	197
65-69歳	89	5	94
70-74歳	29	0	29
75歳-	0	0	0
合計	2,265	1,028	3,293

	令和4年度		
	男	女	合計
0-4歳	0.0%	0.0%	0.0%
5-9歳	0.0%	0.0%	0.0%
10-14歳	0.0%	0.0%	0.0%
15-19歳	0.0%	0.2%	0.1%
20-24歳	6.5%	6.8%	6.6%
25-29歳	12.5%	19.5%	14.7%
30-34歳	12.1%	15.8%	13.2%
35-39歳	9.9%	11.8%	10.5%
40-44歳	10.3%	12.5%	11.0%
45-49歳	12.1%	11.8%	12.0%
50-54歳	13.5%	10.8%	12.7%
55-59歳	10.5%	7.4%	9.5%
60-64歳	7.3%	3.0%	6.0%
65-69歳	3.9%	0.5%	2.9%
70-74歳	1.3%	0.0%	0.9%
75歳-	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

性別・年齢階級別加入者数構成割合



	全体	男	女
65歳以上	3.7%	5.2%	0.5%
40-64歳	51.2%	53.8%	45.5%
15-39歳	45.0%	41.0%	54.0%
15歳未満	0.0%	0.0%	0.0%

【被保険者】 3-1.疾病大分類別・入外別医療費の状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

疾病大分類別・入外別医療費の構成割合

※全体医療費の多い順

順位	疾病大分類		令和4年度					
			全体		入外別			
	コード	略称名	医療費(千円)	構成割合	医療費(円)		構成割合	
					入院	入院外	入院	入院外
1	9	循環器系	56,260	12.6%	19,888,784	36,371,550	35.4%	64.6%
2	2	新生物	51,206	11.4%	15,179,492	36,026,220	29.6%	70.4%
3	4	内分泌・代謝	48,474	10.8%	1,820,660	46,653,770	3.8%	96.2%
4	11	消化器系	46,180	10.3%	17,078,459	29,101,210	37.0%	63.0%
5	14	腎尿路生殖器系	34,691	7.8%	2,627,240	32,063,390	7.6%	92.4%
6	10	呼吸器系	33,491	7.5%	1,862,380	31,628,590	5.6%	94.4%
7	13	筋骨格系	28,192	6.3%	6,902,306	21,289,500	24.5%	75.5%
8	6	神経系	24,057	5.4%	10,995,430	13,061,200	45.7%	54.3%
9	12	皮膚	19,671	4.4%	0	19,671,380	0.0%	100.0%
10	7	眼科系	19,459	4.4%	3,115,060	16,343,560	16.0%	84.0%
11	22	特殊目的	17,755	4.0%	608,400	17,146,130	3.4%	96.6%
12	1	感染症	15,038	3.4%	2,518,430	12,519,760	16.7%	83.3%
13	19	その他の外因	12,110	2.7%	4,730,332	7,380,080	39.1%	60.9%
14	5	精神系	10,594	2.4%	250,658	10,343,480	2.4%	97.6%
15	17	先天奇形	10,204	2.3%	6,522,760	3,680,880	63.9%	36.1%
16	18	他に分類されない	7,096	1.6%	460,342	6,636,060	6.5%	93.5%
17	15	妊娠,分娩	4,120	0.9%	3,453,670	666,610	83.8%	16.2%
18	8	耳科系	3,484	0.8%	0	3,483,940	0.0%	100.0%
19	21	保健サービス	2,237	0.5%	0	2,236,890	0.0%	100.0%
20	3	血液・免疫	1,342	0.3%	114,368	1,227,430	8.5%	91.5%
21	16	周産期	0	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
22	20	傷病・死因の原因	0	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
-	-	その他	1,648	0.4%	0	1,648,190	0.0%	100.0%
		全体	447,309	100.0%	98,128,771	349,179,820	21.9%	78.1%

【被保険者】 3-2.疾病大分類別加入者 1 人当たり医療費の年度推移（上位10位）

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ
 レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療
 加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末
 主病を集計（医療費は調剤費を含む）

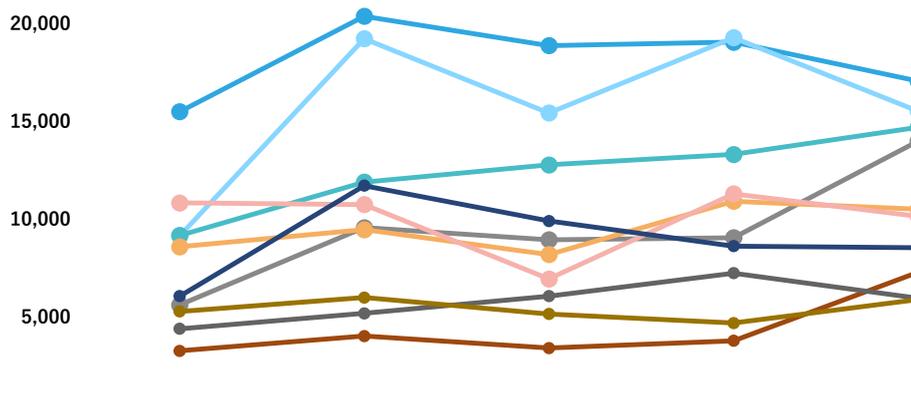
疾病大分類別加入者 1 人当たり医療費（上位10位）

※令和4年度の上位10位を表示

(円)

順位	疾病大分類		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	コード	略称					
1	9	循環器系	15,526	20,407	18,908	19,084	17,085
2	2	新生物	9,173	19,258	15,459	19,313	15,550
3	4	内分泌・代謝	9,186	11,921	12,798	13,334	14,720
4	11	消化器系	5,631	9,589	8,966	9,071	14,024
5	14	腎尿路生殖器系	8,607	9,480	8,205	10,935	10,535
6	10	呼吸器系	10,854	10,766	6,964	11,316	10,170
7	13	筋骨格系	6,078	11,732	9,925	8,639	8,561
8	6	神経系	3,278	4,031	3,423	3,796	7,305
9	12	皮膚	4,406	5,194	6,080	7,252	5,974
10	7	眼科系	5,295	6,007	5,164	4,701	5,909

(円/人) 25,000



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
● 循環器系	15,526	20,407	18,908	19,084	17,085
● 新生物	9,173	19,258	15,459	19,313	15,550
● 内分泌・代謝	9,186	11,921	12,798	13,334	14,720
● 消化器系	5,631	9,589	8,966	9,071	14,024
● 腎尿路生殖器系	8,607	9,480	8,205	10,935	10,535
● 呼吸器系	10,854	10,766	6,964	11,316	10,170
● 筋骨格系	6,078	11,732	9,925	8,639	8,561
● 神経系	3,278	4,031	3,423	3,796	7,305
● 皮膚	4,406	5,194	6,080	7,252	5,974
● 眼科系	5,295	6,007	5,164	4,701	5,909

【被保険者】 3-13.性別生活習慣病の併発状況（脂質異常症）

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

全傷病を集計

脂質異常症患者の併発状況

(人)

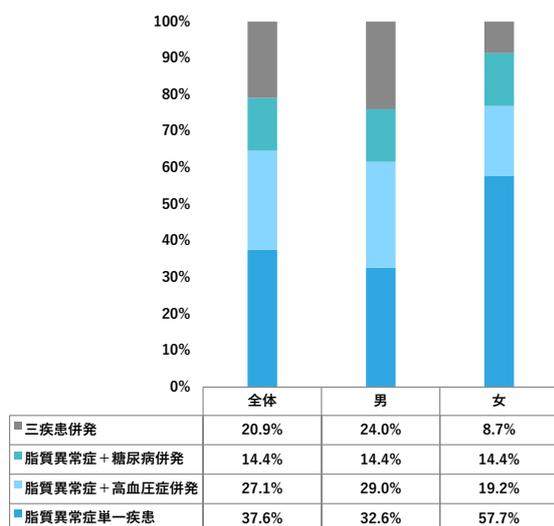
	全体	
	患者数	患者割合
脂質異常症単一疾患	196	37.6%
脂質異常症+高血圧症併発	141	27.1%
脂質異常症+糖尿病併発	75	14.4%
三疾患併発	109	20.9%
脂質異常症患者全体	521	100.0%

(人)

	男	
	患者数	患者割合
脂質異常症単一疾患	136	32.6%
脂質異常症+高血圧症併発	121	29.0%
脂質異常症+糖尿病併発	60	14.4%
三疾患併発	100	24.0%
脂質異常症患者全体	417	100.0%

(人)

	女	
	患者数	患者割合
脂質異常症単一疾患	60	57.7%
脂質異常症+高血圧症併発	20	19.2%
脂質異常症+糖尿病併発	15	14.4%
三疾患併発	9	8.7%
脂質異常症患者全体	104	100.0%



【被保険者】 3-13.性別生活習慣病の併発状況（糖尿病）

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

全傷病を集計

糖尿病患者の併発状況

(人)

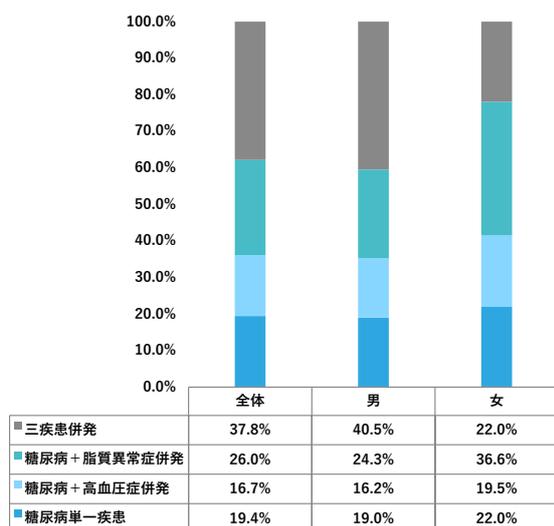
	全体	
	患者数	患者割合
糖尿病単一疾患	56	19.4%
糖尿病+高血圧症併発	48	16.7%
糖尿病+脂質異常症併発	75	26.0%
三疾患併発	109	37.8%
糖尿病患者全体	288	100.0%

(人)

	男	
	患者数	患者割合
糖尿病単一疾患	47	19.0%
糖尿病+高血圧症併発	40	16.2%
糖尿病+脂質異常症併発	60	24.3%
三疾患併発	100	40.5%
糖尿病患者全体	247	100.0%

(人)

	女	
	患者数	患者割合
糖尿病単一疾患	9	22.0%
糖尿病+高血圧症併発	8	19.5%
糖尿病+脂質異常症併発	15	36.6%
三疾患併発	9	22.0%
糖尿病患者全体	41	100.0%



【被保険者】 3-14.年齢階級別生活習慣病の併発状況（高血圧症）

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

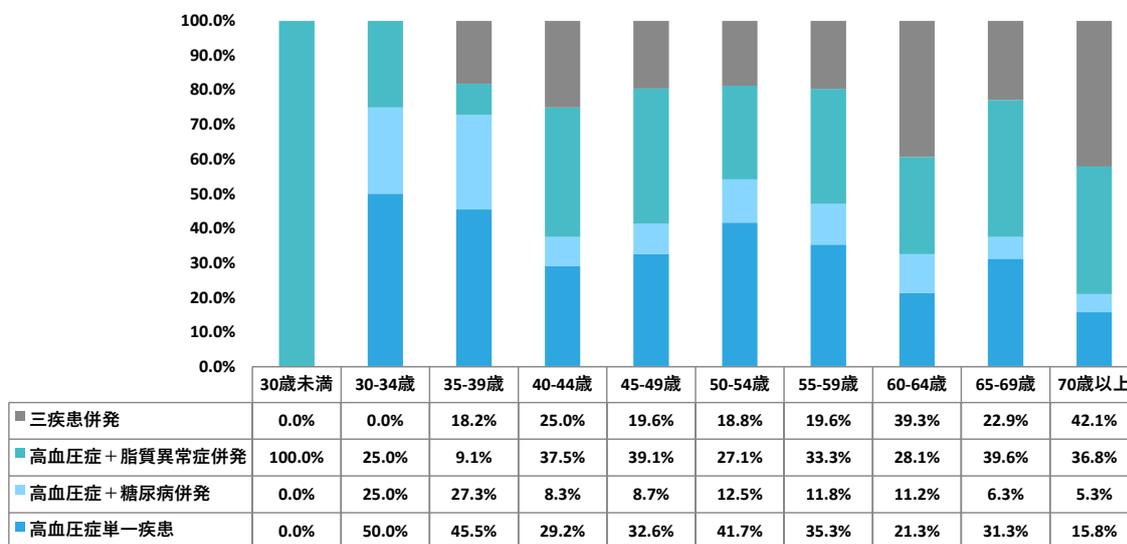
全傷病を集計

高血圧症患者の併発状況

(人)

	患者数									
	30歳未満	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
高血圧症単一疾患	0	2	5	7	15	40	36	19	15	3
高血圧症+糖尿病併発	0	1	3	2	4	12	12	10	3	1
高血圧症+脂質異常症併発	1	1	1	9	18	26	34	25	19	7
三疾患併発	0	0	2	6	9	18	20	35	11	8
高血圧症患者全体	1	4	11	24	46	96	102	89	48	19

	割合									
	30歳未満	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
高血圧症単一疾患	0.0%	50.0%	45.5%	29.2%	32.6%	41.7%	35.3%	21.3%	31.3%	15.8%
高血圧症+糖尿病併発	0.0%	25.0%	27.3%	8.3%	8.7%	12.5%	11.8%	11.2%	6.3%	5.3%
高血圧症+脂質異常症併発	100.0%	25.0%	9.1%	37.5%	39.1%	27.1%	33.3%	28.1%	39.6%	36.8%
三疾患併発	0.0%	0.0%	18.2%	25.0%	19.6%	18.8%	19.6%	39.3%	22.9%	42.1%
高血圧症患者全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



【被保険者】3-14.年齢階級別生活習慣病の併発状況（脂質異常症）

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

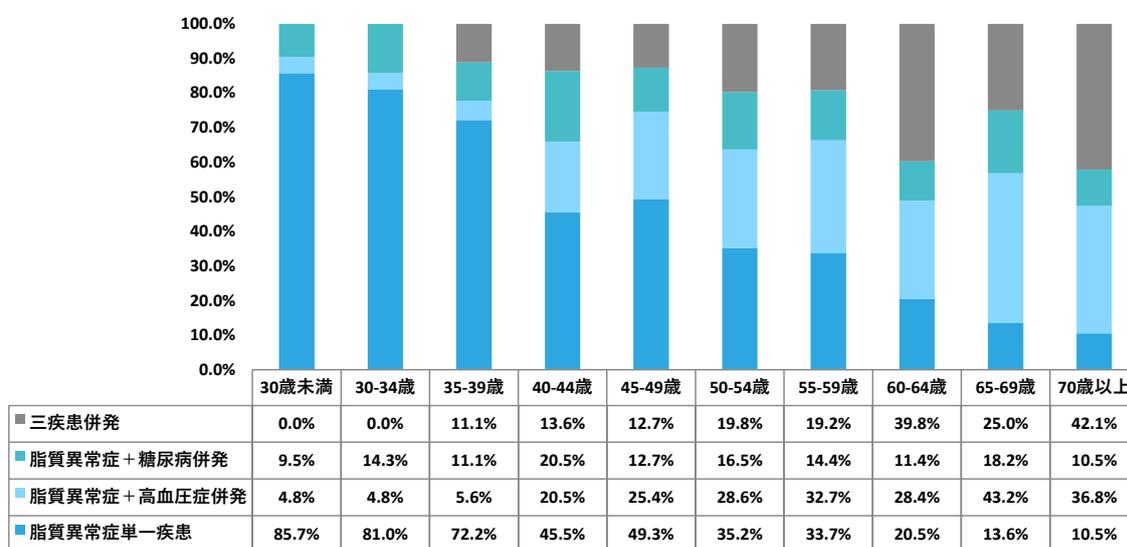
全傷病を集計

脂質異常症患者の併発状況

(人)

	患者数									
	30歳未満	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
脂質異常症単一疾患	18	17	13	20	35	32	35	18	6	2
脂質異常症+高血圧症併発	1	1	1	9	18	26	34	25	19	7
脂質異常症+糖尿病併発	2	3	2	9	9	15	15	10	8	2
三疾患併発	0	0	2	6	9	18	20	35	11	8
脂質異常症患者全体	21	21	18	44	71	91	104	88	44	19

	割合									
	30歳未満	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
脂質異常症単一疾患	85.7%	81.0%	72.2%	45.5%	49.3%	35.2%	33.7%	20.5%	13.6%	10.5%
脂質異常症+高血圧症併発	4.8%	4.8%	5.6%	20.5%	25.4%	28.6%	32.7%	28.4%	43.2%	36.8%
脂質異常症+糖尿病併発	9.5%	14.3%	11.1%	20.5%	12.7%	16.5%	14.4%	11.4%	18.2%	10.5%
三疾患併発	0.0%	0.0%	11.1%	13.6%	12.7%	19.8%	19.2%	39.8%	25.0%	42.1%
脂質異常症患者全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



【被保険者】3-14.年齢階級別生活習慣病の併発状況（糖尿病）

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

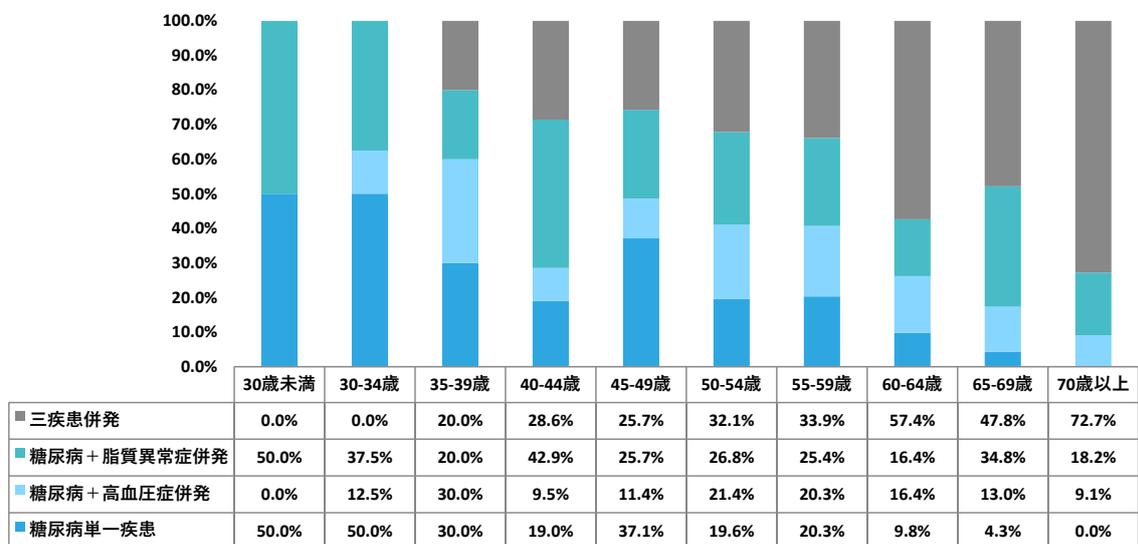
全傷病を集計

糖尿病患者の併発状況

(人)

	患者数									
	30歳未満	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
糖尿病単一疾患	2	4	3	4	13	11	12	6	1	0
糖尿病+高血圧症併発	0	1	3	2	4	12	12	10	3	1
糖尿病+脂質異常症併発	2	3	2	9	9	15	15	10	8	2
三疾患併発	0	0	2	6	9	18	20	35	11	8
糖尿病患者全体	4	8	10	21	35	56	59	61	23	11

	割合									
	30歳未満	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
糖尿病単一疾患	50.0%	50.0%	30.0%	19.0%	37.1%	19.6%	20.3%	9.8%	4.3%	0.0%
糖尿病+高血圧症併発	0.0%	12.5%	30.0%	9.5%	11.4%	21.4%	20.3%	16.4%	13.0%	9.1%
糖尿病+脂質異常症併発	50.0%	37.5%	20.0%	42.9%	25.7%	26.8%	25.4%	16.4%	34.8%	18.2%
三疾患併発	0.0%	0.0%	20.0%	28.6%	25.7%	32.1%	33.9%	57.4%	47.8%	72.7%
糖尿病患者全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



【被保険者】3-15.がんの経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

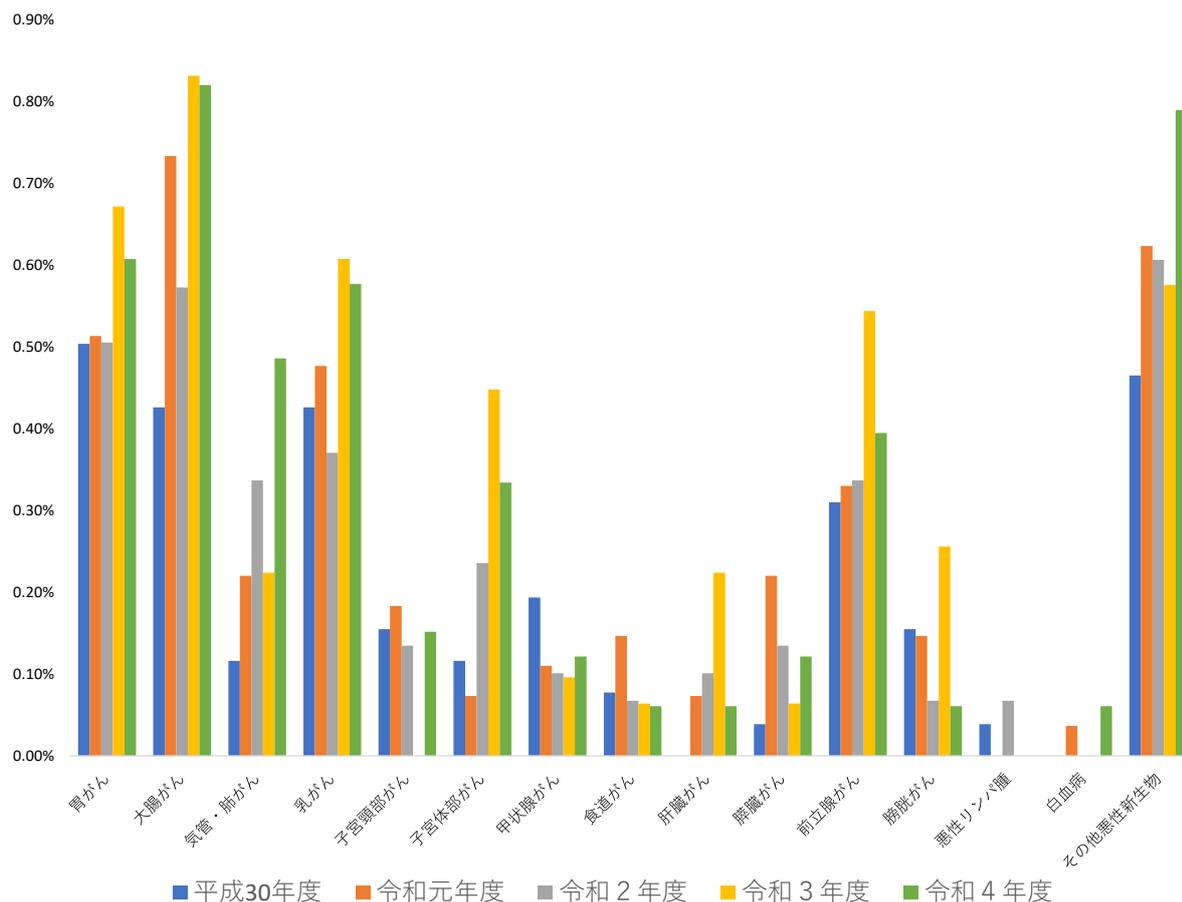
レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和4年3月診療

加入者データ使用年：平成30年度末～令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

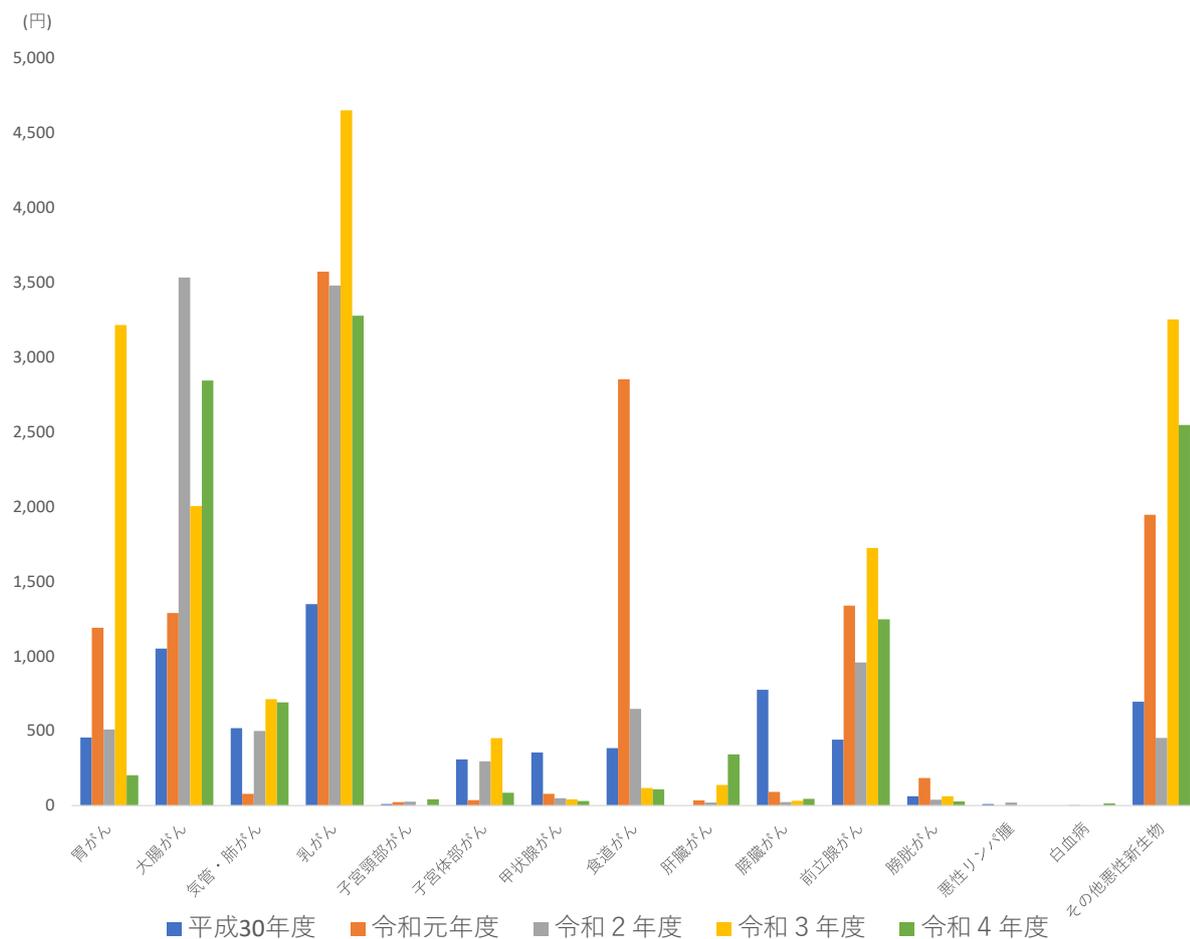
患者割合

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	0.50%	0.51%	0.51%	0.67%	0.61%
大腸がん	0.43%	0.73%	0.57%	0.83%	0.82%
気管・肺がん	0.12%	0.22%	0.34%	0.22%	0.49%
乳がん	0.43%	0.48%	0.37%	0.61%	0.58%
子宮頸部がん	0.15%	0.18%	0.13%	0.00%	0.15%
子宮体部がん	0.12%	0.07%	0.24%	0.45%	0.33%
甲状腺がん	0.19%	0.11%	0.10%	0.10%	0.12%
食道がん	0.08%	0.15%	0.07%	0.06%	0.06%
肝臓がん	0.00%	0.07%	0.10%	0.22%	0.06%
膵臓がん	0.04%	0.22%	0.13%	0.06%	0.12%
前立腺がん	0.31%	0.33%	0.34%	0.54%	0.39%
膀胱がん	0.15%	0.15%	0.07%	0.26%	0.06%
悪性リンパ腫	0.04%	0.00%	0.07%	0.00%	0.00%
白血病	0.00%	0.04%	0.00%	0.00%	0.06%
その他悪性新生物	0.46%	0.62%	0.61%	0.58%	0.79%



加入者1人当たり医療費の推移

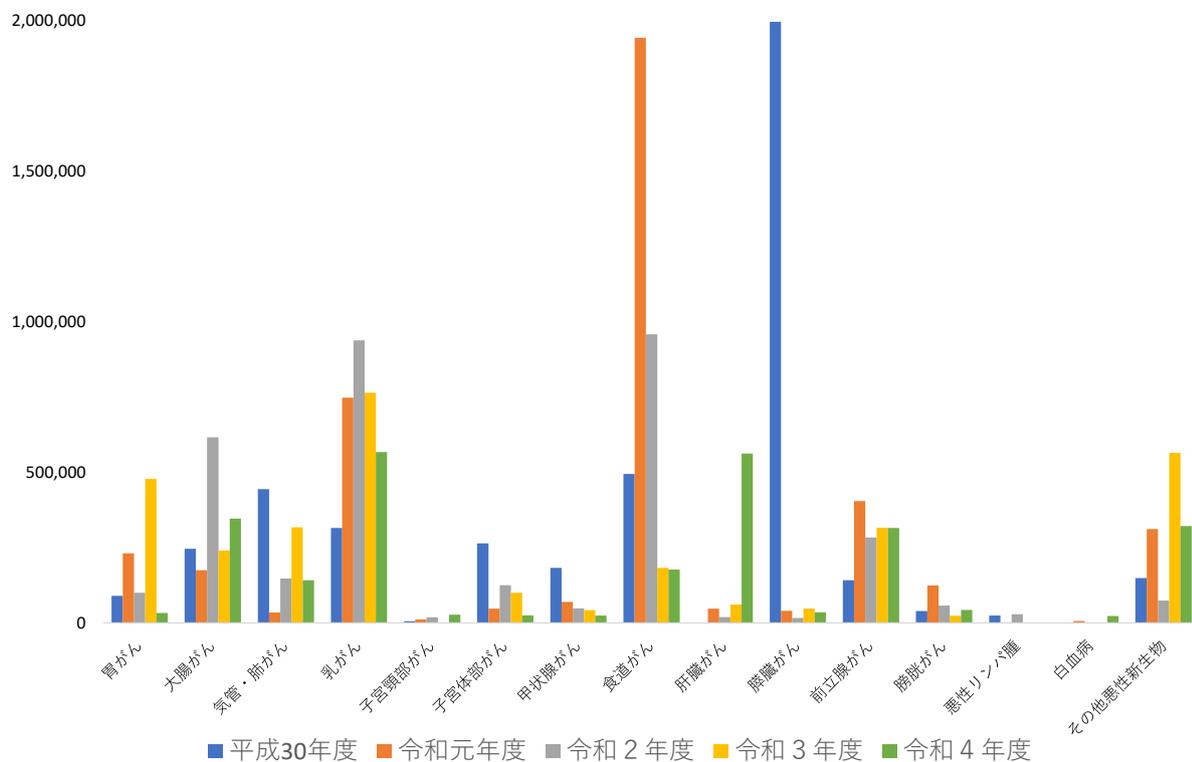
疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	456	1,190	508	3,215	202
大腸がん	1,050	1,288	3,533	2,004	2,843
気管・肺がん	517	78	499	711	690
乳がん	1,347	3,572	3,480	4,652	3,278
子宮頸部がん	9	22	26	0	42
子宮体部がん	308	35	296	451	86
甲状腺がん	355	78	49	41	30
食道がん	384	2,852	646	117	108
肝臓がん	0	35	20	137	342
膵臓がん	774	90	23	31	44
前立腺がん	441	1,337	958	1,723	1,246
膀胱がん	62	184	39	61	26
悪性リンパ腫	10	0	20	0	0
白血病	0	3	0	0	14
その他悪性新生物	694	1,945	453	3,254	2,546



患者1人当たり医療費の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	90,442	231,782	100,614	478,694	33,300
大腸がん	246,483	175,670	616,979	240,979	346,790
気管・肺がん	444,663	35,267	148,057	317,823	142,071
乳がん	316,116	749,266	939,317	765,654	568,174
子宮頸部がん	5,918	12,082	19,268	0	27,750
子宮体部がん	264,983	47,795	125,476	100,785	25,626
甲状腺がん	183,220	70,500	48,847	43,003	25,083
食道がん	495,200	1,944,330	959,117	183,045	177,370
肝臓がん	0	47,555	20,033	61,349	562,745
膵臓がん	1,997,390	41,047	16,920	48,035	35,975
前立腺がん	142,250	405,136	284,378	317,020	315,711
膀胱がん	40,253	125,120	58,305	23,973	43,480
悪性リンパ腫	24,780	0	29,015	0	0
白血病	0	6,930	0	0	23,090
その他悪性新生物	149,321	312,002	74,639	565,246	322,498

(円)
2,500,000



【被保険者】 3-16.性別がんの状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

がんの状況

全体

疾病名	加入者数 3,293人 総医療費 447,309千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	666	0.1%	202	20	33,300	0.6%
大腸がん	9,363	2.1%	2,843	27	346,790	0.8%
気管・肺がん	2,273	0.5%	690	16	142,071	0.5%
乳がん	10,795	2.4%	3,278	19	568,174	0.6%
子宮頸部がん	139	0.0%	42	5	27,750	0.2%
子宮体部がん	282	0.1%	86	11	25,626	0.3%
甲状腺がん	100	0.0%	30	4	25,083	0.1%
食道がん	355	0.1%	108	2	177,370	0.1%
肝臓がん	1,125	0.3%	342	2	562,745	0.1%
膵臓がん	144	0.0%	44	4	35,975	0.1%
前立腺がん	4,104	0.9%	1,246	13	315,711	0.4%
膀胱がん	87	0.0%	26	2	43,480	0.1%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	46	0.0%	14	2	23,090	0.1%
その他悪性新生物	8,385	1.9%	2,546	26	322,498	0.8%

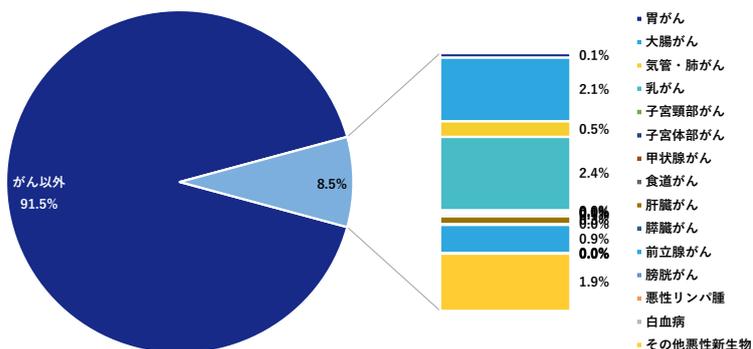
男

疾病名	加入者数 2,265人 総医療費 308,991千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	534	0.2%	236	15	35,615	0.7%
大腸がん	8,985	2.9%	3,967	20	449,256	0.9%
気管・肺がん	2,228	0.7%	984	14	159,170	0.6%
乳がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮頸部がん						
子宮体部がん						
甲状腺がん	84	0.0%	37	3	27,840	0.1%
食道がん	355	0.1%	157	2	177,370	0.1%
肝臓がん	1,125	0.4%	497	2	562,745	0.1%
膵臓がん	81	0.0%	36	3	27,070	0.1%
前立腺がん	4,104	1.3%	1,812	13	315,711	0.6%
膀胱がん	87	0.0%	38	2	43,480	0.1%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	6	0.0%	3	1	6,150	0.0%
その他悪性新生物	5,303	1.7%	2,341	16	331,438	0.7%

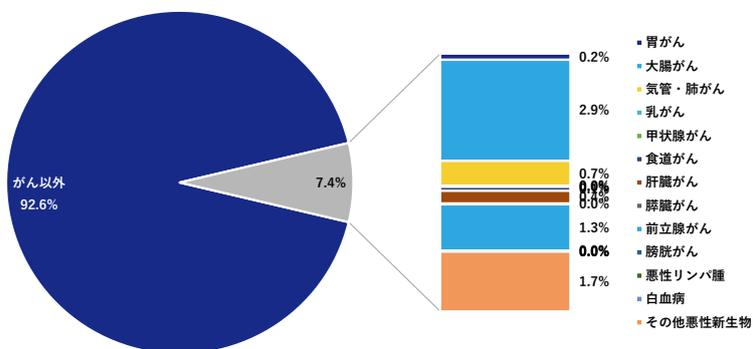
女

疾病名	加入者数 1,028人 総医療費 138,317千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	132	0.1%	128	5	26,354	0.5%
大腸がん	378	0.3%	368	7	54,031	0.7%
気管・肺がん	45	0.0%	44	2	22,380	0.2%
乳がん	10,795	7.8%	10,501	19	568,174	1.8%
子宮頸部がん	139	0.1%	135	5	27,750	0.5%
子宮体部がん	282	0.2%	274	11	25,626	1.1%
甲状腺がん	17	0.0%	16	1	16,810	0.1%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	63	0.0%	61	1	62,690	0.1%
前立腺がん						
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	40	0.0%	39	1	40,030	0.1%
その他悪性新生物	3,082	2.2%	2,998	10	308,195	1.0%

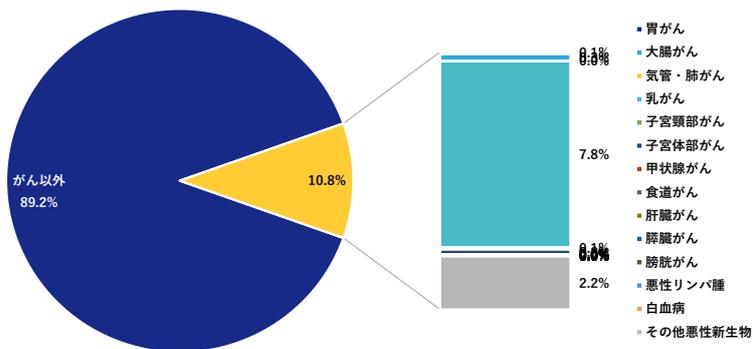
総医療費にみるがんの医療費割合
全体



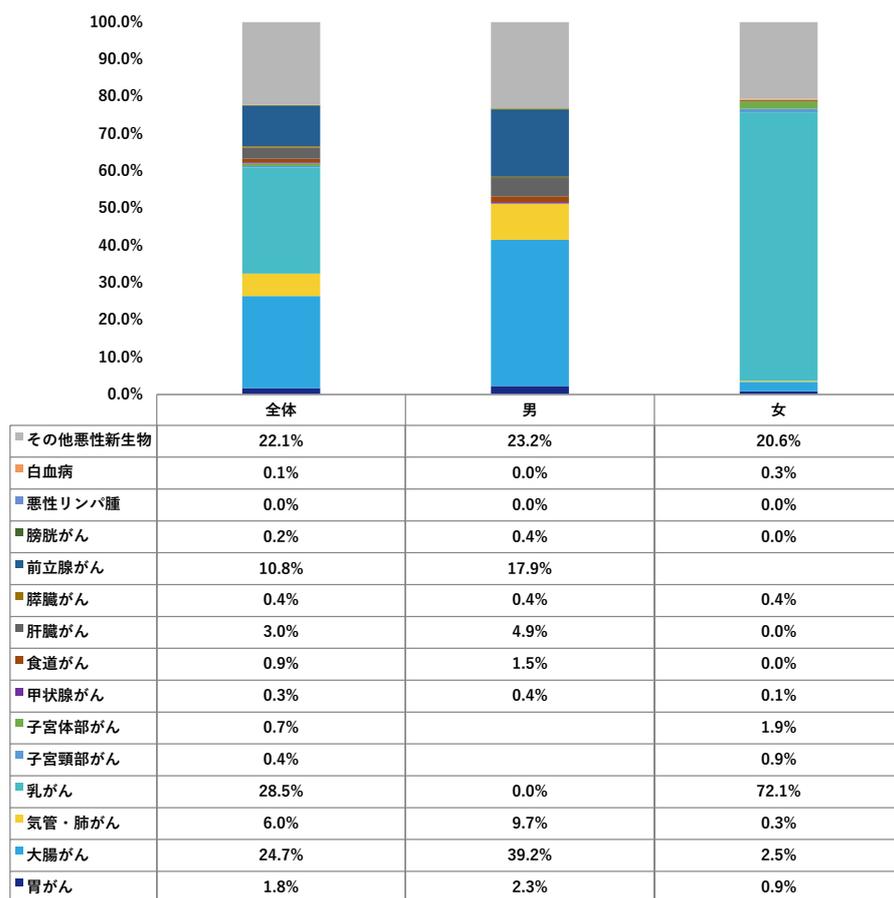
男



女

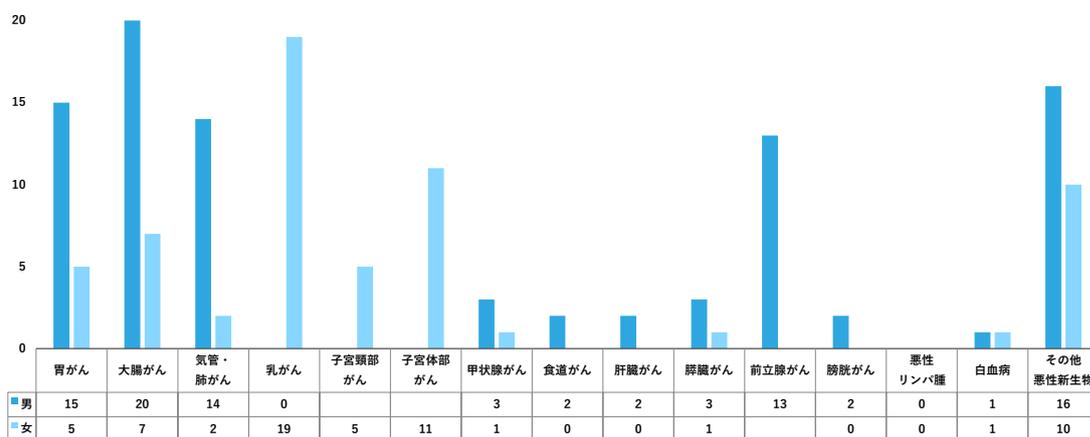


がんの医療費割合

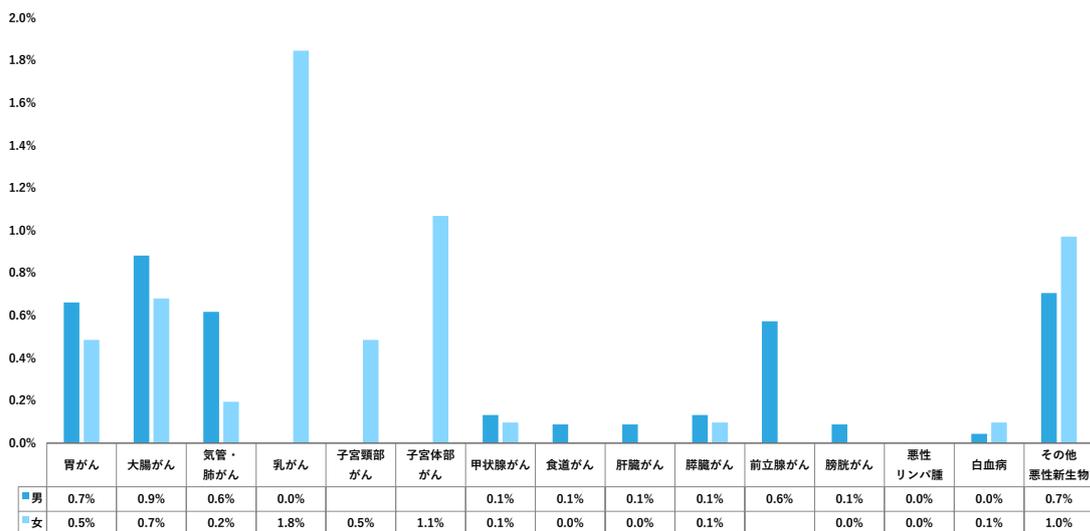


患者数

(人)

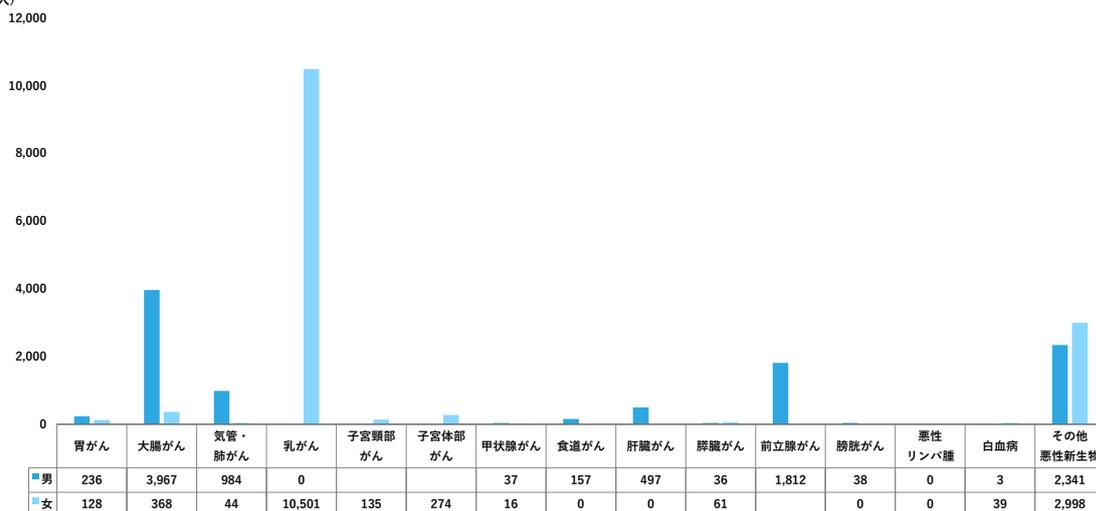


患者割合



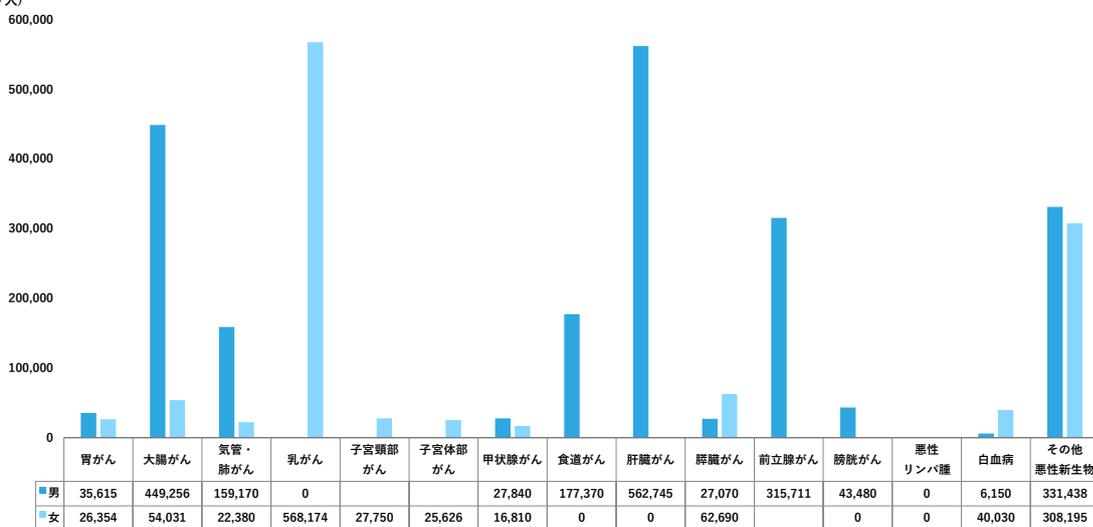
加入者 1 人当たり医療費

(円/人)



患者 1 人当たり医療費

(円/人)



【被保険者】3-17.年齢階級別がんの状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

がんの状況

30歳未満

疾病名	加入者数 703人 総医療費 46,968千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	19	0.0%	28	1	19,360	0.1%
大腸がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
気管・肺がん	18	0.0%	25	1	17,620	0.1%
乳がん	82	0.2%	116	1	81,610	0.1%
子宮頸部がん	30	0.1%	42	1	29,640	0.1%
子宮体部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
甲状腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
前立腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	134	0.3%	191	1	134,290	0.1%

30-34歳

疾病名	加入者数 435人 総医療費 38,312千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	25	0.1%	57	1	25,010	0.2%
大腸がん	64	0.2%	147	2	32,020	0.5%
気管・肺がん	25	0.1%	57	1	24,840	0.2%
乳がん	13	0.0%	30	1	13,120	0.2%
子宮頸部がん	36	0.1%	83	1	35,930	0.2%
子宮体部がん	6	0.0%	14	1	6,250	0.2%
甲状腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	63	0.2%	144	1	62,690	0.2%
前立腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	47	0.1%	107	1	46,540	0.2%

35-39歳

疾病名	加入者数 345人 総医療費 29,768千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	85	0.3%	247	2	42,605	0.6%
大腸がん	3	0.0%	9	1	2,950	0.3%
気管・肺がん	22	0.1%	63	1	21,880	0.3%
乳がん	36	0.1%	105	3	12,087	0.9%
子宮頸部がん	13	0.0%	38	1	13,140	0.3%
子宮体部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
甲状腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
前立腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	40	0.1%	116	1	40,030	0.3%
その他悪性新生物	46	0.2%	134	1	46,290	0.3%

40-44歳

疾病名	加入者数 363人 総医療費 40,351千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
大腸がん	181	0.4%	497	3	60,193	0.8%
気管・肺がん	69	0.2%	190	2	34,480	0.6%
乳がん	12	0.0%	33	1	12,040	0.3%
子宮頸部がん	28	0.1%	78	1	28,240	0.3%
子宮体部がん	88	0.2%	243	4	22,095	1.1%
甲状腺がん	18	0.0%	50	2	9,130	0.6%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
前立腺がん	10	0.0%	29	1	10,490	0.3%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	2,340	5.8%	6,445	4	584,920	1.1%

45-49歳

疾病名	加入者数 396人 総医療費 61,209千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	40	0.1%	101	2	20,070	0.5%
大腸がん	4,048	6.6%	10,222	4	1,011,997	1.0%
気管・肺がん	82	0.1%	208	4	20,615	1.0%
乳がん	10,002	16.3%	25,258	4	2,500,553	1.0%
子宮頸部がん	32	0.1%	80	1	31,800	0.3%
子宮体部がん	72	0.1%	181	3	23,853	0.8%
甲状腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
前立腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	6	0.0%	16	1	6,150	0.3%
その他悪性新生物	910	1.5%	2,298	4	227,490	1.0%

50-54歳

疾病名	加入者数 417人 総医療費 66,679千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	312	0.5%	749	4	78,033	1.0%
大腸がん	2,511	3.8%	6,023	6	418,577	1.4%
気管・肺がん	127	0.2%	305	3	42,393	0.7%
乳がん	377	0.6%	903	5	75,328	1.2%
子宮頸部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮体部がん	99	0.1%	238	2	49,605	0.5%
甲状腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	65	0.1%	156	2	32,555	0.5%
前立腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膀胱がん	33	0.0%	79	1	32,940	0.2%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	1,457	2.2%	3,493	8	182,071	1.9%

55-59歳

疾病名	加入者数 314人 総医療費 64,843千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	144	0.2%	458	7	20,540	2.2%
大腸がん	661	1.0%	2,104	4	165,175	1.3%
気管・肺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
乳がん	258	0.4%	822	3	85,993	1.0%
子宮頸部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮体部がん	16	0.0%	53	1	16,490	0.3%
甲状腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
前立腺がん	6	0.0%	20	1	6,180	0.3%
膀胱がん	54	0.1%	172	1	54,020	0.3%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	3,263	5.0%	10,391	5	652,547	1.6%

60-64歳

疾病名	加入者数 197人 総医療費 65,337千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	40	0.1%	205	3	13,453	1.5%
大腸がん	1,730	2.6%	8,780	5	345,938	2.5%
気管・肺がん	1,903	2.9%	9,658	3	634,227	1.5%
乳がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮頸部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮体部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
甲状腺がん	17	0.0%	85	1	16,810	0.5%
食道がん	355	0.5%	1,801	2	177,370	1.0%
肝臓がん	1,125	1.7%	5,713	2	562,745	1.0%
膵臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
前立腺がん	2,018	3.1%	10,246	4	504,598	2.0%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	189	0.3%	959	2	94,450	1.0%

65-69歳

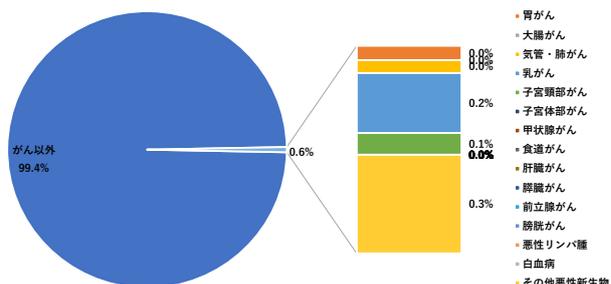
疾病名	加入者数 94人 総医療費 26,633千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
大腸がん	166	0.6%	1,765	2	82,965	2.1%
気管・肺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
乳がん	15	0.1%	164	1	15,450	1.1%
子宮頸部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮体部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
甲状腺がん	65	0.2%	694	1	65,260	1.1%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	16	0.1%	171	1	16,100	1.1%
前立腺がん	448	1.7%	4,767	6	74,682	6.4%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	0	0.0%	0	0	0	0.0%

70歳以上

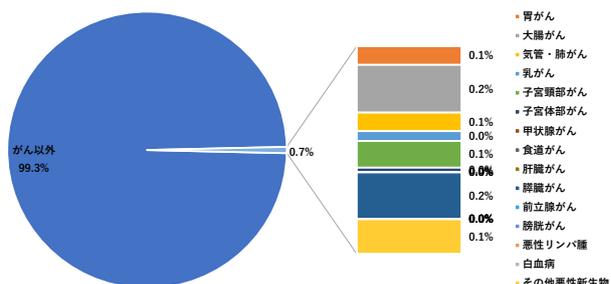
疾病名	加入者数 29人 総医療費 7,208千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
大腸がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
気管・肺がん	28	0.4%	949	1	27,520	3.4%
乳がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮頸部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮体部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
甲状腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
前立腺がん	1,621	22.5%	55,900	1	1,621,090	3.4%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	0	0.0%	0	0	0	0.0%

総医療費にみるがんの医療費割合

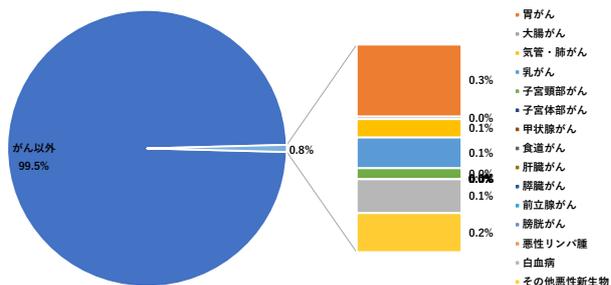
30歳未満



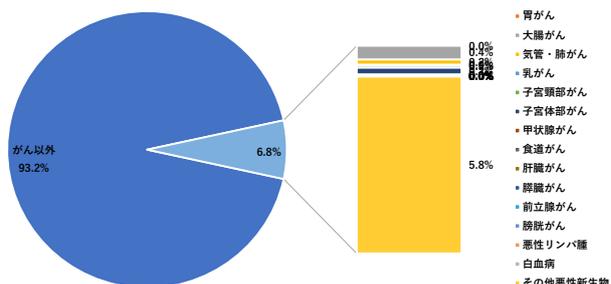
30-34歳



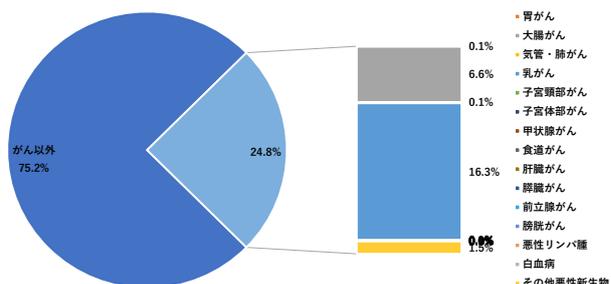
35-39歳



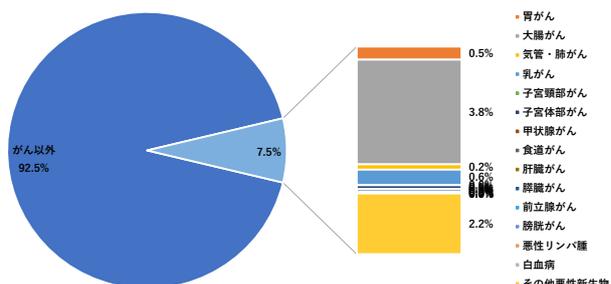
40-44歳



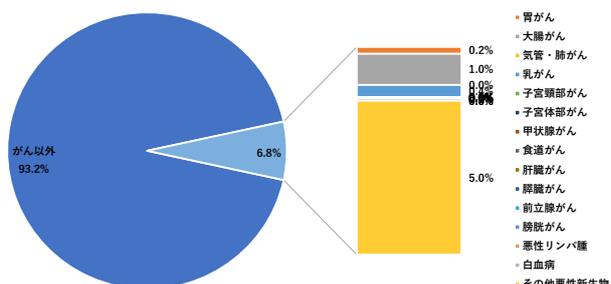
45-49歳



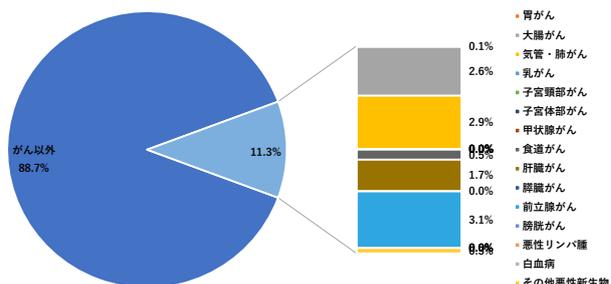
50-54歳



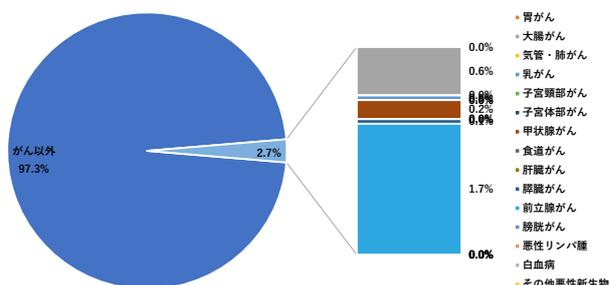
55-59歳



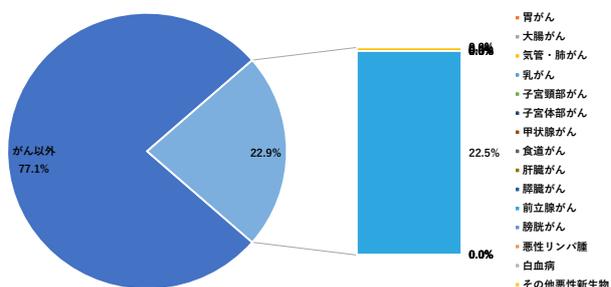
60-64歳



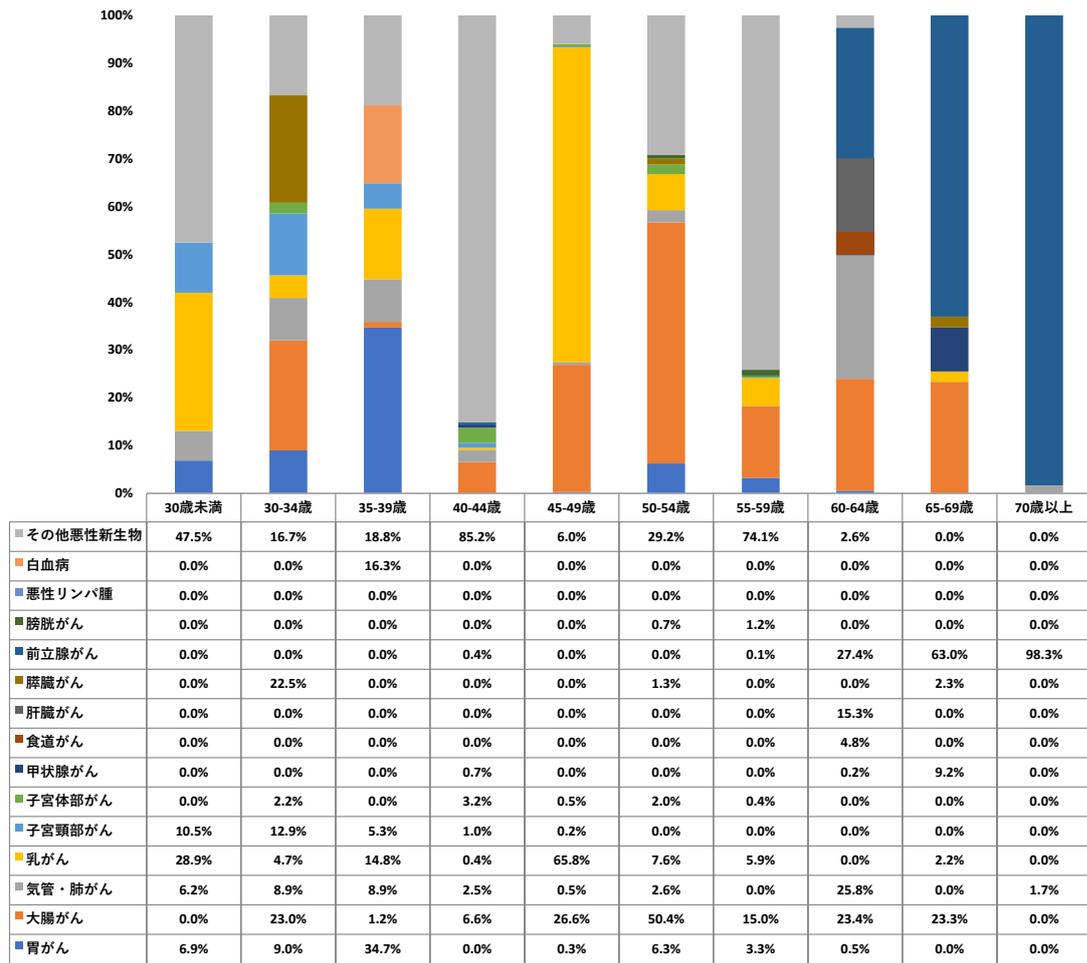
65-69歳



70歳以上

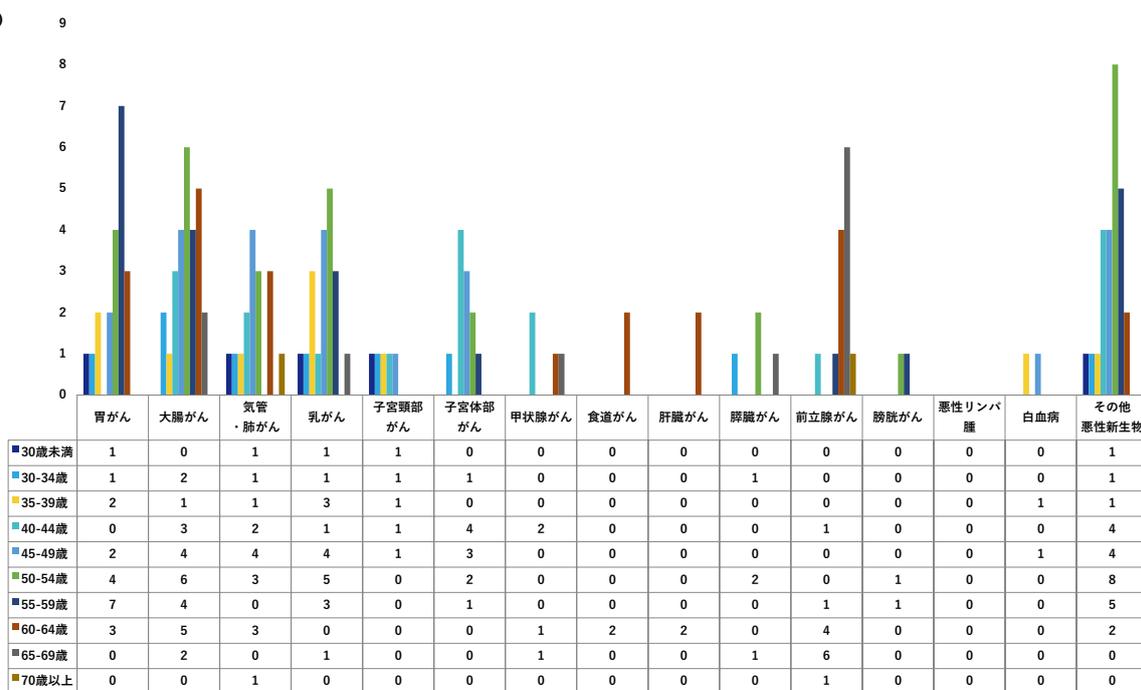


がんの医療費割合

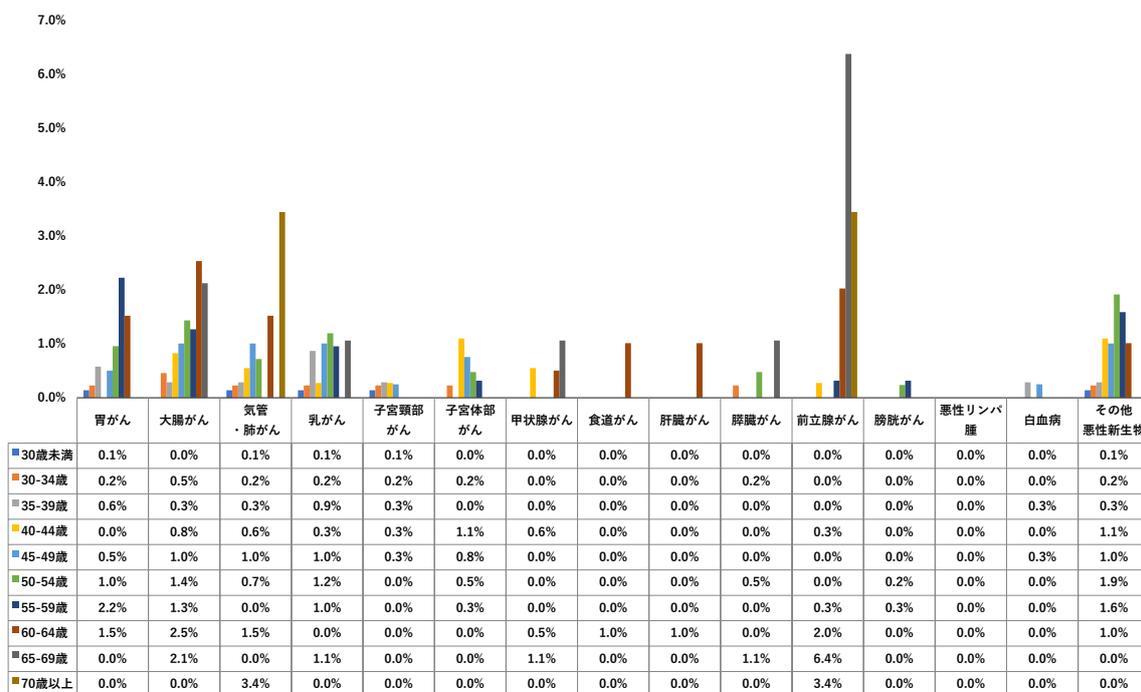


患者数

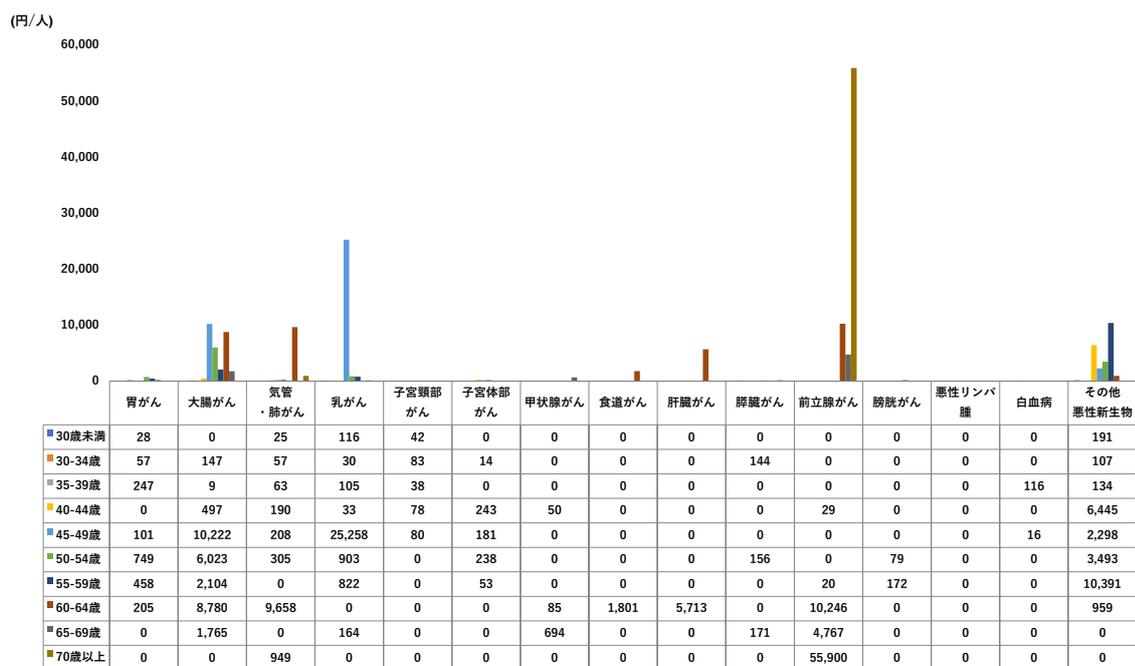
(人)



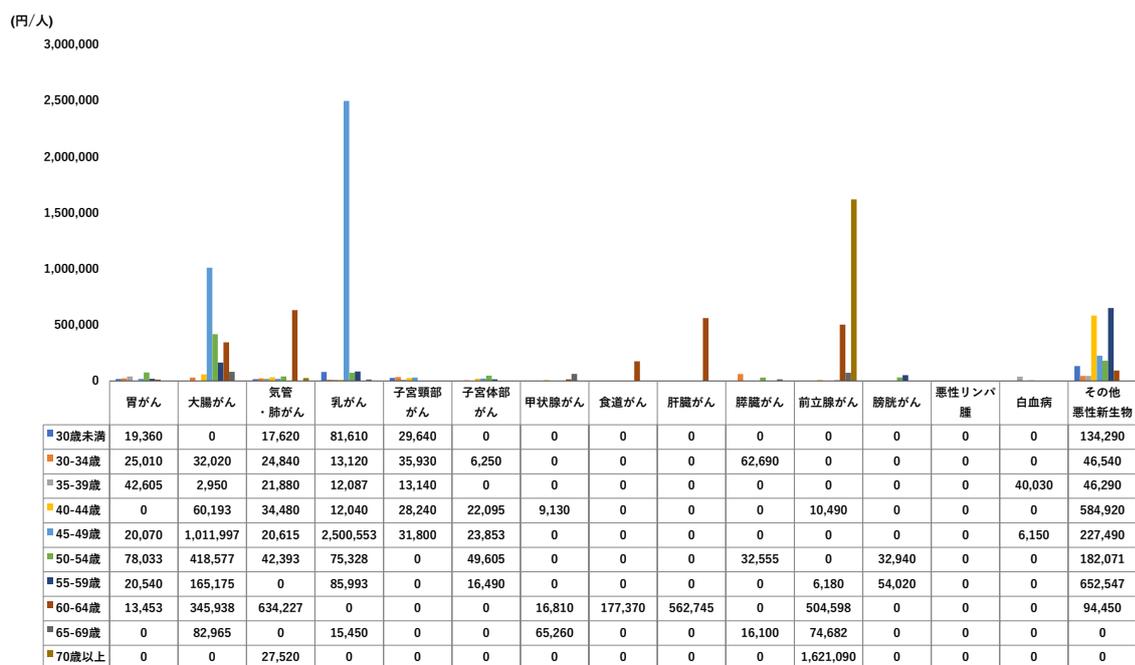
患者割合



加入者1人当たり医療費



患者1人当たり医療費



【被保険者】 3-19.年齢階級別精神疾患の状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

精神疾患の状況

20歳未満

疾病名	加入者数 2人 総医療費 25千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	0	0.0%	0	0	0	0.0%
うつ病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
統合失調症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	0	0.0%	0	0	0	0.0%

20-24歳

疾病名	加入者数 218人 総医療費 15,924千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	144	0.9%	659	5	28,726	2.3%
うつ病	499	3.1%	2,288	3	166,247	1.4%
統合失調症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	241	1.5%	1,104	4	60,190	1.8%

25-29歳

疾病名	加入者数 483人 総医療費 31,019千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	880	2.8%	1,822	13	67,680	2.7%
うつ病	1,249	4.0%	2,585	9	138,723	1.9%
統合失調症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
認知症	29	0.1%	61	1	29,480	0.2%
その他の精神及び行動の障害	52	0.2%	108	2	26,030	0.4%

30-34歳

疾病名	加入者数 435人 総医療費 38,312千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	580	1.5%	1,334	14	41,436	3.2%
うつ病	785	2.1%	1,806	6	130,905	1.4%
統合失調症	5	0.0%	12	1	5,380	0.2%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	30	0.1%	70	2	15,145	0.5%

35-39歳

疾病名	加入者数 345人 総医療費 29,768千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	488	1.6%	1,416	8	61,058	2.3%
うつ病	396	1.3%	1,149	2	198,225	0.6%
統合失調症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	76	0.3%	221	4	19,098	1.2%

40-44歳

疾病名	加入者数 363人 総医療費 40,351千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	137	0.3%	377	4	34,253	1.1%
うつ病	603	1.5%	1,661	3	200,940	0.8%
統合失調症	156	0.4%	429	3	51,943	0.8%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	47	0.1%	130	1	47,190	0.3%

45-49歳

疾病名	加入者数 396人 総医療費 61,209千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	147	0.2%	372	3	49,050	0.8%
うつ病	983	1.6%	2,481	5	196,510	1.3%
統合失調症	85	0.1%	215	1	85,250	0.3%
認知症	21	0.0%	54	1	21,250	0.3%
その他の精神及び行動の障害	98	0.2%	247	2	48,885	0.5%

50-54歳

疾病名	加入者数 417人 総医療費 66,679千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	447	0.7%	1,073	6	74,568	1.4%
うつ病	867	1.3%	2,079	10	86,698	2.4%
統合失調症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	90	0.1%	216	3	30,023	0.7%

55-59歳

疾病名	加入者数 314人 総医療費 64,843千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	352	0.5%	1,122	6	58,702	1.9%
うつ病	911	1.4%	2,901	9	101,211	2.9%
統合失調症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	96	0.1%	306	2	47,980	0.6%

60-64歳

疾病名	加入者数 197人 総医療費 65,337千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	0	0.0%	0	0	0	0.0%
うつ病	14	0.0%	70	1	13,810	0.5%
統合失調症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	0	0.0%	0	0	0	0.0%

65-69歳

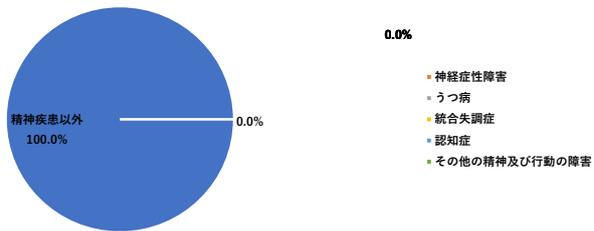
疾病名	加入者数 94人 総医療費 26,633千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	0	0.0%	0	0	0	0.0%
うつ病	16	0.1%	166	1	15,610	1.1%
統合失調症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	0	0.0%	0	0	0	0.0%

70歳以上

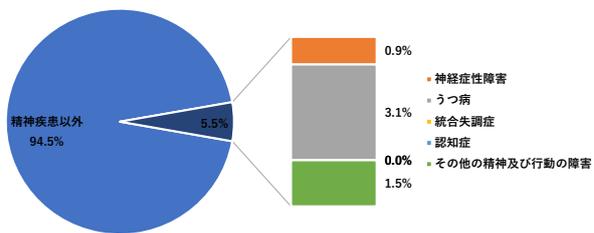
疾病名	加入者数 29人 総医療費 7,208千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	24	0.3%	828	1	24,010	3.4%
うつ病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
統合失調症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
認知症	45	0.6%	1,546	1	44,830	3.4%
その他の精神及び行動の障害	0	0.0%	0	0	0	0.0%

総医療費にみる精神疾患の医療費割合

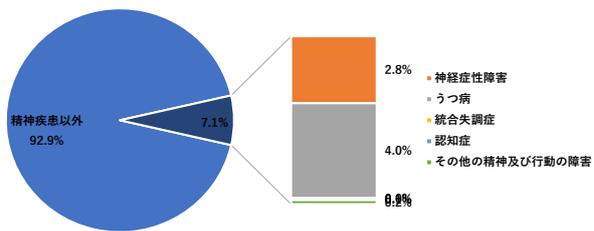
20歳未満



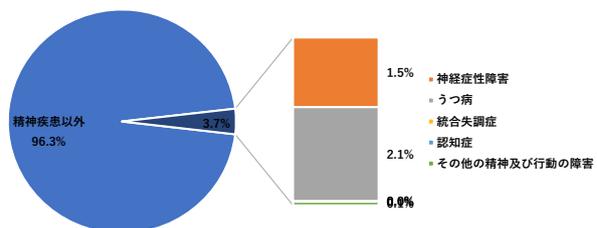
20-24歳



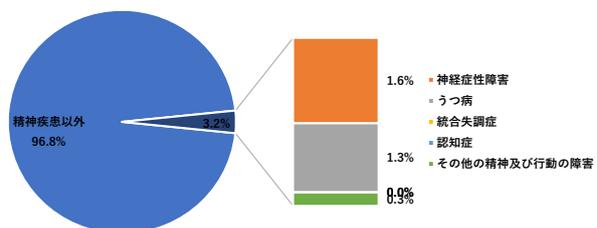
25-29歳



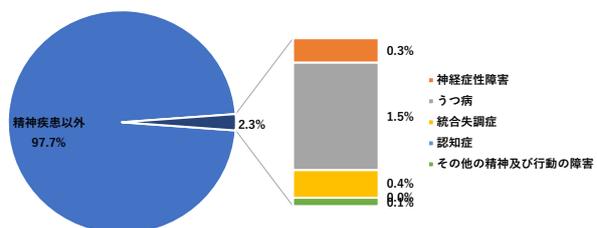
30-34歳



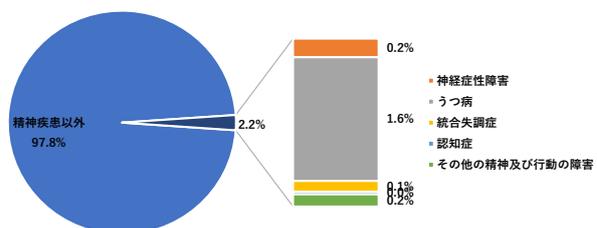
35-39歳



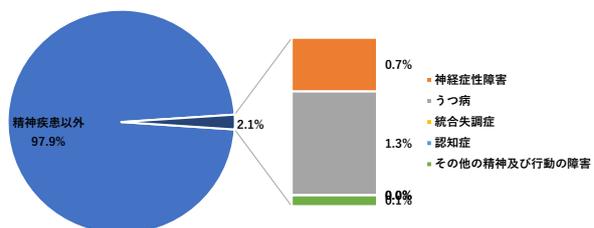
40-44歳



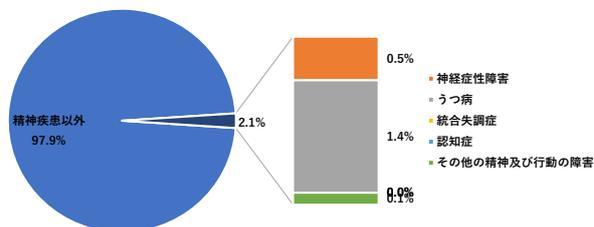
45-49歳



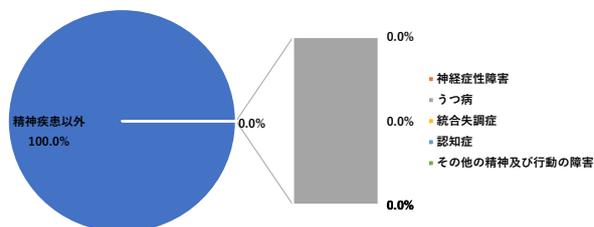
50-54歳



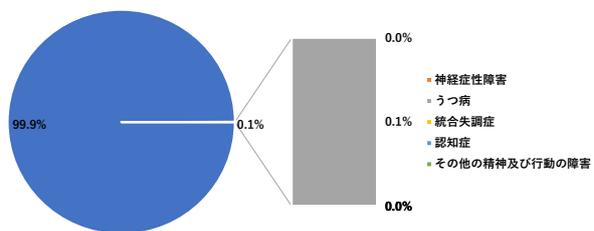
55-59歳



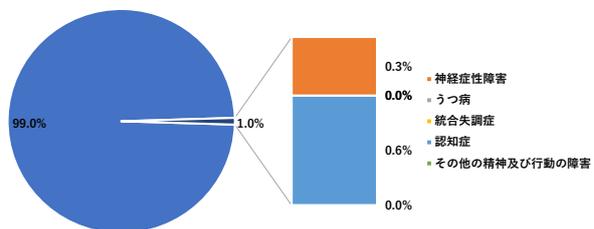
60-64歳



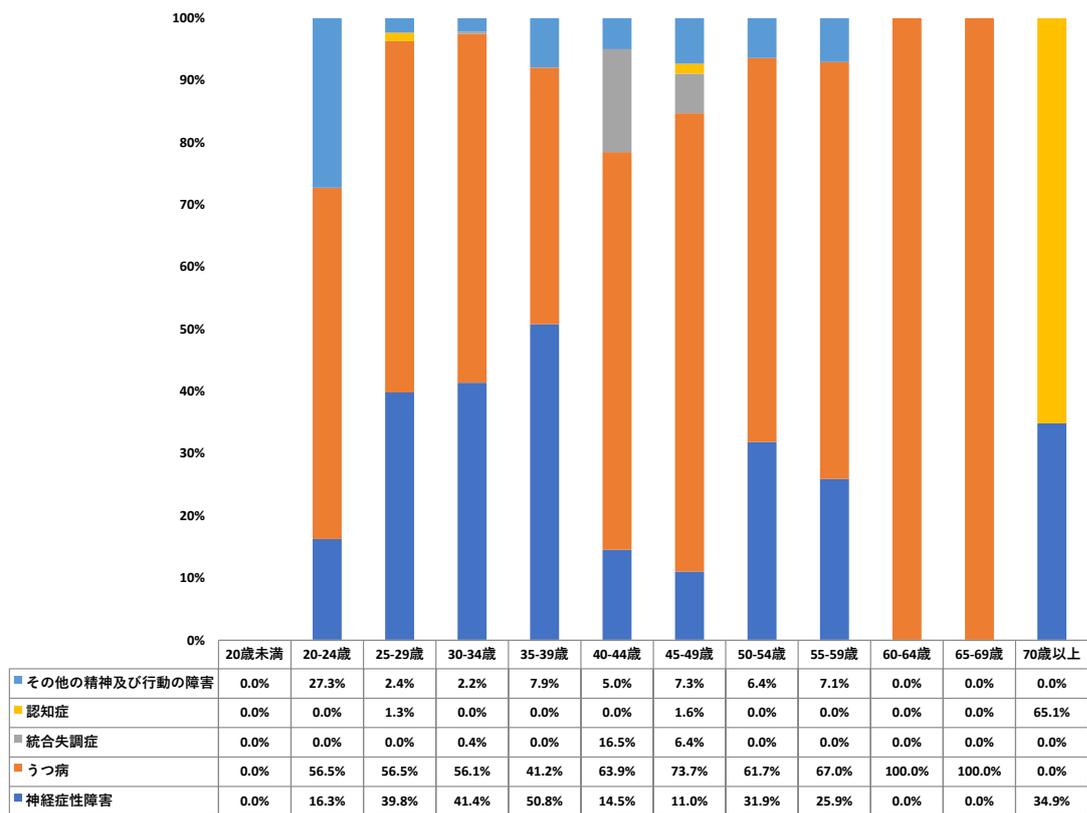
65-69歳



70歳以上

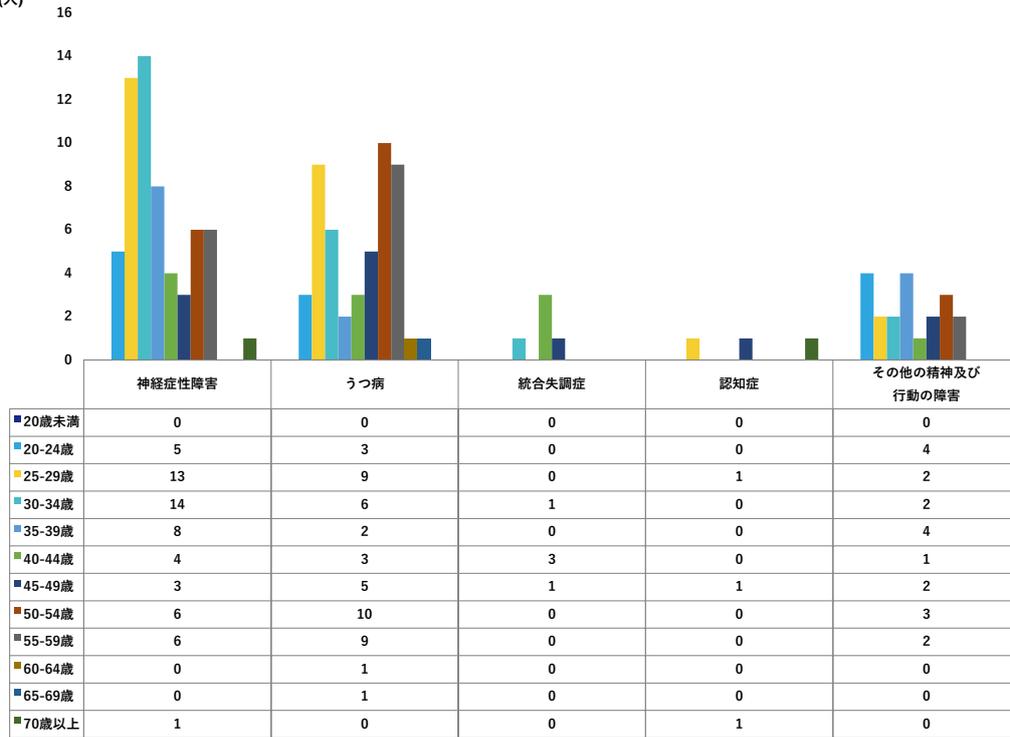


精神疾患の医療費割合

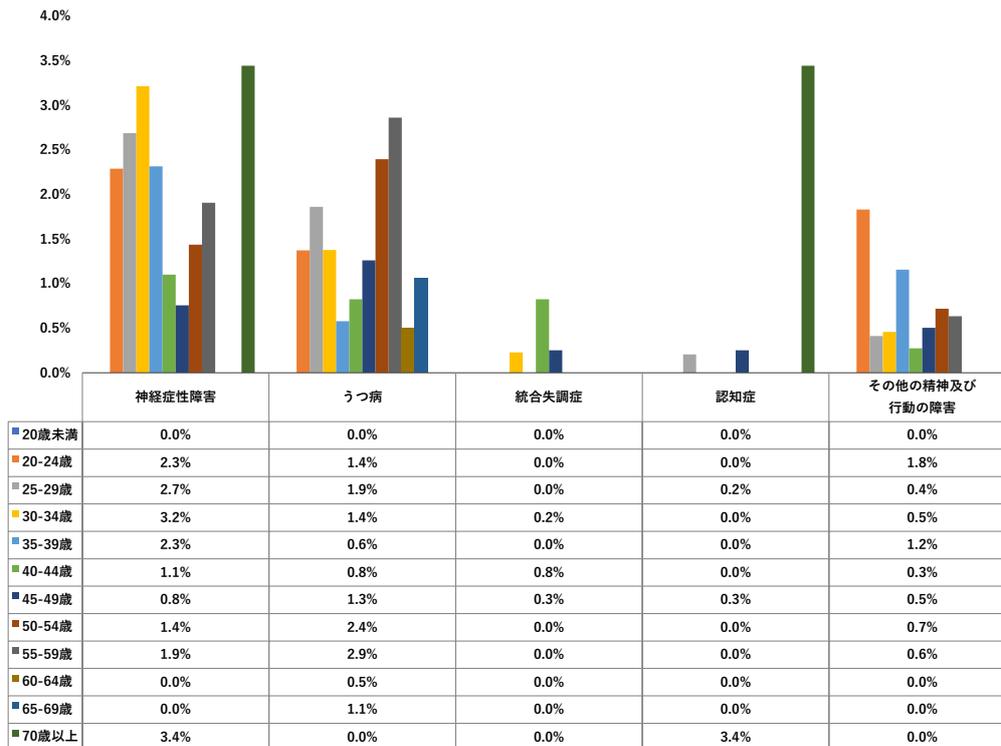


患者数

(人)

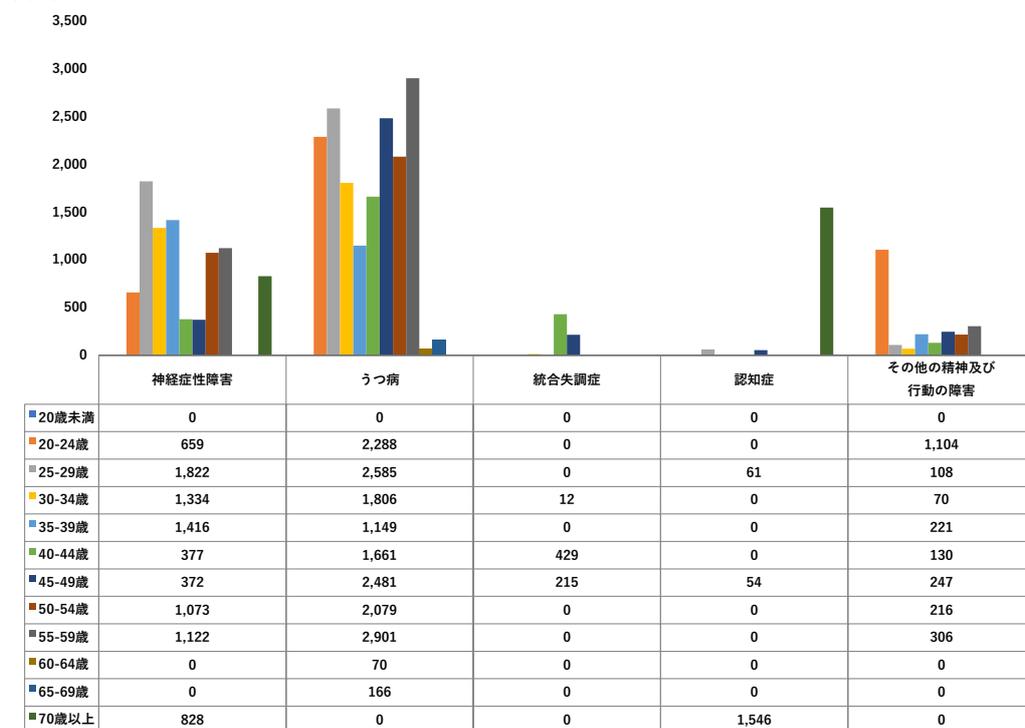


患者割合



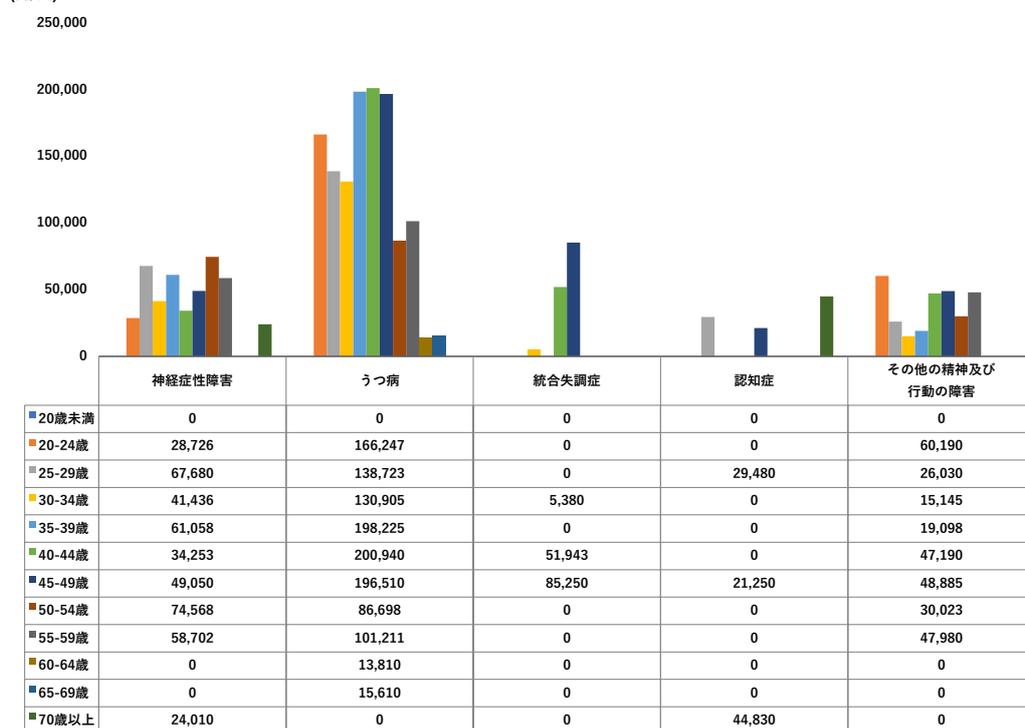
加入者1人当たり医療費

(円/人)



患者1人当たり医療費

(円/人)



【被保険者】 5-6.医療機関への受診勧奨対象者における医療機関受診率

使用データ：健診データ、レセプトデータ

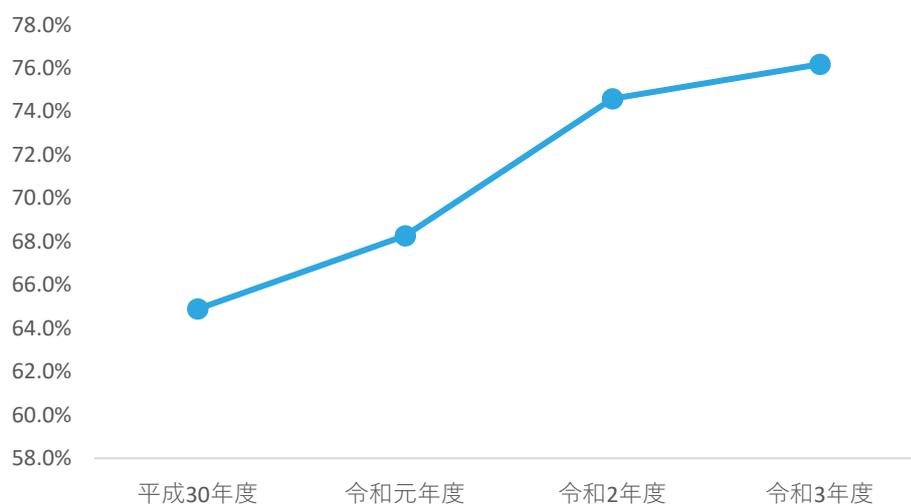
健診データ使用年月：平成30年度～令和4年度

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和4年3月度診療

医療機関への受診勧奨基準において速やかに受診を要する者の医療機関受診率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受診勧奨対象者数(人)	319	312	370	361
医療機関受診者数(人)	207	213	276	275
医療機関受診率	64.9%	68.3%	74.6%	76.2%

医療機関受診率の年度推移



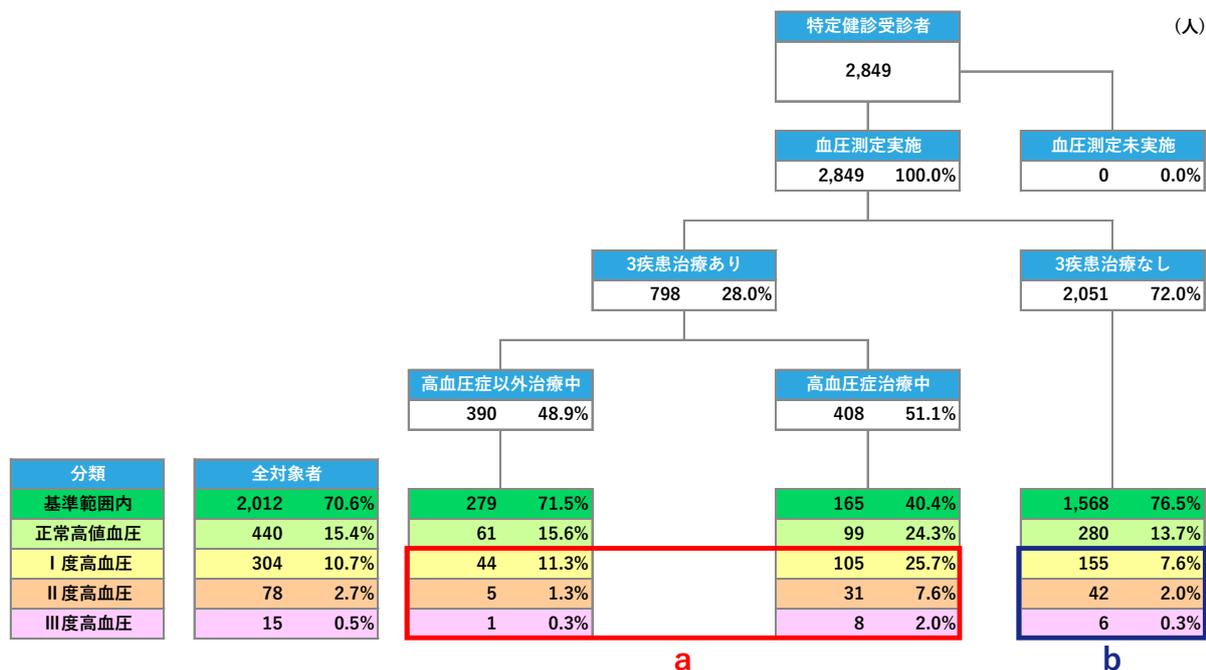
【被保険者】 5-13. リスクフローチャート（血圧）

使用データ：レセプトデータ（医科）、健診データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

健診データ使用年：令和4年度

リスクフローチャート（血圧）



(人)

特定健診受診者数	2,849
血圧測定実施者数	2,849
コントロール不良	194 ---a
医療機関受診勧奨	203 ---b

分類	収縮期	かつ	拡張期
基準範囲内	<130	かつ	<85
正常高値血圧	130～139	または	85～89
I度高血圧	140～159	または	90～99
II度高血圧	160～179	または	100～109
III度高血圧	≥ 180	または	≥ 110

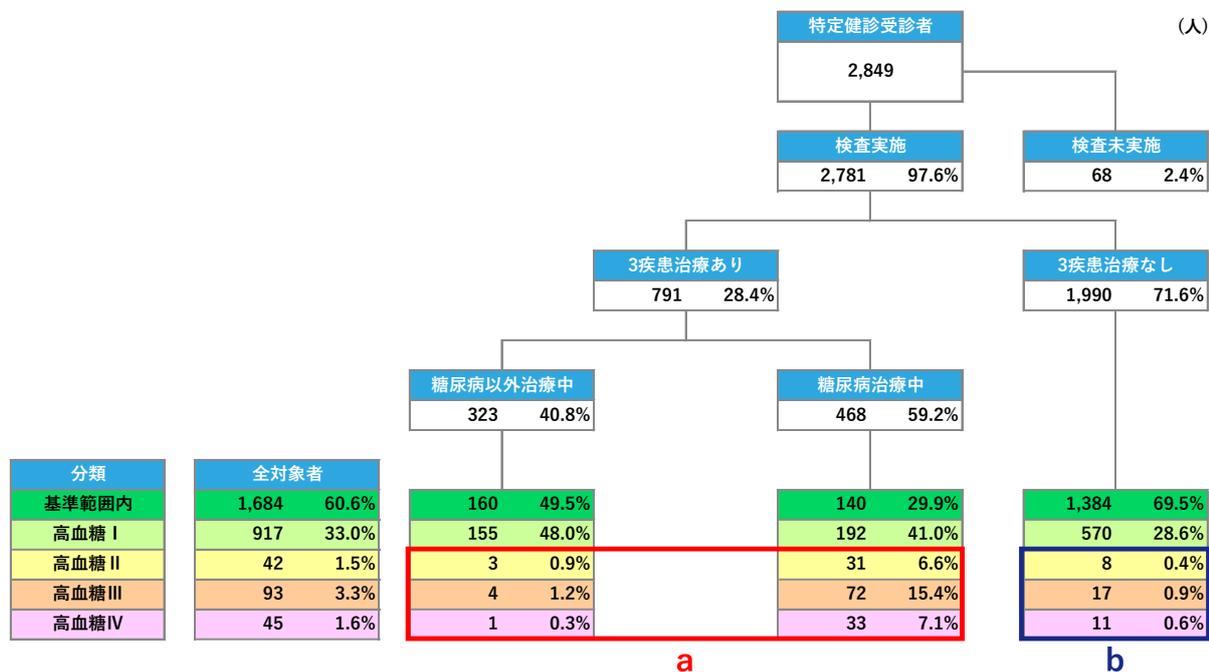
【被保険者】5-15.リスクフローチャート（糖尿病）

使用データ：レセプトデータ（医科）、健診データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

健診データ使用年：令和4年度

リスクフローチャート（血糖）



(人)	
特定健診受診者数	2,849
検査実施者数	2,781
コントロール不良	144 ---a
医療機関受診勧奨	36 ---b

分類	HbA1c	空腹時血糖
基準範囲内	<5.6 かつ	<100
高血糖Ⅰ	5.6~6.4 または	100~125
高血糖Ⅱ	6.5~6.9 または	126~129
高血糖Ⅲ	7.0~7.9 または	130~159
高血糖Ⅳ	≧8.0 または	≧160

【被保険者】5-16.CKD重症度分類別人数

使用データ：健診データ

健診データ使用年：令和4年度

受診者は、eGFRと尿蛋白の検査項目がある者

受診者数

(人)

受診者全体
1,493

リスク分類

(人)

eGFR区分(mL/分/1.73m ²)			尿蛋白(-)		尿蛋白(±)		尿蛋白(1+)		尿蛋白(2+)		尿蛋白(3+)以上	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
G1	正常または高値	≥90	202	13.5%	19	1.3%	3	0.2%	2	0.1%		
G2	正常または軽度低下	60~89	999	66.9%	77	5.2%	22	1.5%	9	0.6%		
G3a	軽度~中等度低下	45~59	128	8.6%	10	0.7%	4	0.3%	1	0.1%		
G3b	中等度~高度低下	30~44	7	0.5%	4	0.3%			1	0.1%		
G4	高度低下	15~29							2	0.1%		
G5	末期腎不全	<15	2	0.13%			1	0.1%				

リスク分類状況

(人)

CKDステージ	対象者	割合
ステージ1or2	1,297	86.9%
ステージ3	163	10.9%
ステージ4	26	1.7%
ステージ5	7	0.5%
全体	1,493	100.0%

【被保険者】6-2.性別特定保健指導終了率

使用データ：健診データ、保健指導データ

健診データ使用年：平成30年～令和4年度

保健指導データ使用年：平成30年～令和4年度

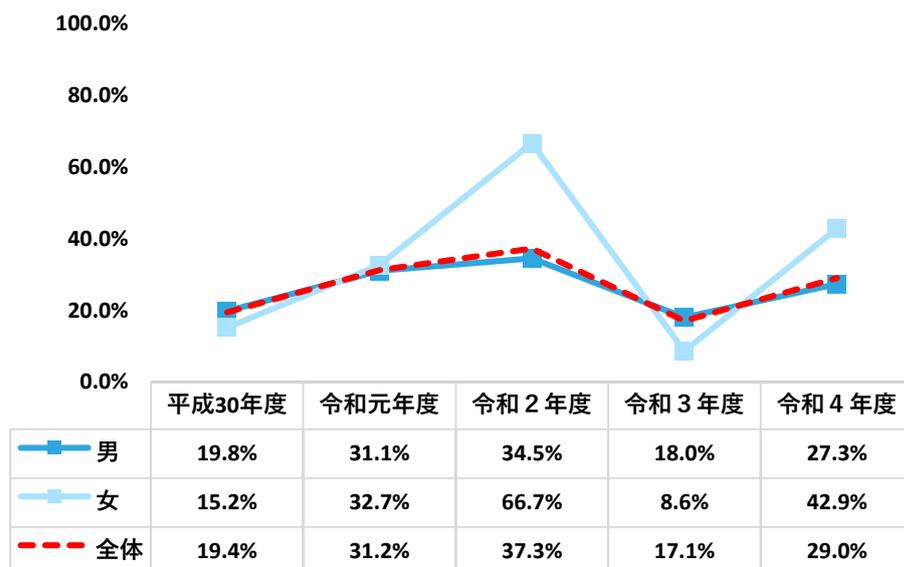
性別特定保健指導終了状況

(人)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数
全体	561	109	580	181	628	234	585	100	590	171
男	515	102	528	164	574	198	527	95	527	144
女	46	7	52	17	54	36	58	5	63	27

性別特定保健指導終了率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全体	19.4%	31.2%	37.3%	17.1%	29.0%
男	19.8%	31.1%	34.5%	18.0%	27.3%
女	15.2%	32.7%	66.7%	8.6%	42.9%



【被保険者】 6-4.特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率

使用データ：健診データ、保健指導データ

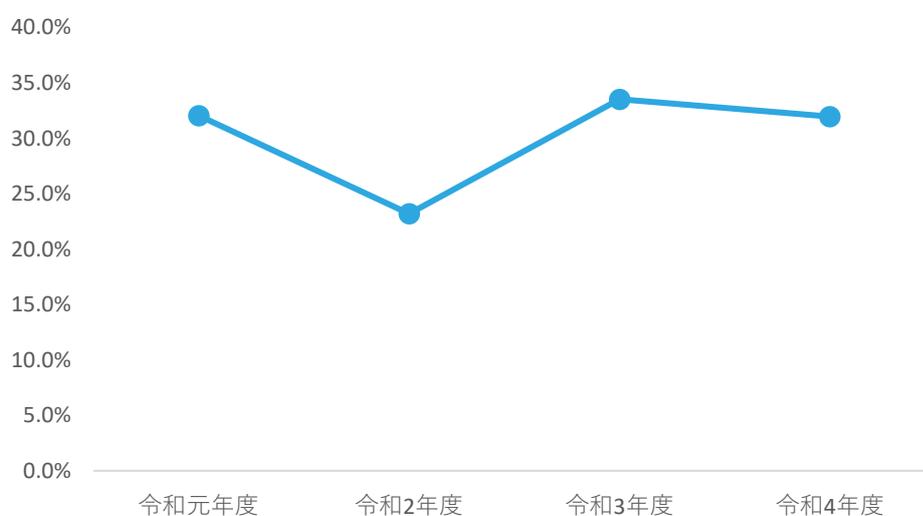
健診データ使用年月：令和元年～令和4年度

保健指導データ使用年月：平成30年～令和3年度

特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
前年度 特定保健指導利用者数(人)	184	125	167	147
当年度 特定保健指導対象外者数(人)	59	29	56	47
特定保健指導対象者の減少率	32.1%	23.2%	33.5%	32.0%

特定保健指導対象者減少率の年度推移



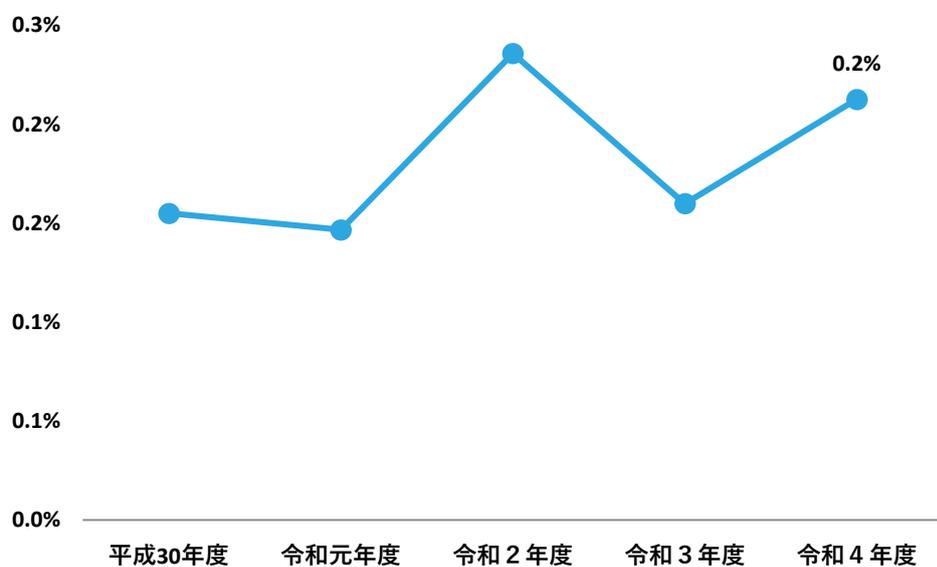
【被保険者】 7-8.重複服薬の経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

重複投薬状況の推移

	加入者数 (人)	重複投薬者数 (人)	重複投薬 割合	重複投薬 レセプト件数 (件)
平成30年度	2,581	4	0.2%	4
令和元年度	2,727	4	0.1%	20
令和2年度	2,969	7	0.2%	15
令和3年度	3,127	5	0.2%	15
令和4年度	3,293	7	0.2%	8



【被保険者】 7-9.薬効分類別重複服薬状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

薬効分類別重複投薬状況

(人)

順位	薬効分類		重複投薬者数	重複割合
	コード	名称		
1	114	解熱鎮痛消炎剤	2	0.1%
2	223	去痰剤	2	0.1%
3	234	制酸剤	1	0.0%
4	245	副腎ホルモン剤	1	0.0%
5	332	止血剤	1	0.0%
6	399	他に分類されない代謝性医薬品	1	0.0%
7	112	催眠鎮静剤、抗不安剤		
8	113	抗てんかん剤		
9	116	抗パーキンソン剤		
10	117	精神神経用剤		
11位以降				
合計(延べ人数)			8	0.2%

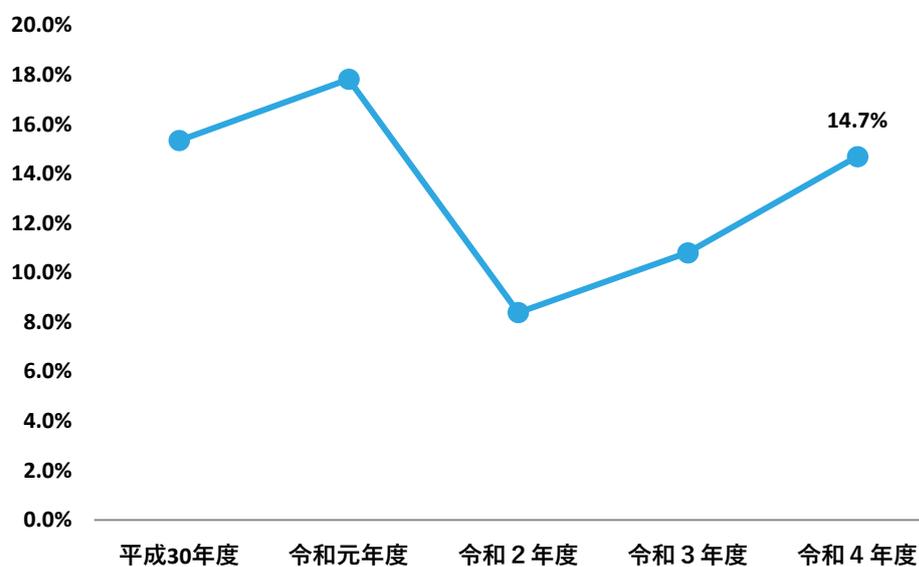
【被保険者】 7-10.多剤服薬の経年推移（6種）

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

多剤投薬状況の推移

	加入者数 (人)	多剤投薬者数 (人)	多剤投薬 割合
平成30年度	2,581	396	15.3%
令和元年度	2,727	486	17.8%
令和2年度	2,969	249	8.4%
令和3年度	3,127	338	10.8%
令和4年度	3,293	484	14.7%



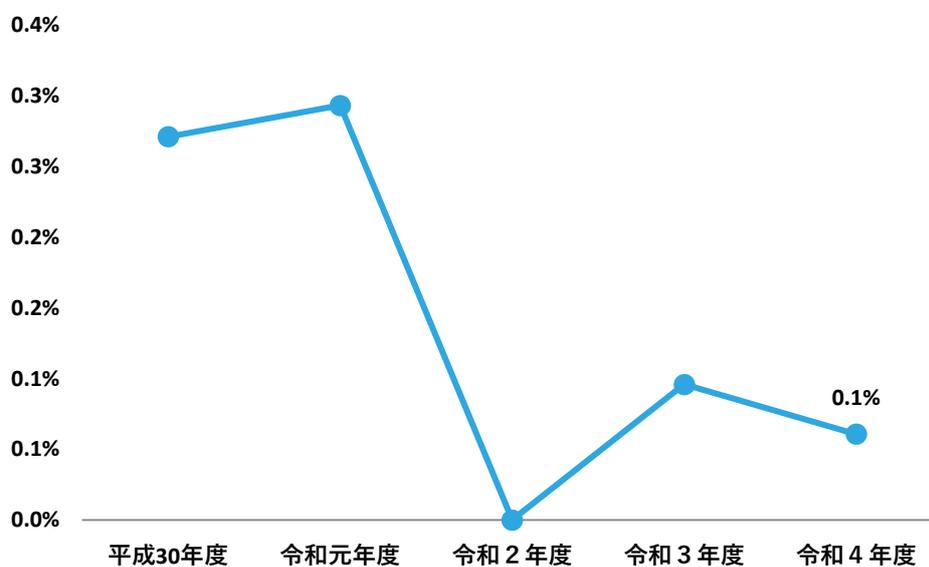
【被保険者】 7-10.多剤服薬の経年推移（15種）

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

多剤投薬状況の推移

	加入者数 (人)	多剤投薬者数 (人)	多剤投薬 割合
平成30年度	2,581	7	0.3%
令和元年度	2,727	8	0.3%
令和2年度	2,969	0	0.0%
令和3年度	3,127	3	0.1%
令和4年度	3,293	2	0.1%



【被保険者】 7-12.相互作用服薬状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

併用禁忌薬剤使用状況

(人)

投薬者数	2,703
併用禁忌 薬剤使用者数	1
併用禁忌 割合	0.04%

薬効分類別併用禁忌薬剤使用状況

(件)

順位	薬効分類		発生件数
	コード	名称	
1	119	その他の中枢神経系用薬	9
2	232	消化性潰瘍用剤	5
3	613	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	2
4	614	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	1
5	619	その他の抗生物質製剤（複合抗生物質製剤を含む）	1
6			
7			
8			
9			
10			

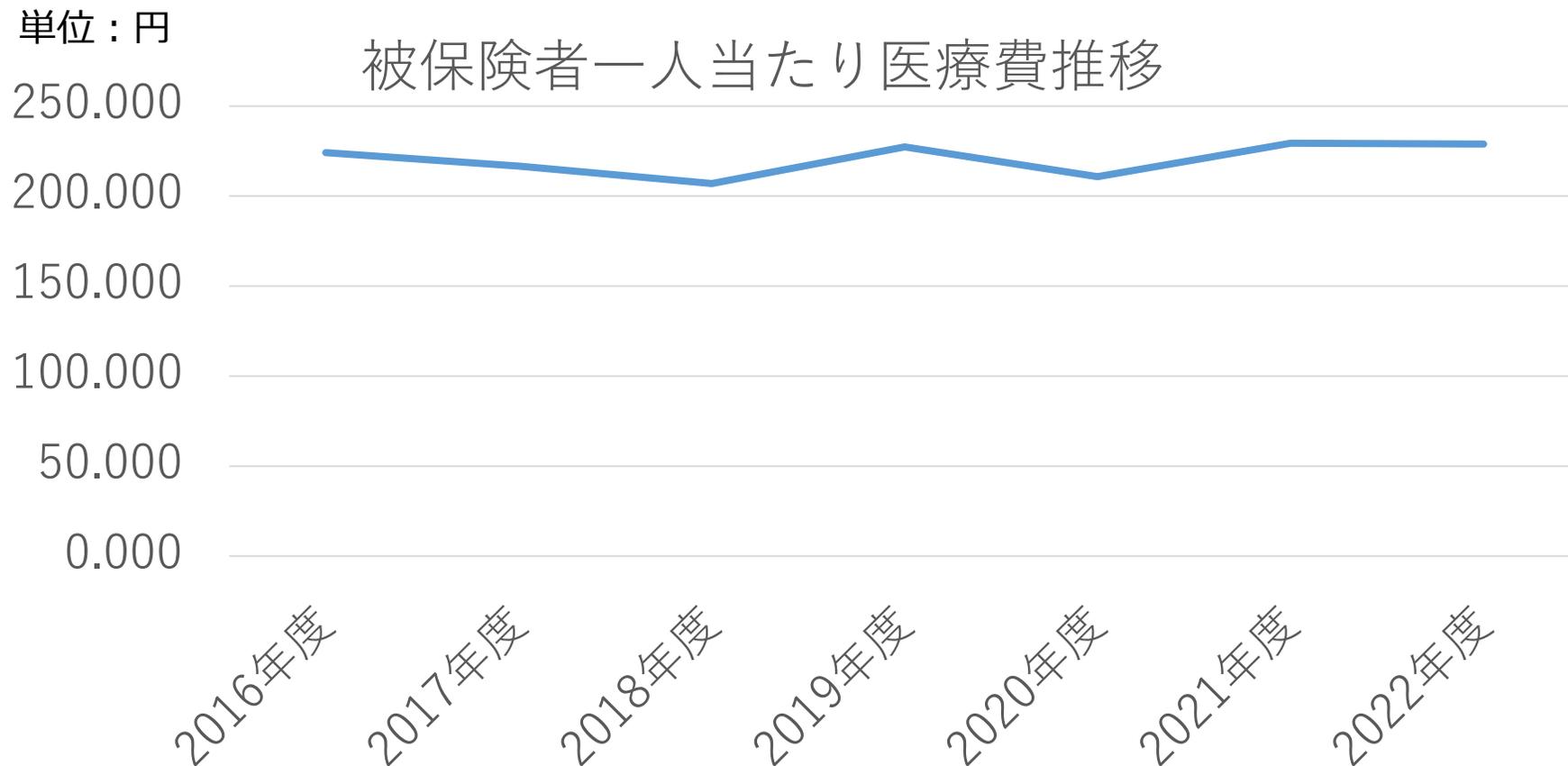
薬効分類別併用禁忌薬剤組み合わせ使用状況

(件)

順位	薬効分類 1		薬効分類 2		発生件数
	コード	名称	コード	名称	
1	119	その他の中枢神経系用薬	232	消化性潰瘍用剤	5
2	119	その他の中枢神経系用薬	613	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	2
3	119	その他の中枢神経系用薬	614	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	1
4	119	その他の中枢神経系用薬	619	その他の抗生物質製剤（複合抗生物質製剤を含む）	1
5					
6					
7					
8					
9					
10					

被保険者一人当たり医療費の推移

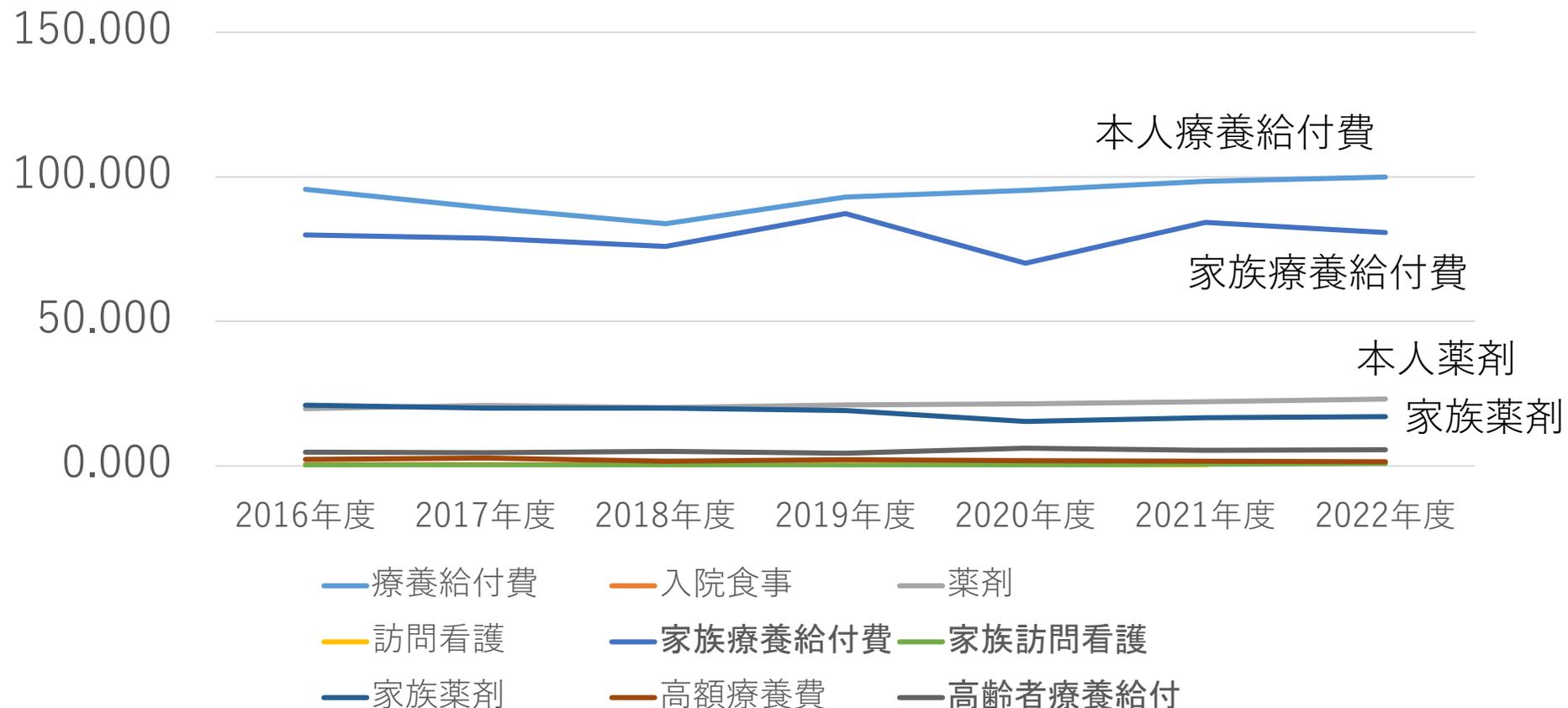
※ 医療費は家族も含む



被保険者一人当たり 医療給付費別の推移

単位：円

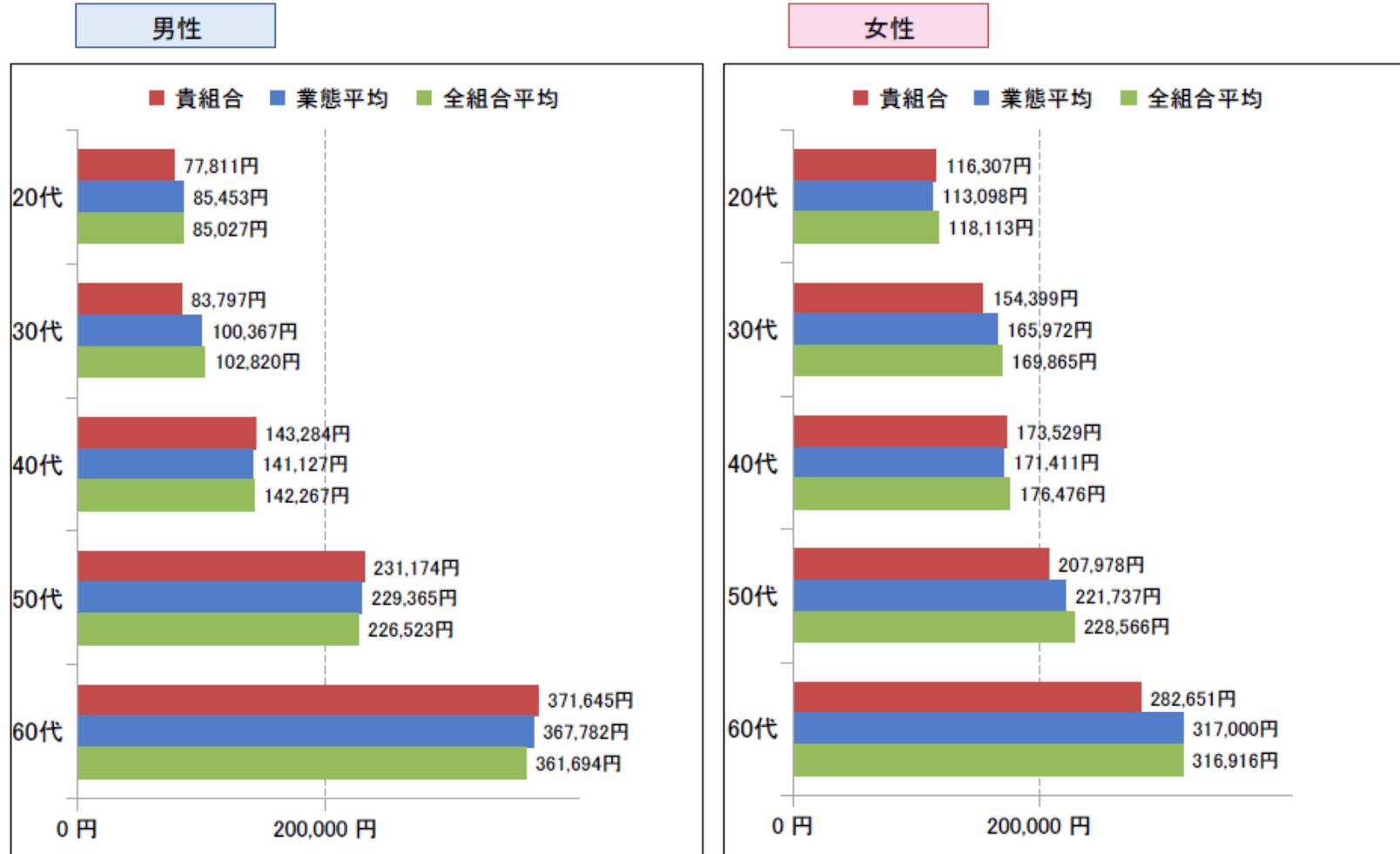
被保険者一人当たり医療給付費の推移



加入者一人当たり医療費の健保連・業界との年代別比較

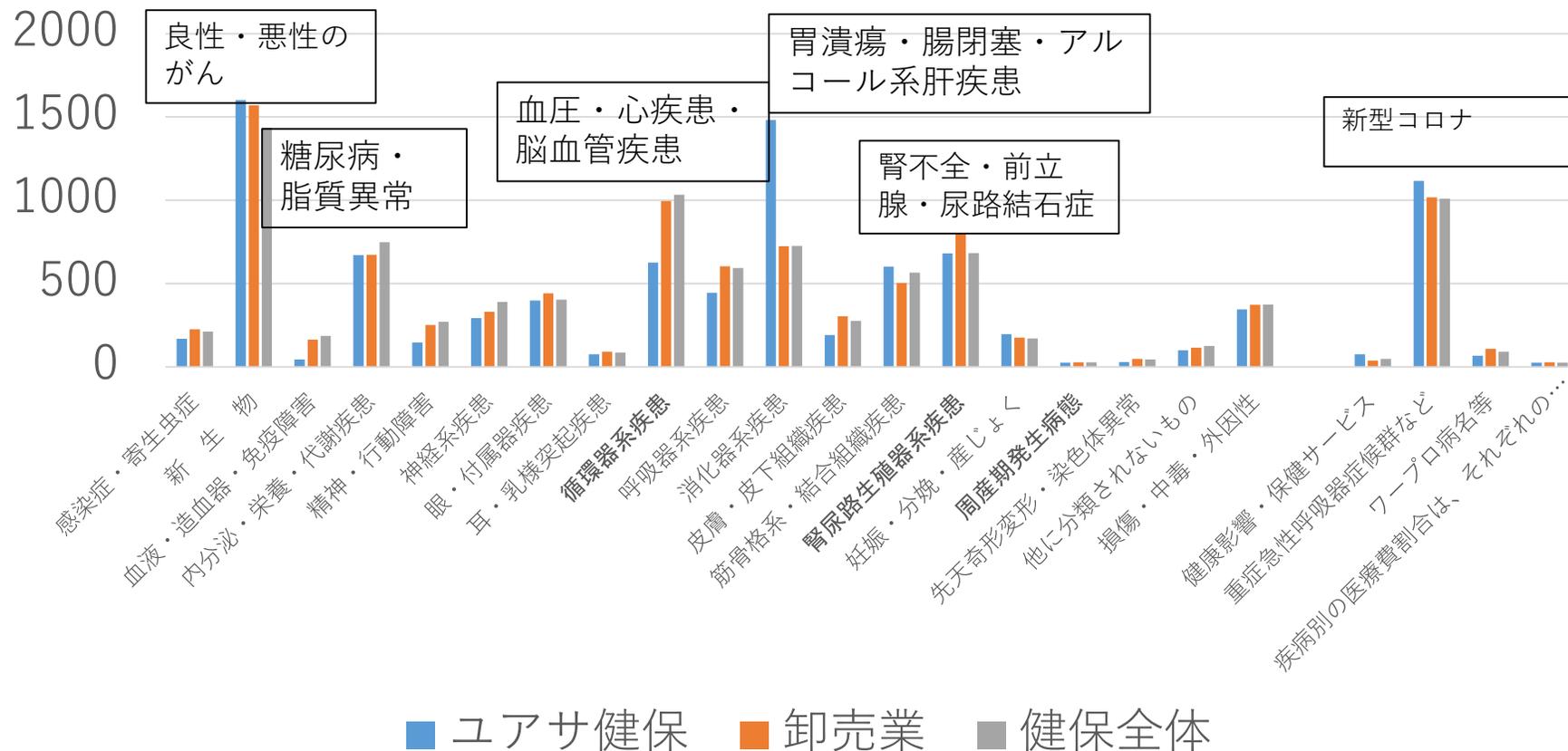
貴健保組合の医療費の詳細

【男女別・年代別1人あたり医療費の状況】



被保険者一人当たり疾病別医療費の業界（卸売業・健保全体）比較

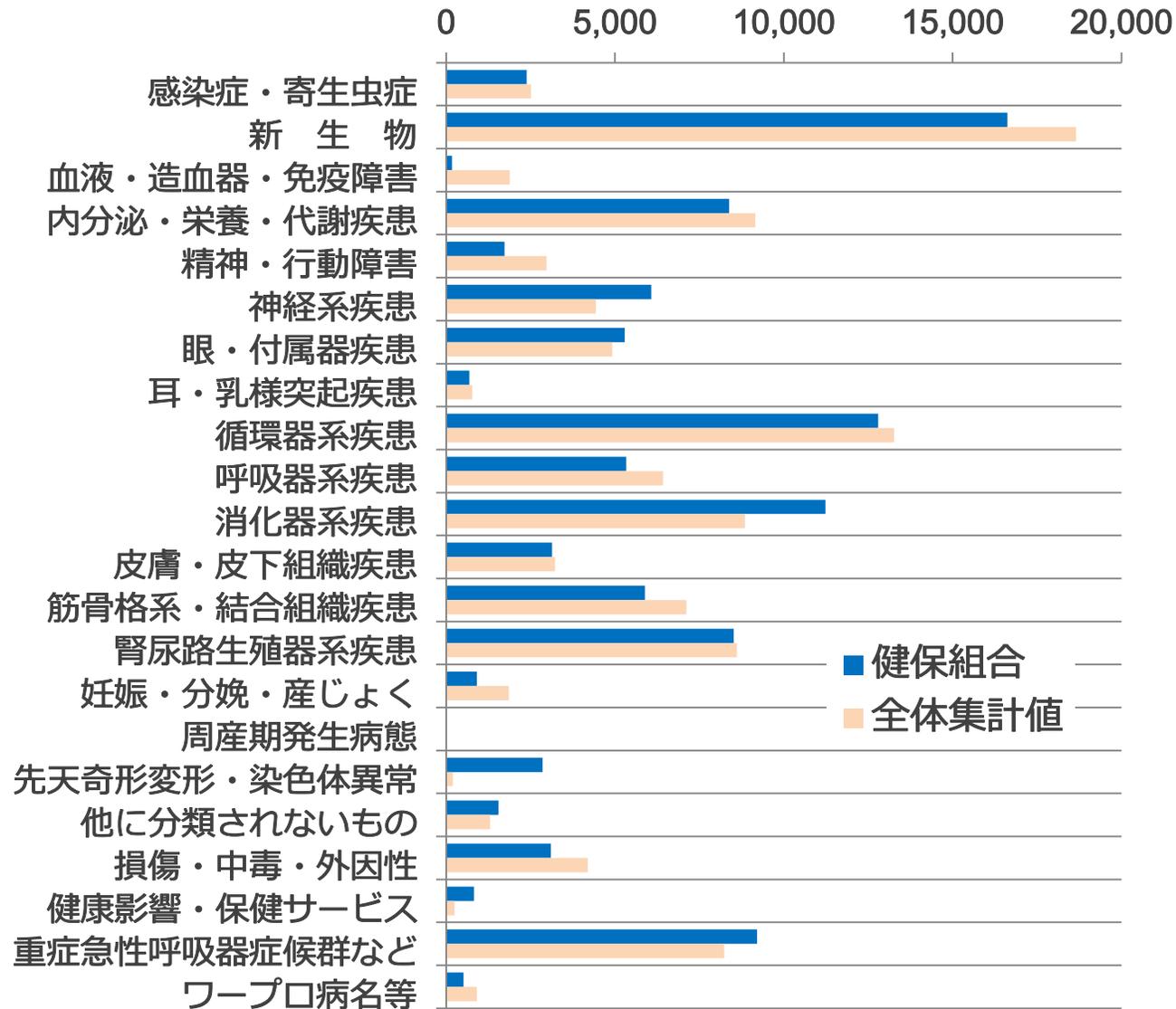
単位：円



2022年度

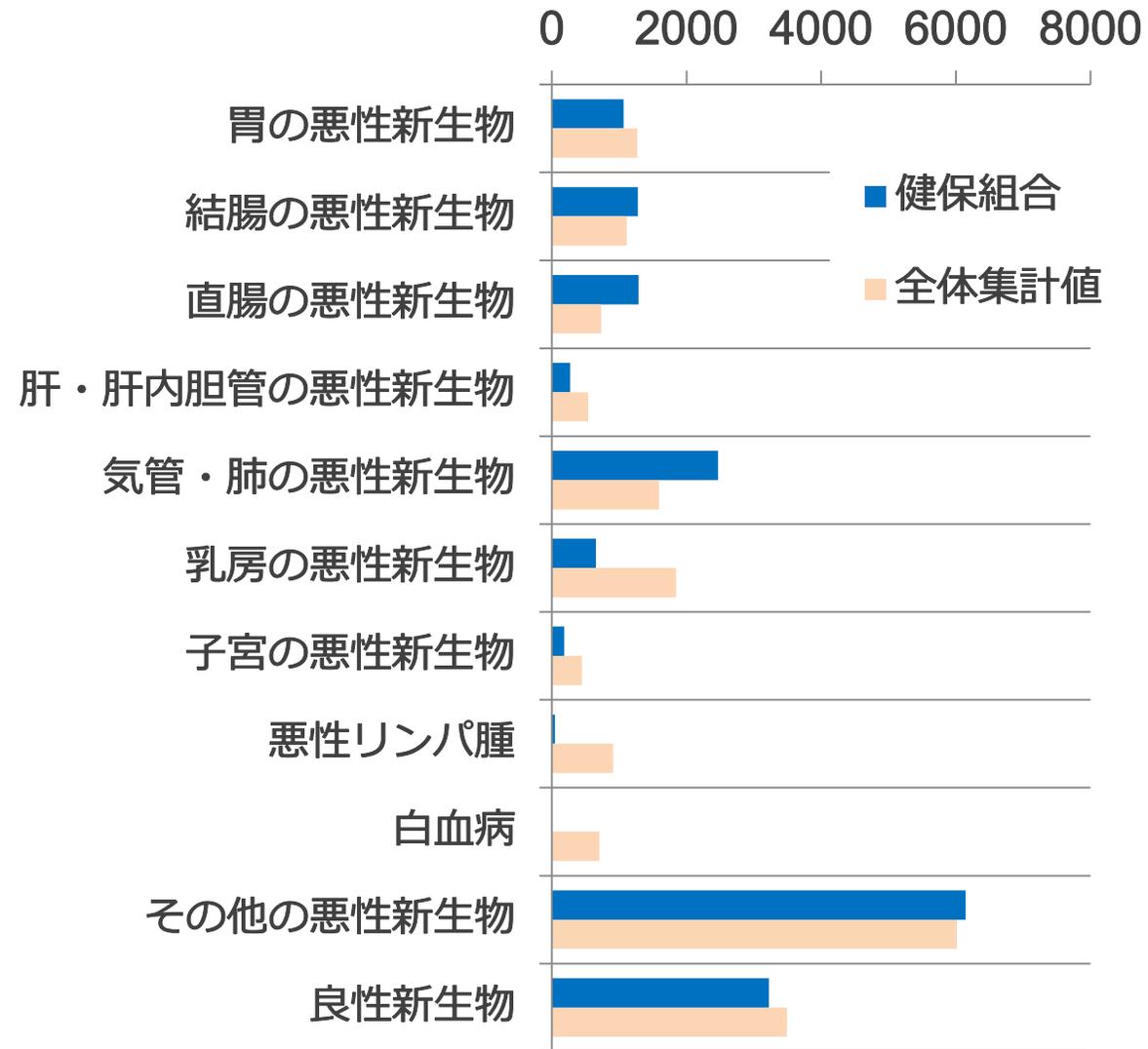
被保険者一人当たり疾病別医療費比較

単位：円

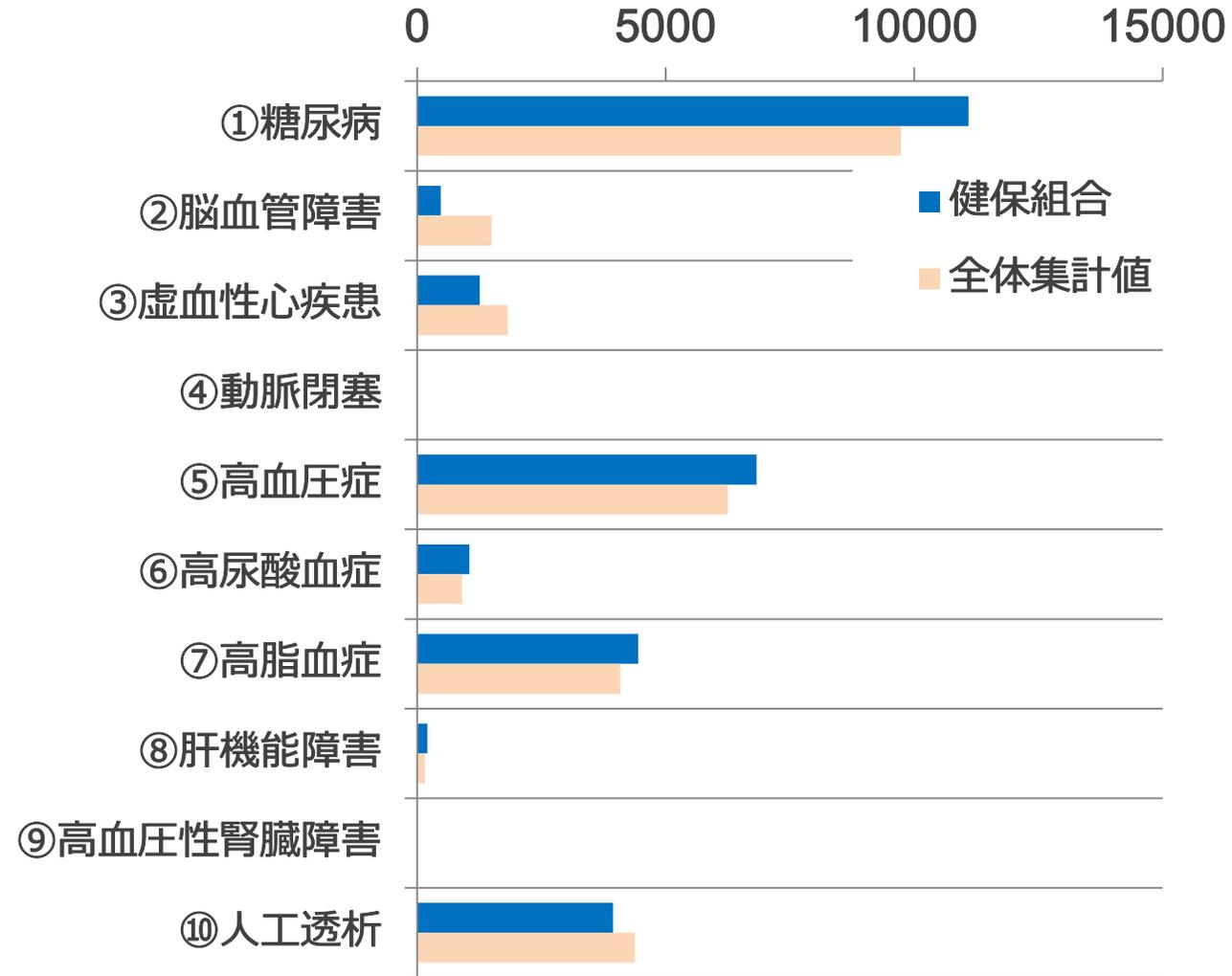


新生物 被保険者一人当たり医療費

単位：円

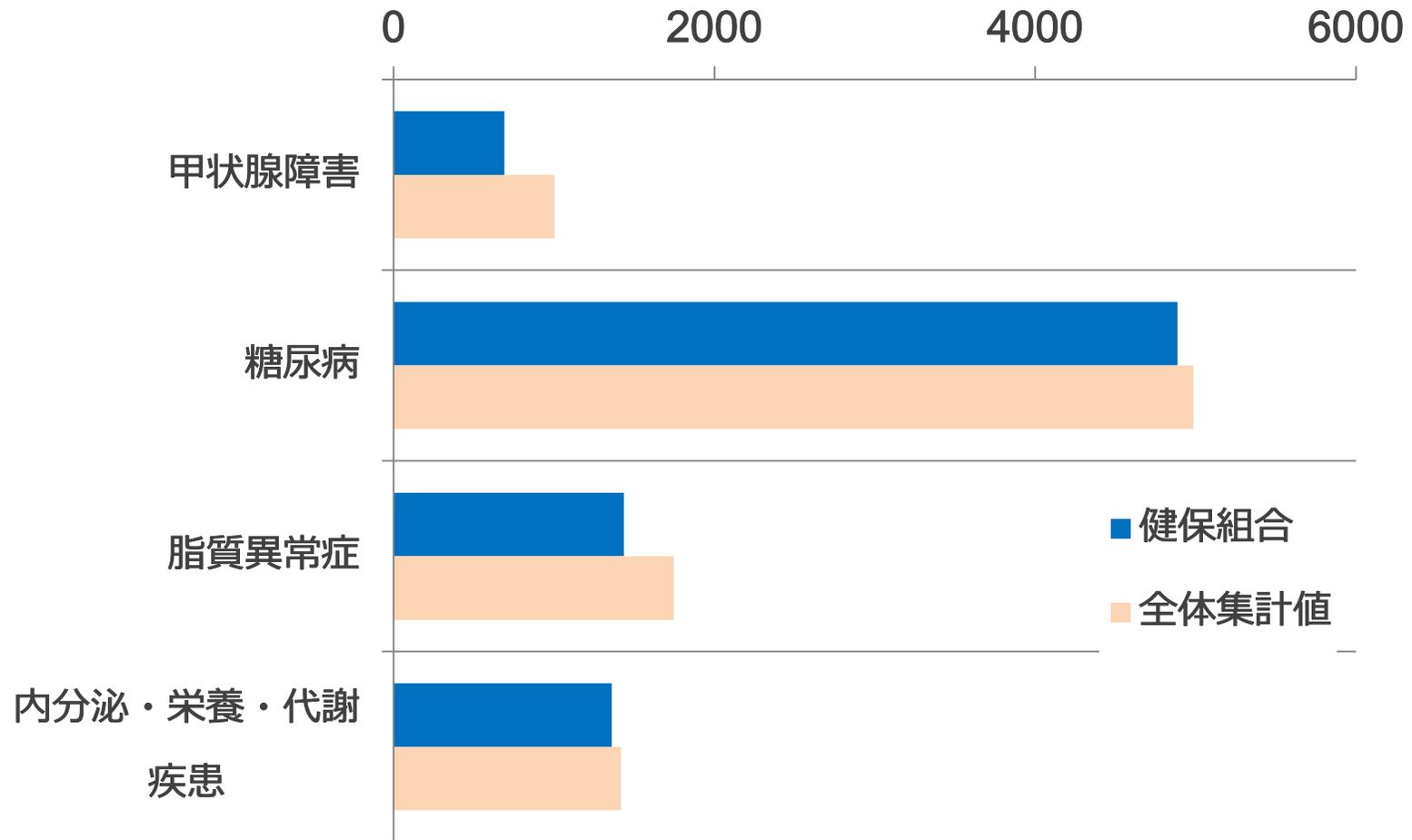


単位：円



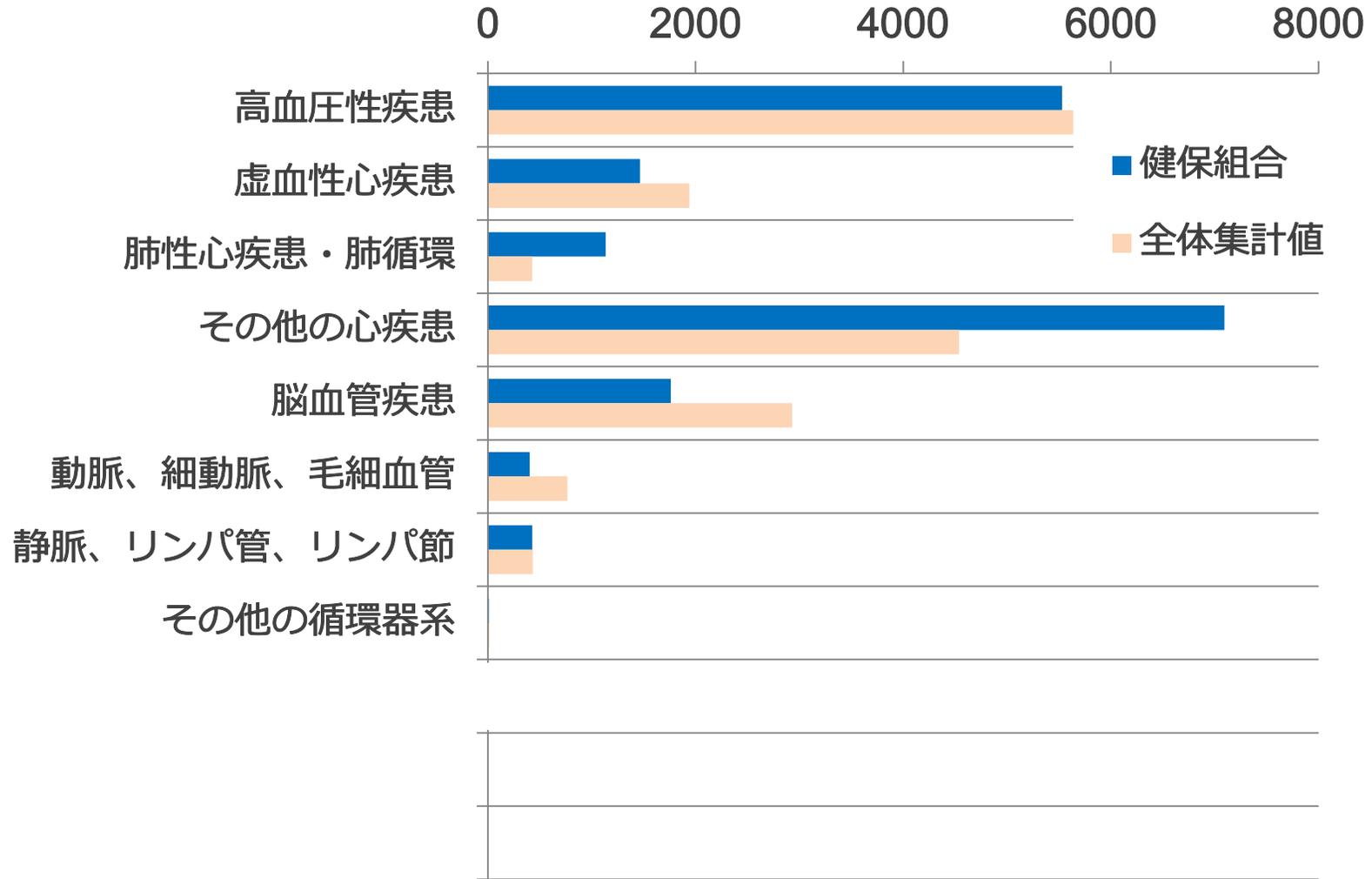
疾病別医療費 内分泌・栄養・代謝疾患別 被保険者一人当たり医療費

単位：円



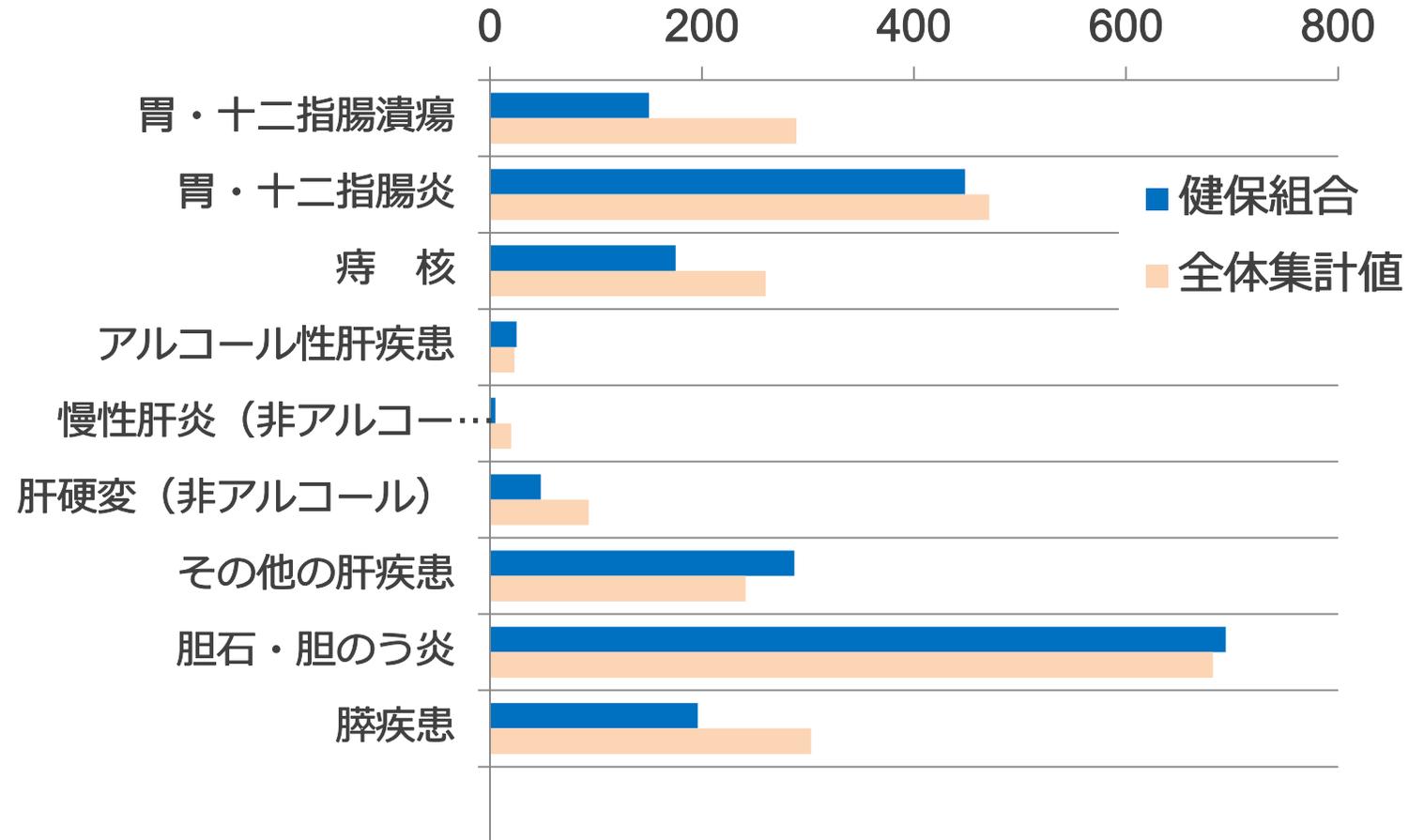
疾病別医療費 循環器系疾患 被保険者一人当たり医療費

単位：円



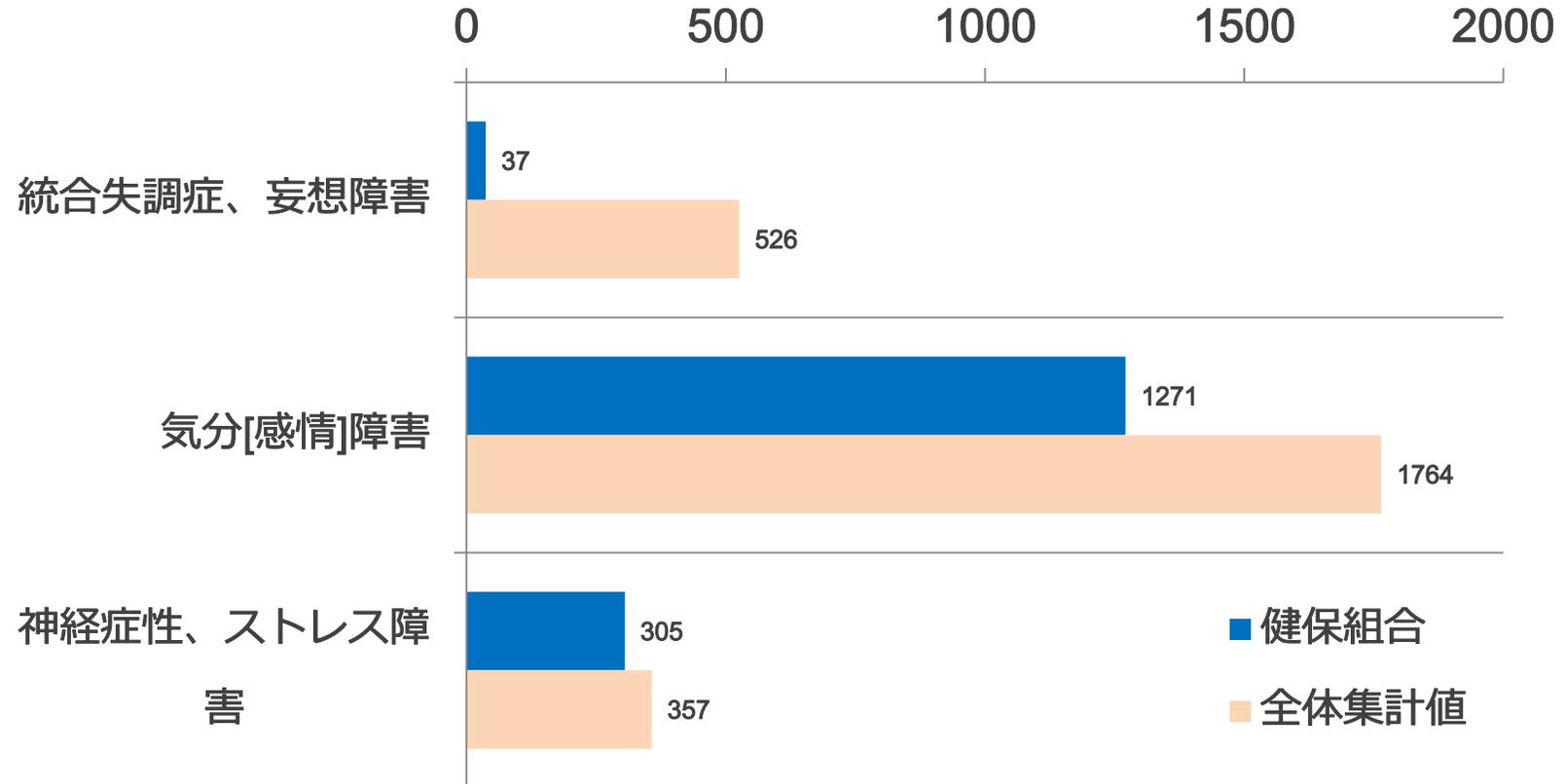
疾病別医療費 消化器系疾患 被保険者一人当たり医療費

単位：円

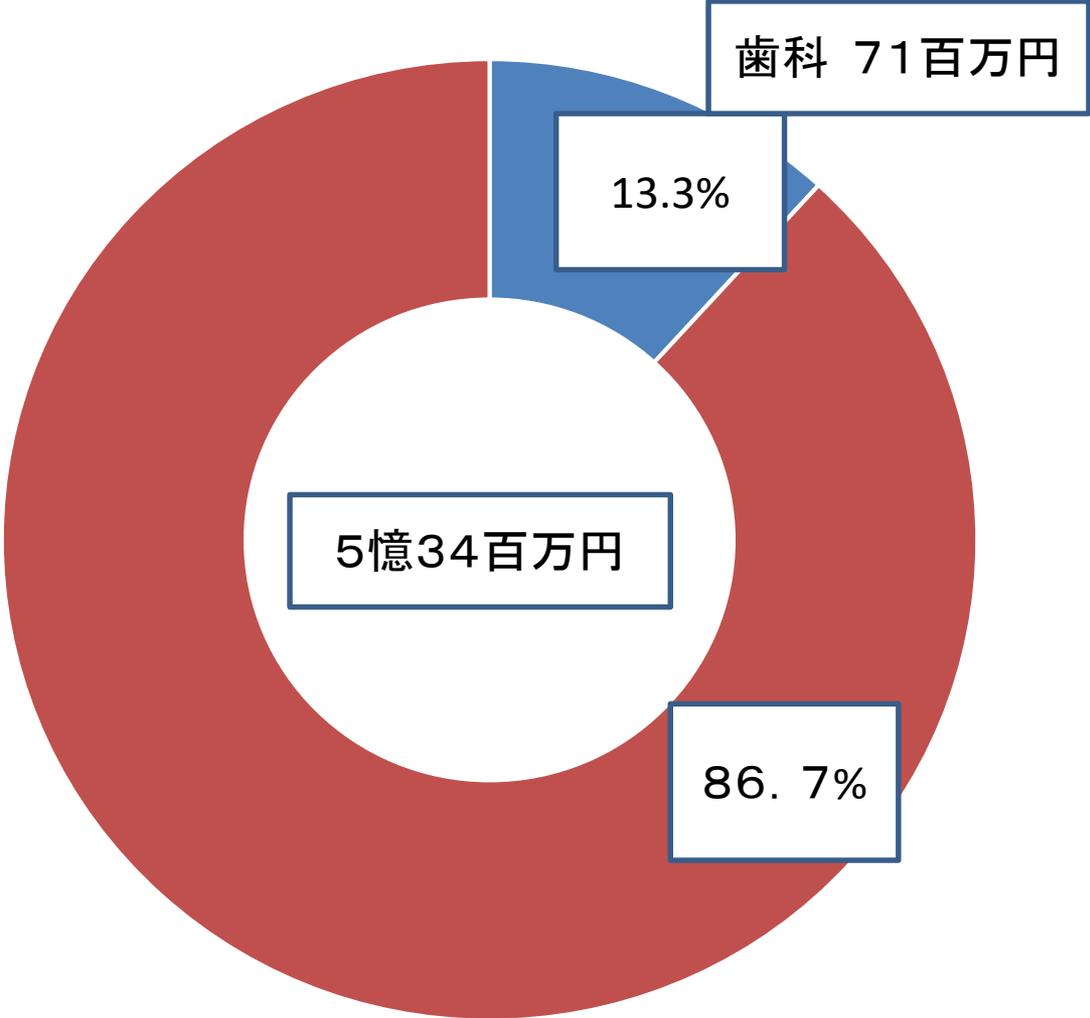


疾病別医療費 メンタル系疾患 被保険者一人当たり医療費

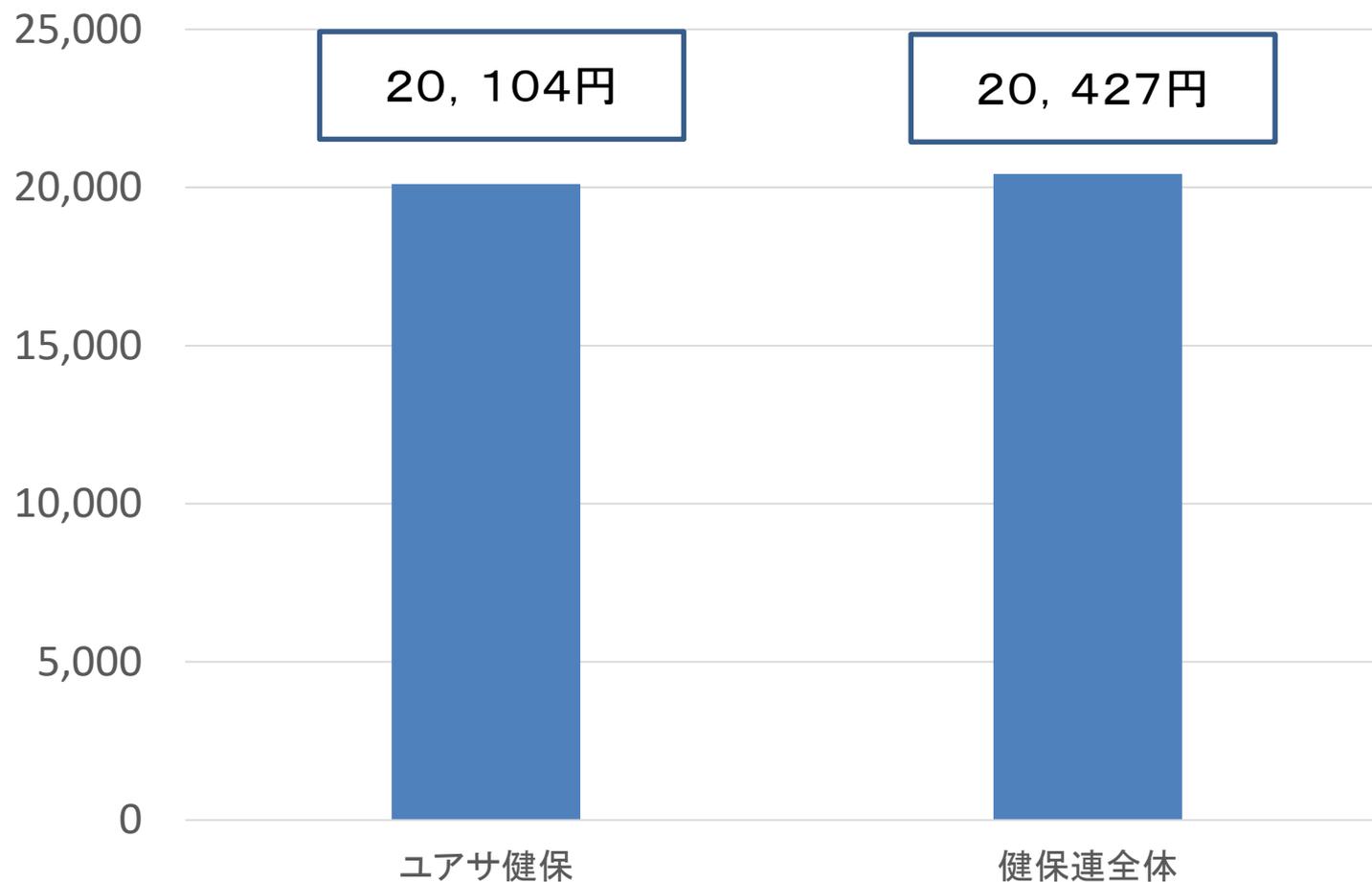
単位：円



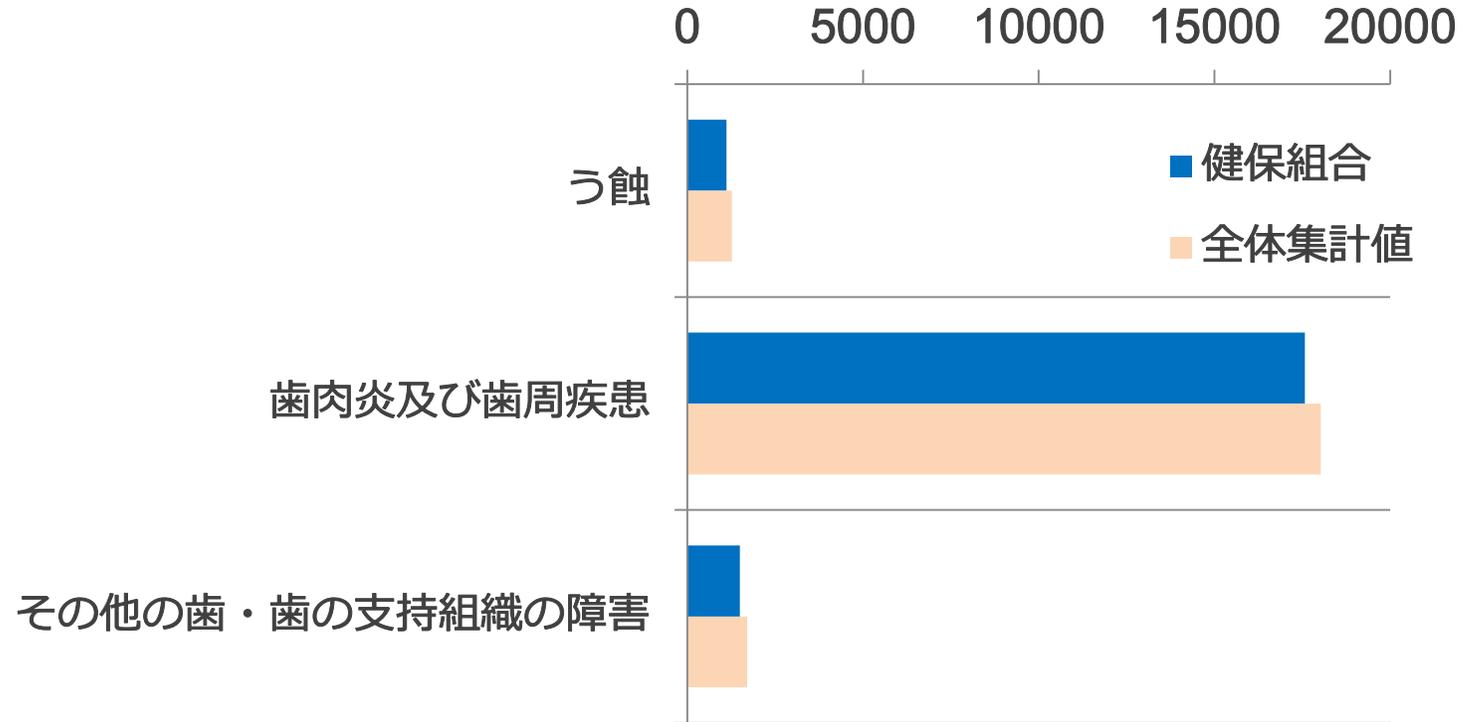
医療費全体に占める歯科医療費(本人のみ)

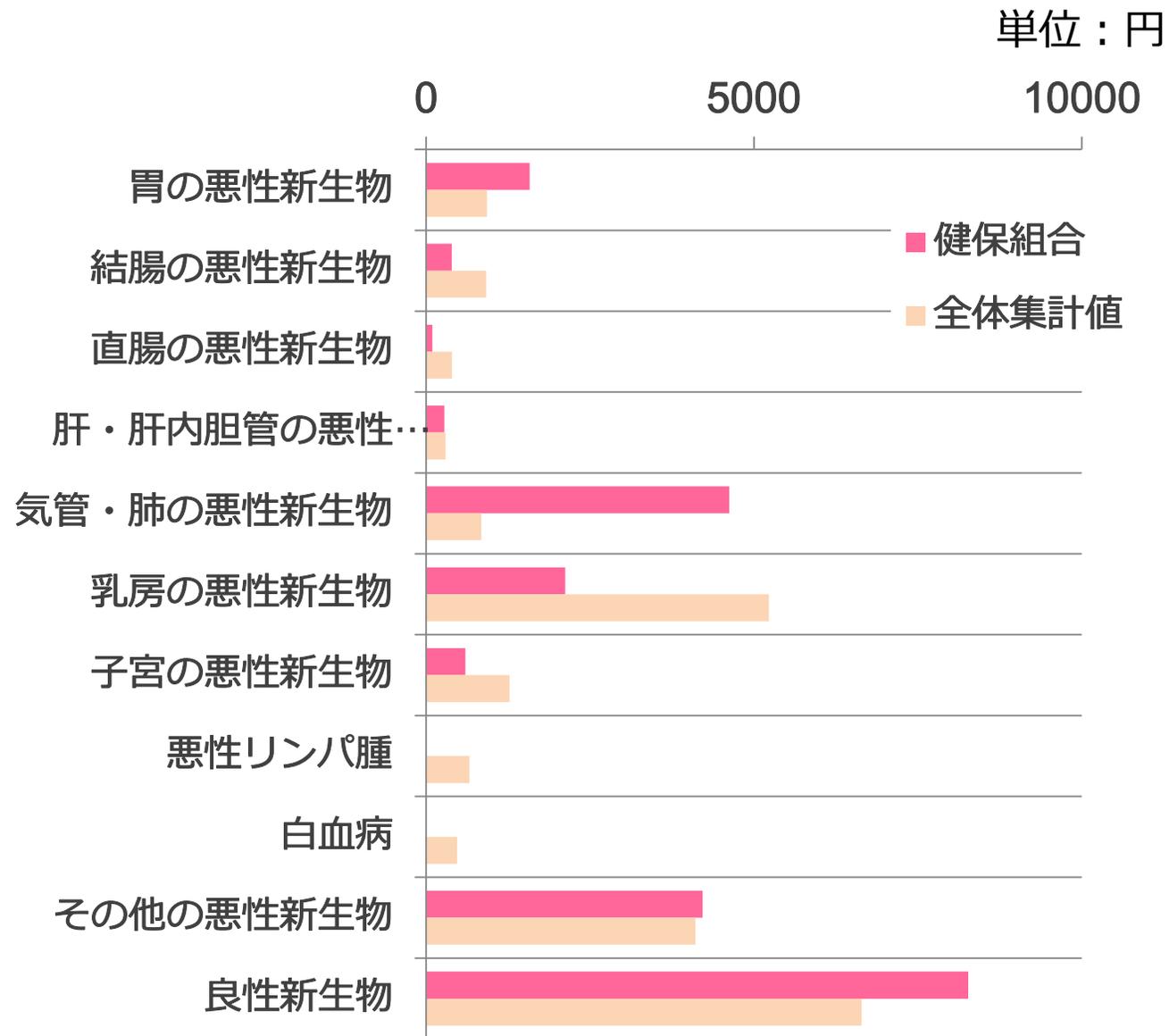


歯科 被保険者一人当たり医療費比較(本人のみ)

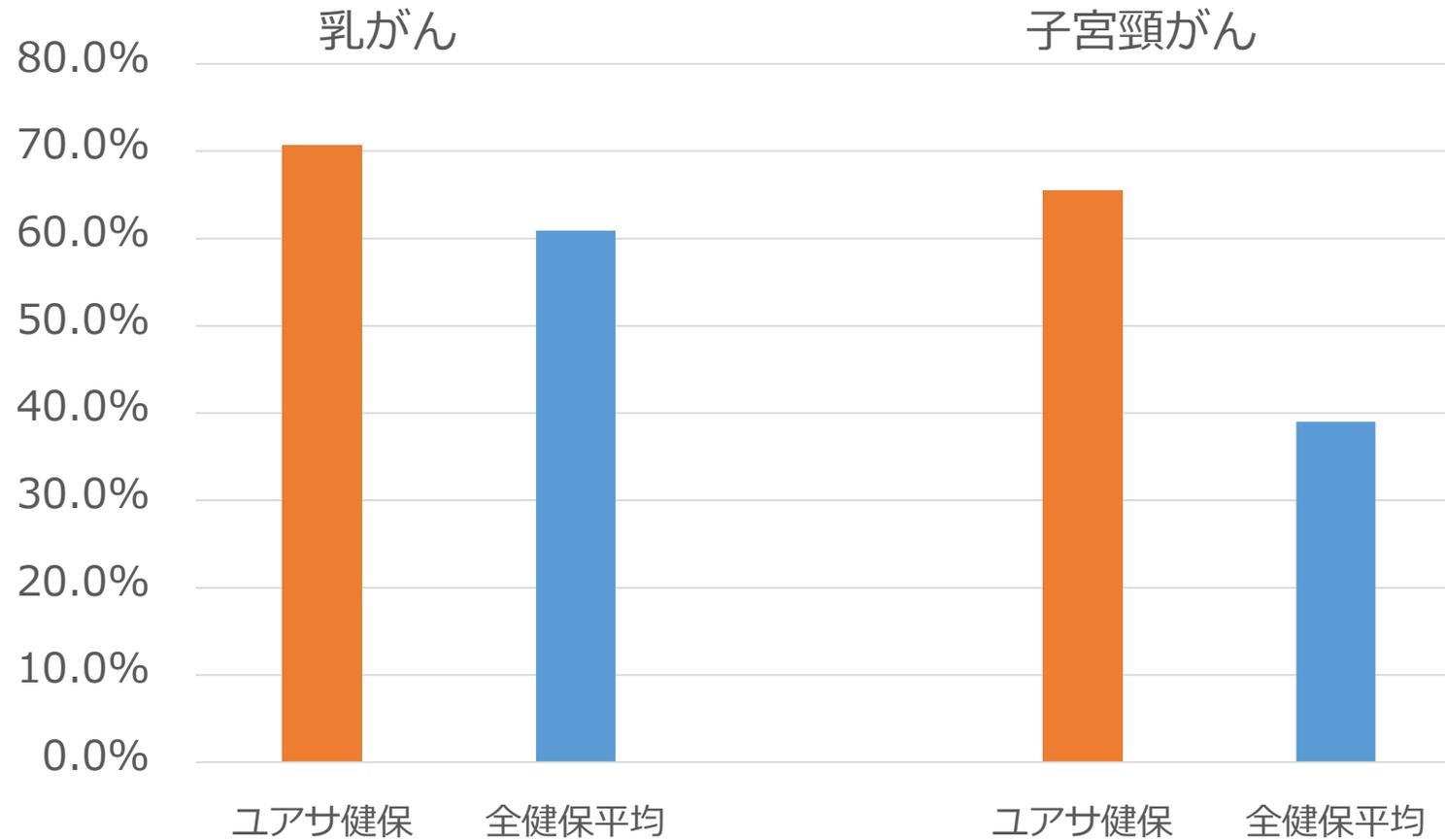


単位：円

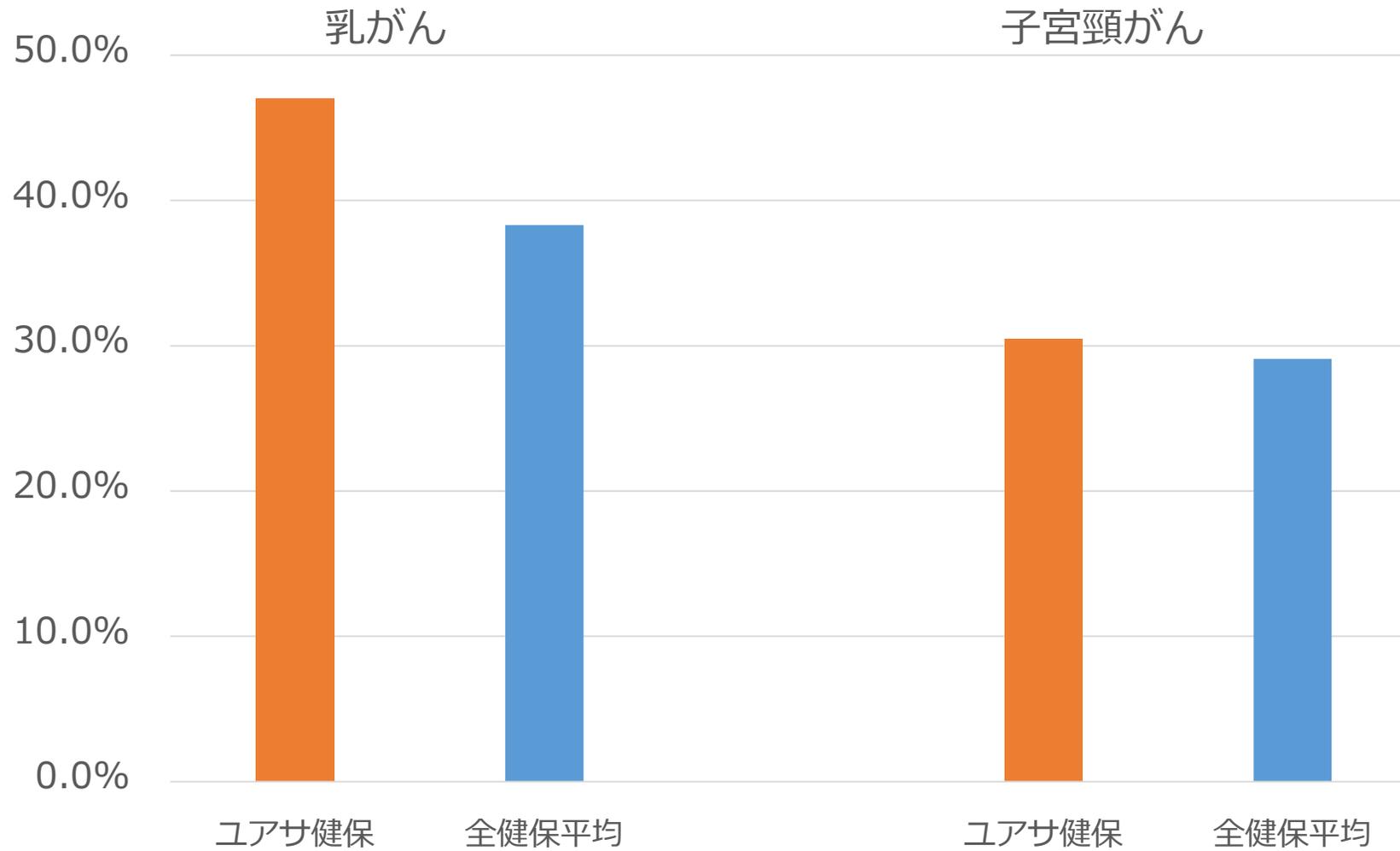




婦人科検診受診率 (被保険者)



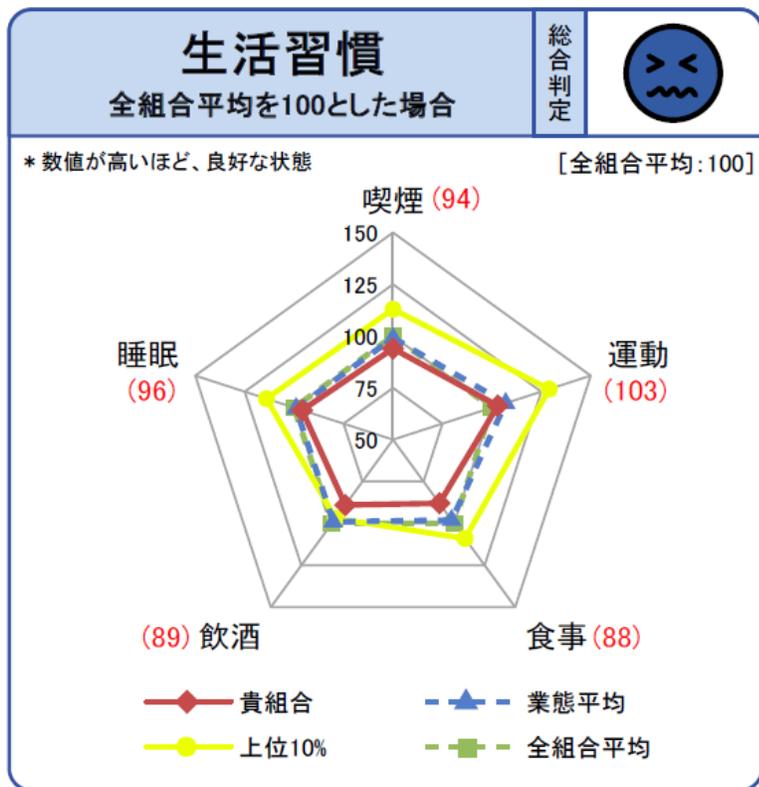
婦人科検診受診率 (被扶養者)



厚生労働省スコアリングレポート（健康状況）

貴組合の生活状況（適正な生活習慣を有する者の割合）

※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。

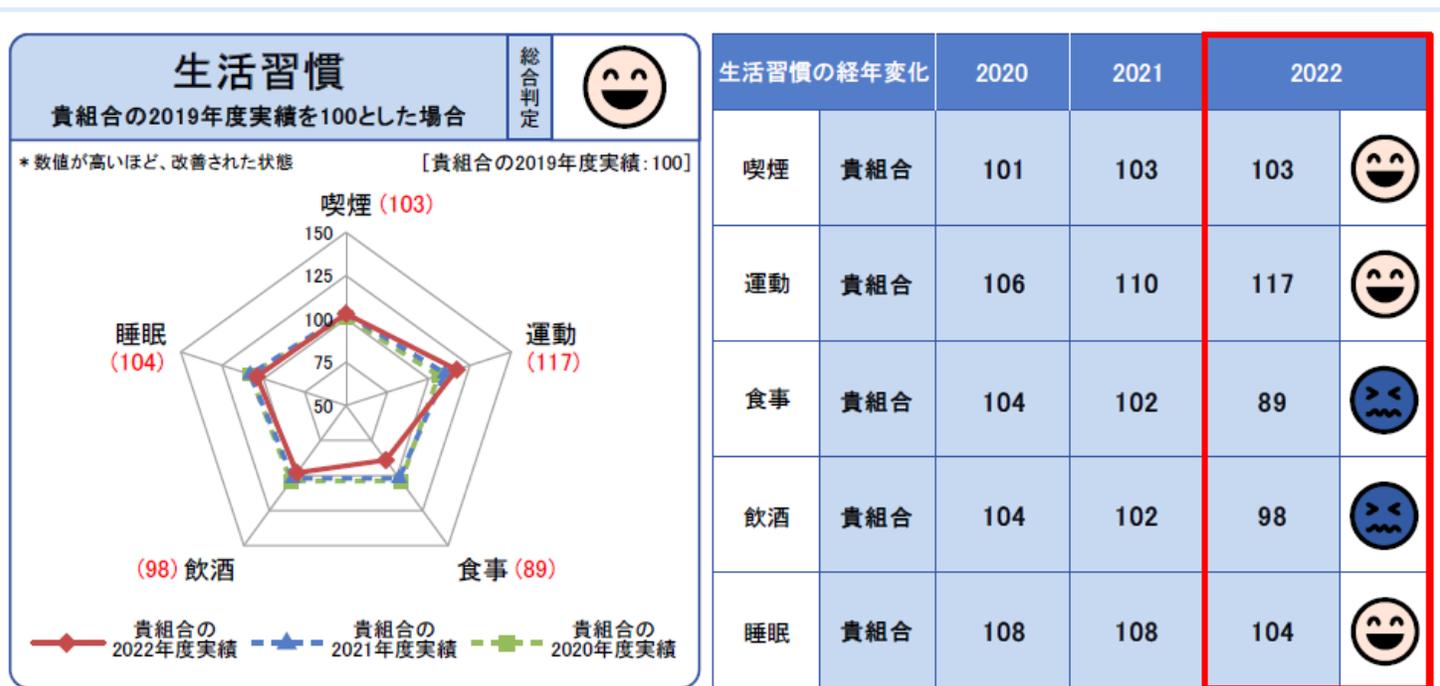


※ 2022年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

生活習慣の経年変化		2020	2021	2022	ランクUPまで (*1)
喫煙	貴組合	93	95	94	 あと 65人
	業態平均	99	99	99	
	上位10%	112	113	113	
運動	貴組合	100	100	103	 あと 32人
	業態平均	108	107	107	
	上位10%	138	134	129	
食事	貴組合	101	99	88	 あと 32人
	業態平均	99	99	98	
	上位10%	112	109	109	
飲酒	貴組合	95	93	89	 あと 88人
	業態平均	99	99	99	
	上位10%	100	99	97	
睡眠	貴組合	98	99	96	 あと 20人
	業態平均	100	100	99	
	上位10%	114	115	114	

※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」上位10%の平均値を表す。ただし、業態内の組合数が20以下の場合には、全組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。
 (*1) 「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載。

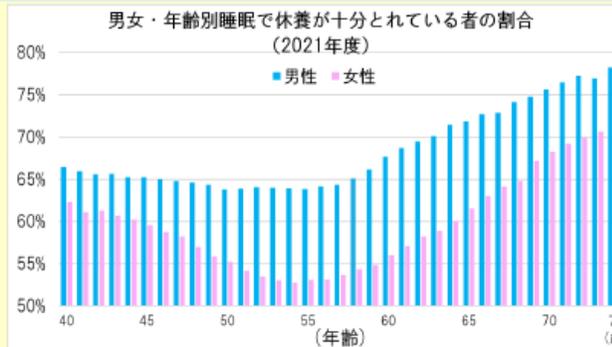
厚生労働省スコアリングレポート（健康状況）



【コラム】生活習慣を見直し、睡眠で休養を十分とりましょう！

特定健診の睡眠に関する質問の結果を男女・年齢別にみると、40代から50代半ばにかけて睡眠で休養が十分とれている者の割合が低下しています。特に女性ではその傾向が顕著に表れており、その低下の程度が大きくなっています。少しでも良い睡眠習慣を身につけられるように、睡眠環境や生活習慣を可能な範囲で見直すように促しましょう。

※睡眠に関する質問票の回答がある被保険者のみを対象に算出
 ※2022年度報告（2021年度実績）データより算出
 ※睡眠で休養が十分とれている者の割合…特定健診の睡眠に関する質問「睡眠で休養が十分とれている」に「はい」と回答した者の数/特定健診の睡眠に関する質問に回答した者の数



（注）【本レポートにおけるデータ対象】

- ・医療費：全加入者 / 特定健診（健康状況・生活習慣）：40歳～74歳。
- ・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「-」を表示、健康状況・生活習慣・医療費は、対象となる加入者数50名未満の場合「×」を表示。

・2023年4月1日以前に合併のあった組合の2022年度分の医療費については、合併前の各組合のデータを合算して表示。

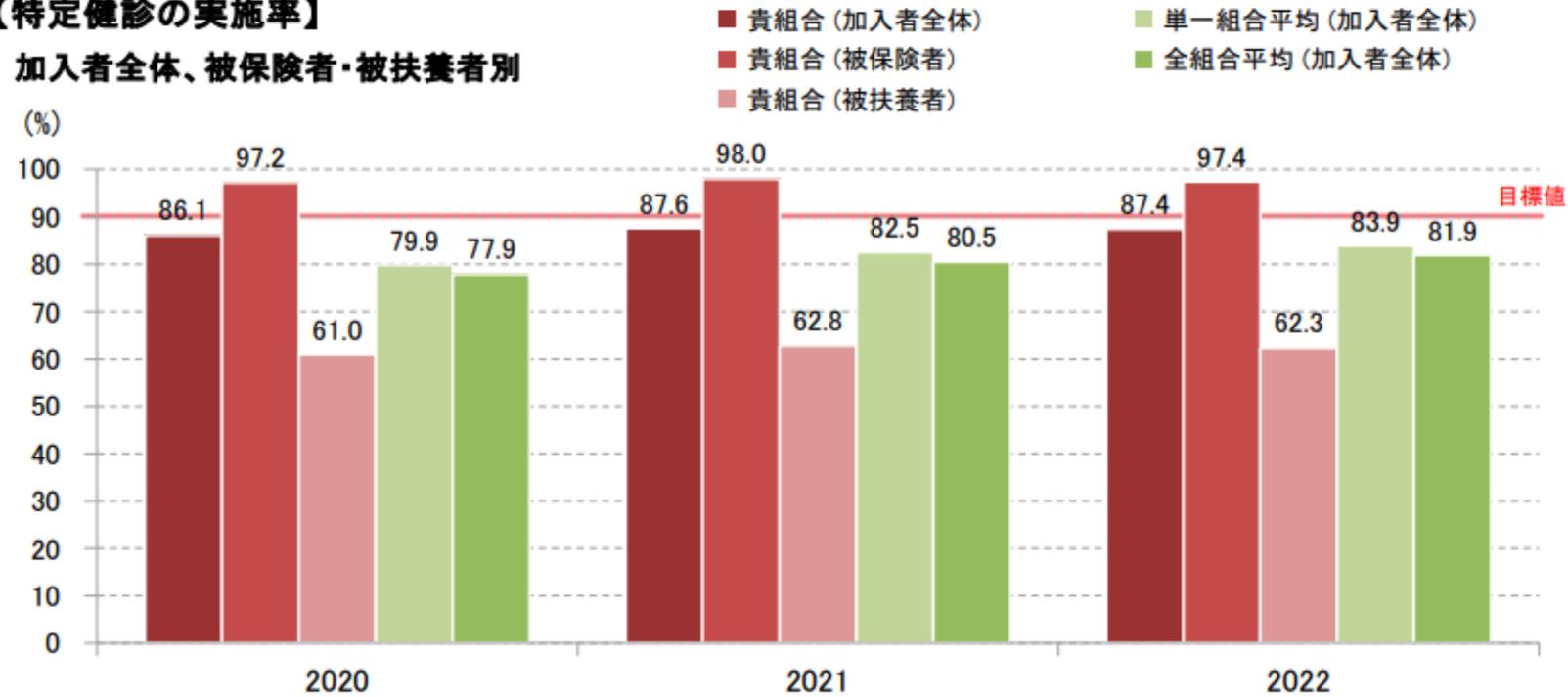
5. 厚生労働省スコアリングレポート（特定健診・保健指導）

貴健保組合の特定健診の実施状況



【特定健診の実施率】

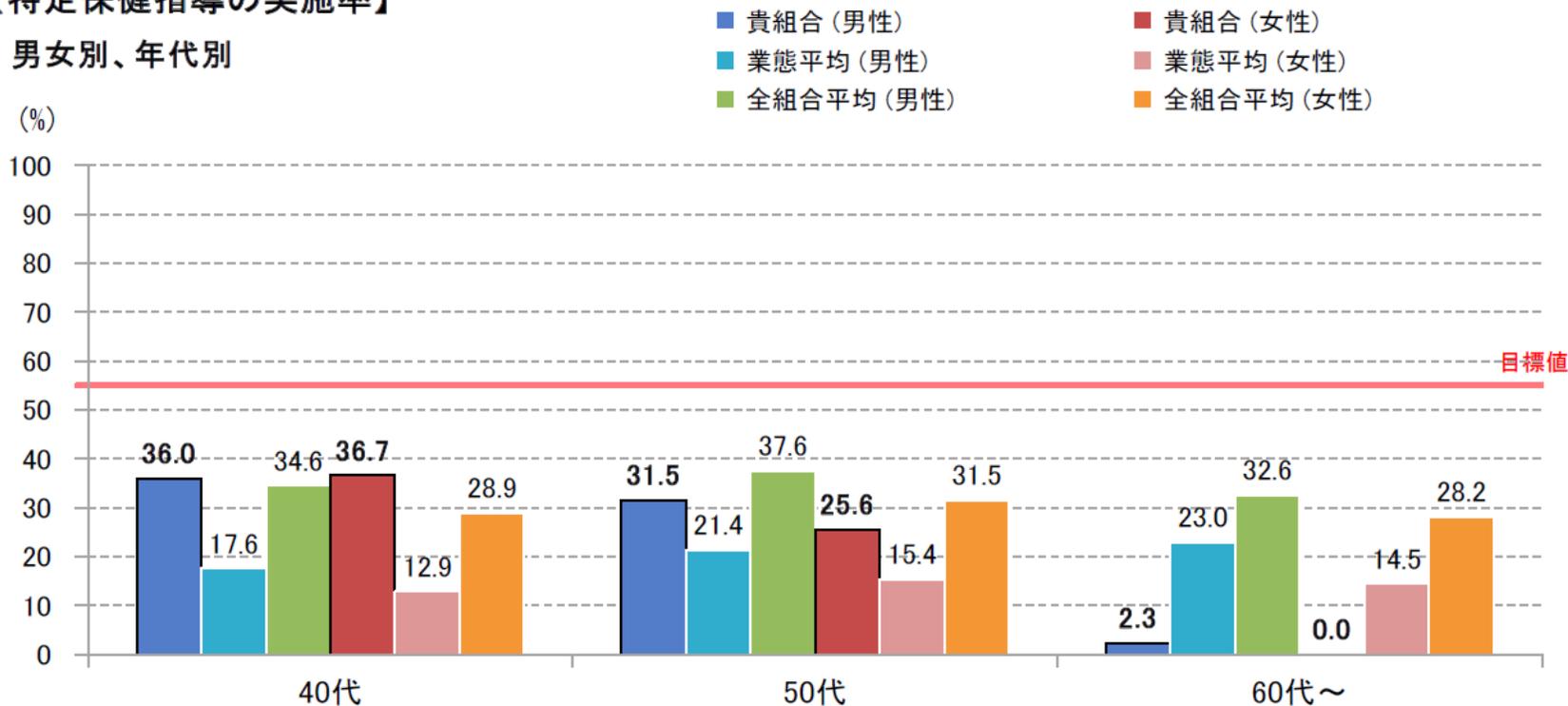
加入者全体、被保険者・被扶養者別



厚生労働省スコアリングレポート（特定健診・保健指導）

【特定保健指導の実施率】

男女別、年代別



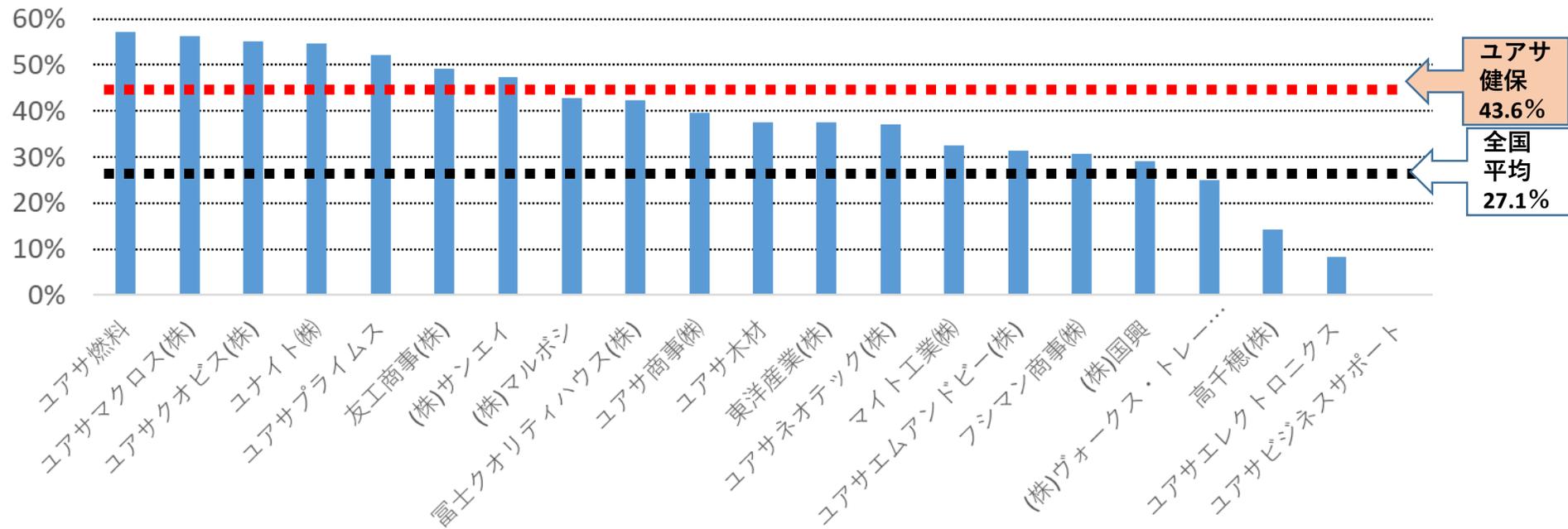
		加入者全体			男性	女性	40代	50代	60代～
		加入者全体	被保険者	被扶養者	男性	女性	40代	50代	60代～
特定保健指導 の実施率	貴組合	28.4%	30.6%	3.0%	28.5%	27.6%	36.1%	30.1%	2.0%
	業態平均	18.2%	18.5%	13.7%	19.4%	14.0%	16.6%	20.0%	21.2%
	全組合平均	33.8%	35.1%	17.3%	34.9%	29.6%	33.5%	36.3%	31.6%

※ 目標値は、第3期（2018～2023年度）特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標。

喫煙状況：(各会社)別の喫煙率(成人男性)

2022年5月に配布・掲示した啓蒙資料

ユアサ健保の男性被保険者と全国の男性の 喫煙率の比較 (全国の1.6倍)

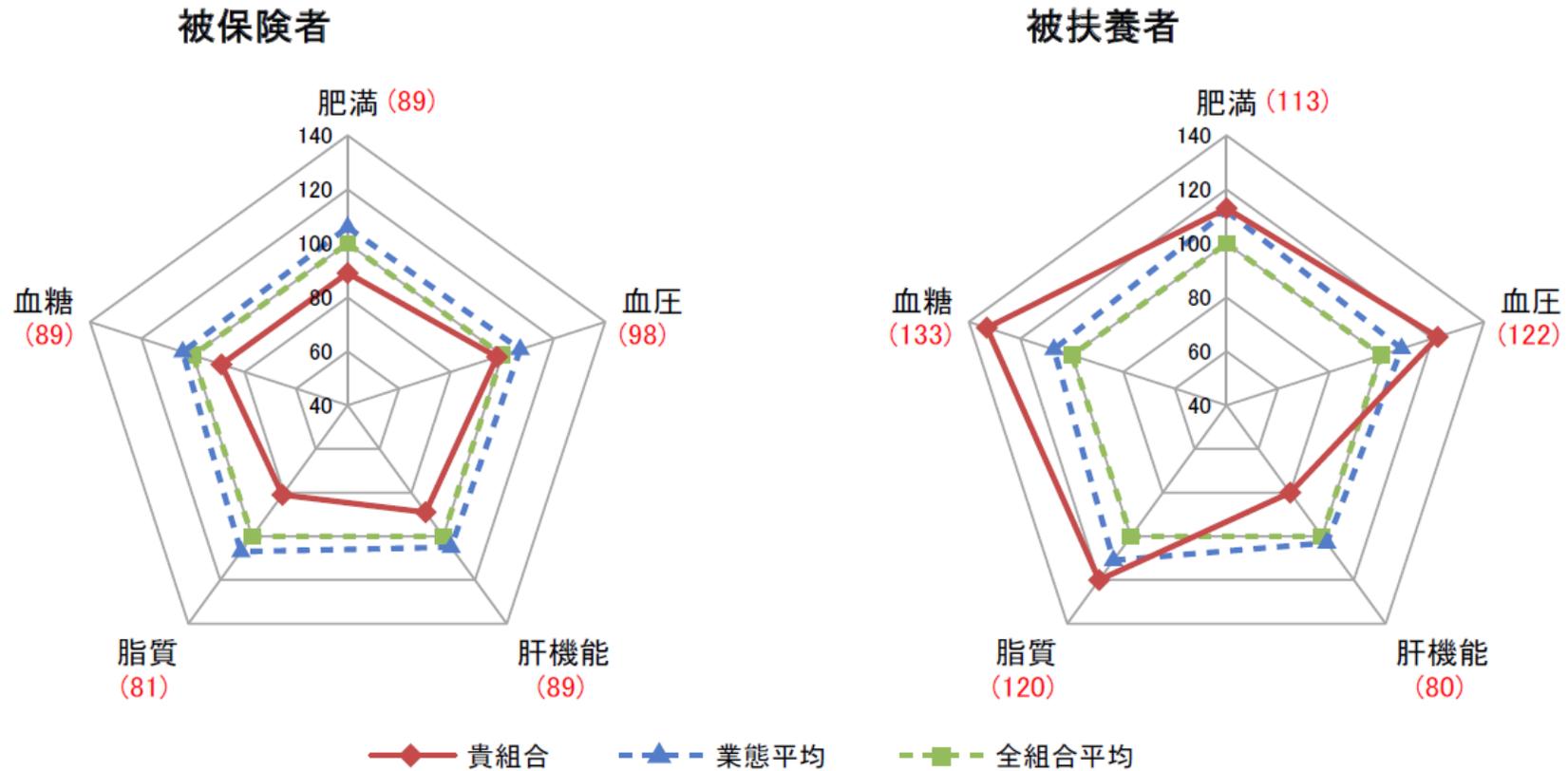


※ 女性は全国平均並み
全国平均 : 7.6%
ユアサ健保 : 9.0%

2021年度「特定健診結果」の
回答者2,791人のデータから

貴健保組合の健康状況の詳細

【健康状況（特定健診結果）】



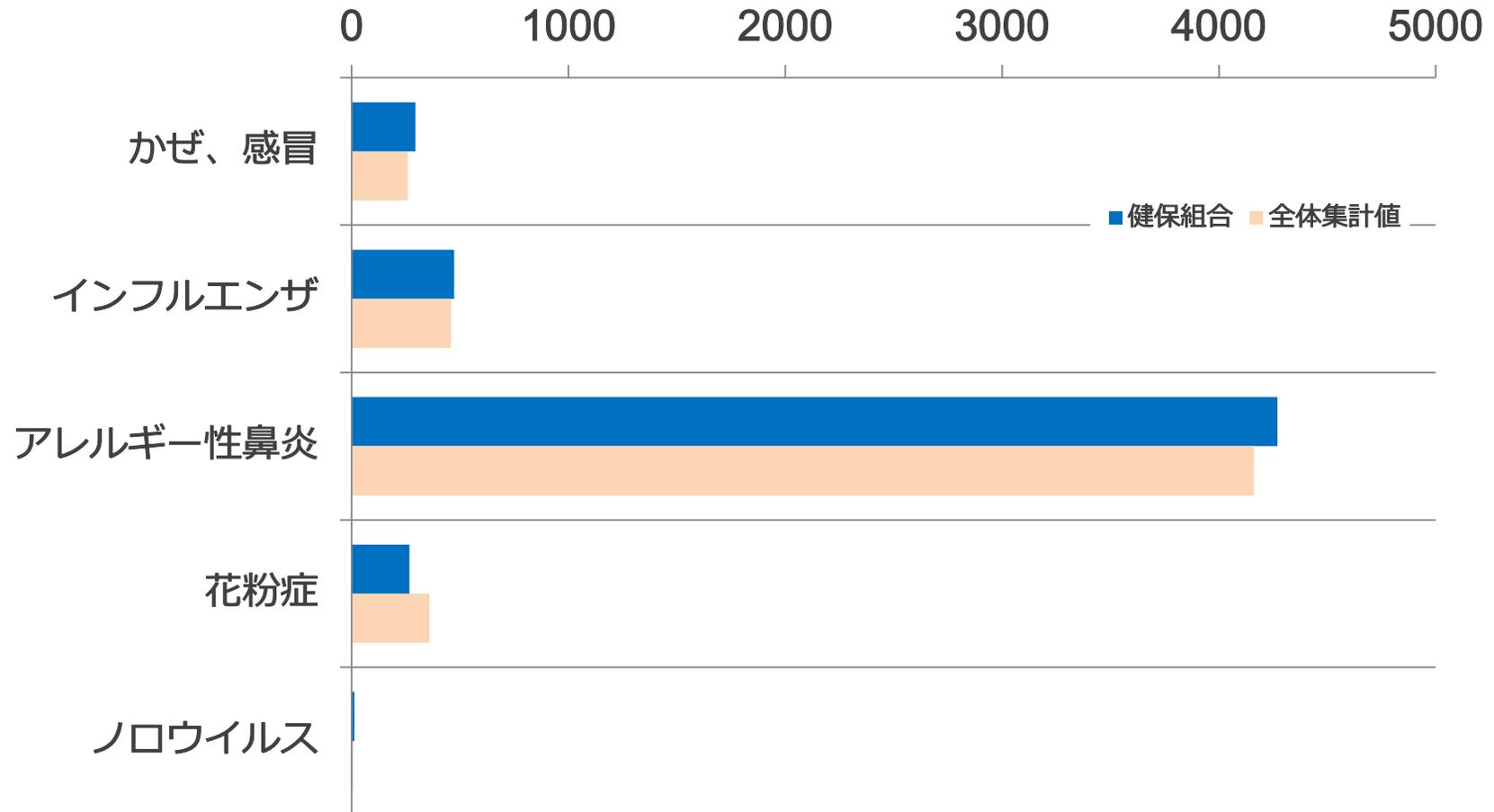
喫煙状況：事業所（会社）別の喫煙率

事業所名	合計	喫煙	非喫煙	喫煙率
ユアサ商事	773	315	458	40.8%
ユナイト	483	276	207	57.1%
ユアサクオビス	92	46	46	50.0%
友工商事	69	34	35	49.3%
ユアサ燃料	64	36	28	56.3%
国興	56	28	28	50.0%
ユアサエムアンドビー	51	15	36	29.4%
ユアサプライムス	47	25	22	53.2%
ヴォークス・トレーディング	38	19	19	50.0%
ユアサネオテック	36	12	24	33.3%
富士クオリティハウス	35	15	20	42.9%
マイト工業	34	13	21	38.2%
ユアサマクロス	27	17	10	63.0%
マルボシ	25	12	13	48.0%
サンエイ	23	12	11	52.2%
東洋産業	18	7	11	38.9%
ユアサエレクトロニクス	10	1	9	10.0%
ユアサ木材	8	4	4	50.0%
フシマン商事	8	4	4	50.0%
ユアサビジネスサポート	1	1	0	0.0%
合計	1898	892	1006	47.0%

2020年度「健康健診結果」の回答者のデータより

疾病別医療費 季節性疾患 被保険者一人当たり医療費

単位：円



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ, ハ, ヒ, コ, アウ	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者一人当たり医療費は2020年度まではほぼ横ばいであるが、2023年度は大きく伸びており今後も伸びる可能性がある。 健康状態からは運動習慣のみが健保平均を上回っており、健康ポイントプログラム実施の効果が出ていものと思われる。 	➔	インセンティブポイントプログラムを基盤事業と位置づけ、生活習慣病の発症予防、健康リテラシーの向上、運動習慣の取得の機会として展開する。	✓
2	ヘ, マ, リ, ル, レ, ヲ	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者の健診受診率は97.4%と高いが、被扶養者健診受診率は62.3%と低い状況である。 がんの早期発見のため被保険者はもとより被扶養者の健診受診率を特に上げることが必要である。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 5大がんの検診補助は行っているため、健診受診率を上げることが必要である。 機関紙での啓蒙、電話相談窓口の設置 	✓
3	テ, ト, ニ	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導実施率が業態平均より高いが、健保連平均に比べて低い状況である。後期高齢者支援金の加算対象とならないように実施率を上げることが必要である。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導の基本的見直しと、参加率を上げる工夫をすること。 	✓
4	ユ, ヨ, ラ	<ul style="list-style-type: none"> 本人歯科医療費は医療費全体の13.3%71万円と大きな額を占めており、健保連平均とほぼ同水準である。 歯科疾患別別医療費比較も健保連平均並みであり、歯科予防事業により歯科疾患、歯科医療費を減らすことが必要である。 歯周病と喫煙との関係も指摘されており、当健保の特に男性は喫煙率が非常に高いので喫煙対策も必要となってくる。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き歯科健診事業を継続し、さらに受診者を増やすことが課題である。 また、喫煙と歯周病の関係も指摘されているので、喫煙対策も含めた事業展開を行う必要がある。 歯科健診の重要性の啓蒙活動も必要である。 	✓
5	ス, ヤ	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルス系疾患の医療費は健保連平均に比較してかなり低く、事業所でもストレスチェックによる対策を実施しており、現状では健保で対策を講ずる優先度は低いと思われる。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 緊急性はないが、フィジカルの健康相談と合わせて、相談窓口として「こころからだの健康相談」事業の利用を促す。 機関誌等で窓口があることを周知する。 	
6	マ, ニ, アア, アウ	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙率が非常に高く、特に男性被保険者は全国平均の1.6倍の喫煙率となっている。 生活習慣病、がん、歯科疾患医療費にも関係するため喫煙率を下げることは必須の課題と認識する。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙プログラムの提供、啓蒙活動、喫煙率の高い事業所への個別の折衝。 	✓
7	オ, カ, キ, ク, セ, タ, チ, ツ, ヘ, ホ, マ, ミ	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病系医療費は健保連平均より高く、重症化予防対策を行う必要がある。 また、その他心疾患系医療費は健保連平均より大きく、何らかの対策が必要である。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 高リスク者への重症化対策プログラムの提供、啓蒙活動、保健指導の実施。 	✓
8	アエ	<ul style="list-style-type: none"> 季節性疾患医療費はいずれも健保連全体と比較して高い状況であり、対策が必要。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ予防接種を呼び掛け、2,000円までの実費補助を行っているが接種率が非常に低い。 2,000円の補助では自己負担が大きくなるため接種抑制になっている可能性があるため、補助を引き上げることも検討する必要がある。 	✓
9	ツ	<ul style="list-style-type: none"> 腎症3期の15人中糖尿病治療をしていない者が5人いる。 糖尿病の治療中断者が11人いる。 被扶養者の治療中断者が多い。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 健診受診者で腎症3期で糖尿病治療なしの5人の追跡フォローを実施する。 健診未受診者で過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断中の11人に対して受診勧奨の通知を行う。 	✓

10	ナ, ニ, ヌ, ネ, ノ	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染症後、医療への過度な依存がある可能性 ・市販薬での対応可能疾病に対する適正受診の啓発とインセンティブ（市販薬を安価に購入できる方法の提供） ・去痰剤については入手困難になっているため確保のための受診の可能性 ・かかりつけ薬局やお薬手帳の活用不足 ・加齢とともに多剤になる傾向がある ・基礎疾患を有することでより多剤になる可能性がある ・併用禁忌薬剤による健康障害の可能性 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・適正服薬についての啓発を実施する。 ・ポリファーマシー対策の一環として、適正服薬通知等の通知や電話勧奨を実施し、啓発を図る。 ・市販薬での対応可能疾病に対する適正受診の啓発とインセンティブ（市販薬を安価に購入できる方法の提供）の導入を検討する。 	
----	------------------	---	---	---	--

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<p>■加入者数は年々増加しており、全ての年齢階級で増加している。生産年齢（40-64歳）と前期高齢者が増加している。被保険者に占める前期高齢者の割合が全体と比べて高く、年々増加している。</p> <p>■男性が女性の約1.2倍で、40歳以上は全体の約4割、被保険者では約5割を占める。被保険者は男性が女性の約2倍、被扶養者は女性が多く、男性の約1.8倍である。被保険者は、男性では25-59歳が多く、女性では25-54歳が多い。被扶養者は0-24歳までで約6割を占める。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・加入者への情報提供（加齢と疾患・医療費増加の現状の周知、早期治療によるメリットと重症化によるデメリットの見える化） ・管理者との情報共有（加齢と疾患・医療費増加の現状の周知、早期治療によるメリットと重症化によるデメリットの共有）

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

加入者が現役時代はもとより将来に亘り、心身ともに健康で充実した生活を送れるよう、現役時代から健康リテラシーを身に付けさせ、運動習慣、食事管理、疾病予防等に対する気付きを与える様々な保健事業施策を提供すること。

特に、生活習慣病のリスクのある者にはそれぞれのリスクに応じた施策（特定保健指導・重症化予防・喫煙対策など）を実施し、改善を図ること。

事業全体の目標

1. 加入者が健康リテラシーを身に付け能動的に心身の健康管理ができるようになること。⇒運動習慣のある者の割合を増やす等。
2. 特定保健指導・重症化予防事業・禁煙事業・その他事業対象者率を減少させること。
3. 結果として生活習慣病リスク保有者割合を減少させること。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

疾病予防	ポイントインセンティブ付与事業
------	-----------------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	糖尿病性腎症重症化予防
保健指導宣伝	後発医薬品の差額通知
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	重複服薬
保健指導宣伝	多剤服薬
疾病予防	生活習慣病重症化予防
疾病予防	婦人科検診
疾病予防	歯科健診
疾病予防	電話健康相談
疾病予防	禁煙補助
疾病予防	インフルエンザワクチン補助金申請
疾病予防	家庭用常備薬斡旋
体育奨励	スポーツ施設法人契約

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
疾病予防	1,2,5	既存	ポイントインセンティブ付与事業	全て	男女	19～74	被保険者	1	ア	健康ポイントプログラムの活用によりウォーキングイベントの開催、生活習慣改善目標設定、達成記録の入力等に応じてポイントを付与する。	ア,ウ	ベネフィット・ワン社の健康ポイントプログラムを採用し、事業所を巻き込んで展開する。	2,200	3,000	3,500	4,000	4,000	4,000	生活習慣病の発症を未然に予防するため、ウォーキング等の運動習慣、健康リテラシーの向上を図り、加入者の運動習慣習得、健康への意識付けを図る。	・被保険者一人当たり医療費は2020年度まではほぼ横ばいであるが、2023年度は多きく伸びており今後も伸びる可能性がある。 ・健康状態からは運動習慣のみが健保平均を上回っており、健康ポイントプログラム実施の効果が出ていものと思われる。
													登録率(【実績値】72.8% 【目標値】令和6年度：73% 令和7年度：74% 令和8年度：75% 令和9年度：76% 令和10年度：77% 令和11年度：78%)-							
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診	全て	男女	40～74	被保険者	3	ケ	事業主の協力を得て、各事業所が職場を通じて健診案内。健保は各事業所から健診結果データを受領。	ア	年度初に健保組合から各事業所に健診実施の働きかけと健診結果の提出を依頼。それを踏まえ各事業所の担当者から対象者に受診を案内。	14,760	15,000	15,000	16,000	16,000	17,000	被保険者は事業所担当者への働きかけ。被扶養者については直接健診案内をおくり受診を促す。 ・喫煙率が非常に高く、特に男性被保険者は全国平均の1.6倍の喫煙率となっている。 ・生活習慣病、がん、歯科疾患医療費にも関係するため喫煙率を下げることは必須の課題と認識する。	・被保険者一人当たり医療費は2020年度まではほぼ横ばいであるが、2023年度は多きく伸びており今後も伸びる可能性がある。 ・健康状態からは運動習慣のみが健保平均を上回っており、健康ポイントプログラム実施の効果が出ていものと思われる。
													事業所への健診働きかけ実施率(面談及びメール)(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)事業所への健診働きかけ実施率(面談またはメール)被扶養者へは案内の送付率							
特定健診受診率(【実績値】88.5% 【目標値】令和6年度：89.0% 令和7年度：90.6% 令和8年度：91.4% 令和9年度：91.5% 令和10年度：92.2% 令和11年度：92.7%)被保険者は法定であるので健診結果XMLの未受診項目については健保ではコントロールできないので、健保としては被扶養者の受診率向上に向けた取り組みを主に記載する。被扶養者：R656% R758% R860% R960% R1064% R1166%												-								
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	エ,オ,ケ	該当者を抽出し、事業所担当者にメールで参加勧奨を行うよう依頼する。同時に委託業者へは健診結果と連絡先リストを送り参加勧奨・特定保健指導を実施してもらう。被扶養者については健診同日面談を依頼の予定。	ア,イ,ウ	外部事業者に実施を委託令和6年度はRIZAP社とSOMPOヘルスサポート社の予定	6,071	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	生活習慣病リスク割合の低減。	・特定保健指導実施率が業態平均より高いが、健保連平均に比べて低い状況である。後期高齢者支援金の加算対象とならないように実施率を上げることが必要である。
													特定保健指導実施率(【実績値】29% 【目標値】令和6年度：31% 令和7年度：31.7% 令和8年度：35% 令和9年度：39% 令和10年度：45% 令和11年度：56%)分析6-2 R4年：29.5%							
-												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】31% 【目標値】令和6年度：31.8% 令和7年度：32.1% 令和8年度：32.4% 令和9年度：32.7% 令和10年度：33.3% 令和11年度：33.6%)分析6-2 R4年：31.8%								
保健指導宣伝	4	既存	糖尿病性腎症重症化予防	全て	男女	20～74	加入者全員	1	エ,ク	契約保健師と相談して対象者選定の上、専門の重症化予防プログラム業者に委託する。	ウ	契約保健師と相談して対象者選定の上、専門の重症化予防プログラム業者に委託する。	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	糖尿病性腎症の重症化を予防することで、医療費増加を抑制する。	・腎症3期の15人中糖尿病治療をしていない者が5人いる。 ・糖尿病の治療中断者が11人いる。 ・被扶養者の治療中断者が多い。
													プログラム実施者(【実績値】- 【目標値】令和6年度：1人 令和7年度：1人 令和8年度：1人 令和9年度：1人 令和10年度：1人 令和11年度：1人)-							
2,7	新規	後発医薬品の差額通知	全て	男女	0～74	基準該当者	1	エ,ク	後発医薬品切り替えにより一定金額以上薬剤費軽減となる被保険者に、差額通知を送り切り替えを促す。	ア,イ	健保にて差額通知を作成し配付。	0	300	300	300	300	300	後発医薬品へ切り替えを促進することにより、個人の薬剤費の軽減と健保組合財政の改善につなげる。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
												年間送付回数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-								

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
2	既存	医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	事業所経由にて、年1回被保険者に配布。	シ	医療費通知は健保組合にて基幹システムから作成。	700	700	700	700	700	700	加入者全員に医療費の使用状況を知らせることにより、「医療費についての関心」と「家族全体で健康管理に対する意識」を高める。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
年間送付回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)年1回被保険者に配布。												数値化できないため(アウトカムは設定されていません)								
5	既存	重複服薬	全て	男女	0～74	加入者全員	1	工,キ	重複服薬者を抽出し該当者に通知する。	ウ	重複服薬者を抽出し該当者に通知する。通知方法は保健師と相談する。	0	300	300	300	300	300	加入者の健康維持及び医療費の適正化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症後、医療への過度な依存がある可能性 ・市販薬での対応可能疾病に対する適正受診の啓発とインセンティブ（市販薬を安価に購入できる方法の提供） ・去痰剤については入手困難になっているため確保のための受診の可能性 ・かかりつけ薬局やお薬手帳の活用不足 ・加齢とともに多剤になる傾向がある ・基礎疾患を有することでより多剤になる可能性がある ・併用禁忌薬剤による健康障害の可能性 	
明細通知回数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：0回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)周知回数。												重複服薬の対象者割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：0.25% 令和7年度：0.25% 令和8年度：0.25% 令和9年度：0.2% 令和10年度：0.2% 令和11年度：0.2%)R4 0.3%								
5	既存	多剤服薬	全て	男女	0～74	加入者全員	1	工,キ	多剤服薬者を抽出し通知する。	ウ	多剤服薬者を抽出し通知する。通知方法は保健師に相談する。	-	-	-	-	-	-	加入者の健康維持及び医療費の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症後、医療への過度な依存がある可能性 ・市販薬での対応可能疾病に対する適正受診の啓発とインセンティブ（市販薬を安価に購入できる方法の提供） ・去痰剤については入手困難になっているため確保のための受診の可能性 ・かかりつけ薬局やお薬手帳の活用不足 ・加齢とともに多剤になる傾向がある ・基礎疾患を有することでより多剤になる可能性がある ・併用禁忌薬剤による健康障害の可能性 	
明細通知回数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												多剤服薬の対象者割合(6種類)(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：15.3% 令和7年度：14.3% 令和8年度：13.3% 令和9年度：12.3% 令和10年度：11.3% 令和11年度：10.3%)R4 16.3%								
疾病予防	4	既存	生活習慣病重症化予防	全て	男女	20～74	加入者全員	1	イ,エ	ウ	高血圧・高血糖・脂質異常等、適宜実施項目を選定し、専門の業者に委託する。	2,400	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	該当者割合を減らす。	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病系医療費は健保連平均より高く、重症化予防対策を行う必要がある。 ・また、その他心疾患系医療費は健保連平均より大きく、何らかの対策が必要である。 	
3疾患リスク保有者の医療機関未受診に受診勧奨を実施(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)年1回実施												リスク保有者を減らす(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1.62% 令和7年度：1.61% 令和8年度：1.6% 令和9年度：1.59% 令和10年度：1.58% 令和11年度：1.57%)分析5-9-15 R4年：1.62%								
												高血圧リスク保有者の医療機関未受診割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：9.7% 令和7年度：9.6% 令和8年度：9.5% 令和9年度：9.4% 令和10年度：9.3% 令和11年度：9.2%)分析5-9-13 R4年：9.7%								
												脂質異常症リスク保有者の医療機関未受診割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：21% 令和7年度：20.9% 令和8年度：20.8% 令和9年度：20.7% 令和10年度：20.6% 令和11年度：20.5%)分析5-9-14 R4年：21%								
3	既存	婦人科検診	全て	女性	20～74	加入者全員	1	工,オ	被保険者は子宮頸がん検査・乳がん検査が健保が推奨する項目に含まれており、健保補助も8,000円を限度に行っている。被扶養者についても家族健診（全額健保補助）項目に子宮頸がん検査・乳がん検査を織り込んでおり、全額補助している。	ア,ウ	被保険者は各事業者が健診機関と契約して実施。被扶養者については健保が家族健診（全健協）を提供している。	12,060	13,000	13,000	14,000	14,000	15,000	婦人科系がん（乳がん、子宮がん）の早期発見・早期治療のため、婦人科検診受診率向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者の健診受診率は97.4%と高いが、被扶養者健診受診率は62.3%と低い状況である。 ・がんの早期発見のため被保険者はもとより被扶養者の健診受診率を特に上げることが必要である。 	

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連			
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画									
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標										
													子宮頸がん受診率(【実績値】49% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：52% 令和9年度：53% 令和10年度：53% 令和11年度：54%)被保険者・被扶養者ともに受診率が低いので早期発見のためにもまずは受診率を上げること。 令和4年度被保険者子宮頸がん検査65.5%・乳がん検査70.6% 被扶養者子宮頸がん検査30.5%・乳がん検査47.0%と特に被扶養者が非常に低い	子宮頸がん受診率(【実績値】59% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：60% 令和8年度：61% 令和9年度：61% 令和10年度：62% 令和11年度：63%)被保険者・被扶養者ともに受診率が低いので早期発見のためにもまずは受診率を上げること。 令和4年度被保険者子宮頸がん検査65.5%・乳がん検査70.6% 被扶養者子宮頸がん検査30.5%・乳がん検査47.0%と特に被扶養者が非常に低い								
4	既存	歯科健診	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	1	オ,ケ	一部の事業所では事業主と連携し、職場にて出張健診を実施。 その他の事業所は健診とりまとめ機関に委託し、開業歯科医で受診できる体制を整備している。	ウ,カ	一部の事業所では事業主と連携し、職場に出張健診を実施。 その他の事業所は健診とりまとめ機関に委託し、開業歯科医で受診できる体制を整備している。	事業所ごとに職場での集団健診または、総合健康促進保健協会に委託し、開業歯科医での健診を実施して健保が全額補助している。	事業所ごとに職場での集団健診または、総合健康促進保健協会に委託し、開業歯科医での健診を実施して健保が全額補助している。	事業所ごとに職場での集団健診または、総合健康促進保健協会に委託し、開業歯科医での健診を実施して健保が全額補助している。	事業所ごとに職場での集団健診または、総合健康促進保健協会に委託し、開業歯科医での健診を実施して健保が全額補助している。	事業所ごとに職場での集団健診または、総合健康促進保健協会に委託し、開業歯科医での健診を実施して健保が全額補助している。	事業所ごとに職場での集団健診または、総合健康促進保健協会に委託し、開業歯科医での健診を実施して健保が全額補助している。	将来的な医療費抑制のため年一回歯科健診を事業所単位で実施し、歯科疾患の早期発見、早期治療につなげる。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
													歯科医療費の低減(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：2% 令和7年度：0% 令和8年度：2% 令和9年度：0% 令和10年度：2% 令和11年度：0%)被保険者一人当たり歯科医療費の低減。									
													受診者人数(【実績値】930人 【目標値】令和6年度：950人 令和7年度：960人 令和8年度：970人 令和9年度：980人 令和10年度：990人 令和11年度：1,000人)4年度実績902人									
5,6	既存	電話健康相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ,ケ	保健同人フロンティア社の「みんなの家庭の医学健康相談」サイトの利用契約をしており、加入者への周知を図り利用促進を図っている。機関誌、ホームページ、母体イントラで周知している。	ウ	機関誌、ホームページ、母体イントラで周知している。	保健同人フロンティア社の「みんなの家庭の医学健康相談」サイトを利用し、加入者への周知を図り利用促進する。	保健同人フロンティア社の「みんなの家庭の医学健康相談」サイトを利用し、加入者への周知を図り利用促進する。	保健同人フロンティア社の「みんなの家庭の医学健康相談」サイトを利用し、加入者への周知を図り利用促進する。	保健同人フロンティア社の「みんなの家庭の医学健康相談」サイトを利用し、加入者への周知を図り利用促進する。	保健同人フロンティア社の「みんなの家庭の医学健康相談」サイトを利用し、加入者への周知を図り利用促進する。	加入者全員に医療費の使用状況を知らせることにより、「医療費についての関心」と「家族全体で健康管理に対する意識」を高める。	・メンタルヘルス系疾患の医療費は健保連平均に比較してかなり低く、事業所でもストレスチェックによる対策を実施しており、現状では健保で対策を講ずる優先度は低いと思われる。				
													年間周知回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)電話健康相談、メンタルヘルス相談、セカンドオピニオンの窓口を開設していることを定期的に周知し、不要不急の医療機関受診削減につなげる。	延べ利用者数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：30人 令和7年度：40人 令和8年度：50人 令和9年度：60人 令和10年度：70人 令和11年度：80人)電話健康相談、メンタルヘルス相談、セカンドオピニオンの窓口を開設していることを定期的に周知し、不要不急の医療機関受診削減につなげる。利用者数の把握が必要。								
5	既存	禁煙補助	全て	男女	20～74	被保険者	1	オ,ケ	禁煙外来の自己負担分の補助及びcureapp社の禁煙プログラムを提供し、機関紙等、社内イントラ、ホームページを通じて参加募集の周知を図る。	ア,ウ	機関紙等、社内イントラ、ホームページを通じて参加募集の周知を図る。	機関誌「ユアサけんぼだより」にて禁煙外来補助と禁煙プログラムへの参加勧奨を行って、喫煙者を減らすことを目標としている。	機関誌「ユアサけんぼだより」にて禁煙外来補助と禁煙プログラムへの参加勧奨を行って、喫煙者を減らすことを目標としている。	機関誌「ユアサけんぼだより」にて禁煙外来補助と禁煙プログラムへの参加勧奨を行って、喫煙者を減らすことを目標としている。	機関誌「ユアサけんぼだより」にて禁煙外来補助と禁煙プログラムへの参加勧奨を行って、喫煙者を減らすことを目標としている。	機関誌「ユアサけんぼだより」にて禁煙外来補助と禁煙プログラムへの参加勧奨を行って、喫煙者を減らすことを目標としている。	呼吸器系がんを中心とした疾患の予防と受動喫煙の被害を防ぐため喫煙者に禁煙外来受診と禁煙プログラムへの参加を促す。	・本人歯科医療費は医療費全体の13.3%71万円と大きな額を占めており、健保連平均とほぼ同水準である。 ・歯科疾患別医療費比較も健保連平均並みであり、歯科予防事業により歯科疾患、歯科医療費を減らすことが必要である。 ・歯周病と喫煙との関係も指摘されており、当健保の特に男性は喫煙率が非常に高いので喫煙対策も必要となってくる。				
													機関紙等を使った制度の年間情宣回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)機関紙等を使った制度の年間情宣回数	利用者数(【実績値】53人 【目標値】令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)禁煙プログラムへの自主的な参加人数。								
8	既存	インフルエンザワクチン補助金申請	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ	インフルエンザワクチンを接種した加入者に3,000円/人・年を上限に実費を補助している	ア	事業主と連携し、健保にて対象者に制度を周知。集団予防接種の実施。具体的な補助方法は9月発行の機関誌「ユアサけんぼだより」で周知する。	10月1日から翌年1月末までに接種した加入者に一人当たり3,000円を限度に実費を補助する。(令和6年度から補助額を1,000円増額)。	10月1日から翌年1月末までに接種した加入者に一人当たり3,000円を限度に実費を補助する。	10月1日から翌年1月末までに接種した加入者に一人当たり3,000円を限度に実費を補助する。	10月1日から翌年1月末までに接種した加入者に一人当たり3,000円を限度に実費を補助する。	10月1日から翌年1月末までに接種した加入者に一人当たり3,000円を限度に実費を補助する。	インフルエンザの発症予防と重症化予防のため、予防接種の費用を補助。母体事業所（東京、名古屋、大阪、仙台、九州）で集団予防接種も実施し、予防接種実施率を向上させる。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
													補助方法の収支会数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)周知回数：周知方法は機関誌、社内イントラ、ホームページ他	予防接種実施率（補助申請ベース）(【実績値】27.3% 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：31% 令和8年度：32% 令和9年度：33% 令和10年度：34% 令和11年度：35%)予防接種実施率（補助申請ベース）								
2	既存	家庭用常備薬斡旋	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ	健保にて年2回申込書を配布。申し込み以降の手続きは斡旋業者にて対応。	ウ	外部委託にて実施。	機関誌「ユアサけんぼだより」に申込書を同封することにより加入者に斡旋し、利用を促している。	機関誌「ユアサけんぼだより」に申込書を同封することにより加入者に斡旋し、利用を促している。	機関誌「ユアサけんぼだより」に申込書を同封することにより加入者に斡旋し、利用を促している。	機関誌「ユアサけんぼだより」に申込書を同封することにより加入者に斡旋し、利用を促している。	機関誌「ユアサけんぼだより」に申込書を同封することにより加入者に斡旋し、利用を促している。	家庭用常備薬を斡旋することにより、不要不急の医療機関診療を抑制する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
													年間周知回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)健保にて年2回申込書を配布。申し込み以降の手続きは斡旋業者にて対応。	延べ利用者数(【実績値】267人 【目標値】令和6年度：200人 令和7年度：200人 令和8年度：200人 令和9年度：200人 令和10年度：200人 令和11年度：200人)-								
													0	0	0	0	0					

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
体育奨励	2,5	既存	スポーツ施設法人契約	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ	ルネサンス、メガロス・chocoZAPと法人契約を締結しているため加入者は法人契約価格で利用できる。加入者には都度キャンペーン等を機関連誌、ホームページ等で案内し利用促進を促している。	ウ	加入者には都度キャンペーン等を機関連誌、ホームページ等で案内し利用促進を促している。	ルネサンス、メガロス・chocoZAPと法人契約を締結しているため加入者は法人契約価格で利用できる。	ルネサンス、メガロス・chocoZAPと法人契約を締結しているため加入者は法人契約価格で利用できる。	ルネサンス、メガロス・chocoZAPと法人契約を締結しているため加入者は法人契約価格で利用できる。	ルネサンス、メガロス・chocoZAPと法人契約を締結しているため加入者は法人契約価格で利用できる。	ルネサンス、メガロス・chocoZAPと法人契約を締結しているため加入者は法人契約価格で利用できる。	ルネサンス、メガロス・chocoZAPと法人契約を締結しているため加入者は法人契約価格で利用できる。	スポーツ施設の利用を通し、加入者へ運動習慣を意識付けることで、運動リスク保有率を低下させる。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
参加動員【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												運動習慣リスク保有率【実績値】60% 【目標値】令和6年度：64% 令和7年度：63.5% 令和8年度：63% 令和9年度：62.5% 令和10年度：62% 令和11年度：61%)R4 65.9								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他